

令和5年度

事業報告書(案)

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

社会福祉法人

世田谷区社会福祉協議会

—目 次—

令和5年度事業・決算報告（総括）	1
------------------	---

主要事業報告

社会福祉事業区分

I 地域福祉推進事業拠点区分

1 法人運営事業サービス区分

(1) 組織運営事業	5
------------	---

(2) 企画研究・広報事業	7
---------------	---

2 地域福祉事業サービス区分

(1) 地区社協活動支援事業	8
----------------	---

(2) 地域社協活動事業	10
--------------	----

(3) 地域支えあい活動支援事業	11
------------------	----

(4) 福祉活動団体助成事業	14
----------------	----

(5) 地域福祉人材育成事業	15
----------------	----

(6) 日常生活支援事業	17
--------------	----

(7) 子育て支援事業	19
-------------	----

(8) 障害者支援事業	22
-------------	----

(9) 歳末たすけあい運動事業	23
-----------------	----

II 生活自立支援事業拠点区分

1 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分

(1) 生活困窮者自立支援事業	25
-----------------	----

(2) 生活福祉資金貸付事務事業	29
------------------	----

2 貸付金等事業サービス区分

(1) 貸付金等事業	30
------------	----

III 権利擁護事業拠点区分

1 成年後見推進事業サービス区分

(1) あんしん事業	31
------------	----

(2) 成年後見制度利用支援事業	32
------------------	----

(3) 法人による成年後見事業	36
-----------------	----

収益事業区分

I 自動販売機設置事業拠点区分

1 自動販売機設置事業サービス区分

(1) 自動販売機設置事業	38
---------------	----

別表

.....	39
-------	----

資料

.....	105
-------	-----

令和5年度事業・決算報告（総括）

1 はじめに

令和5年度は、5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行し、地域の活動や事業が再開され、秋にはお祭りやイベントが4年ぶりに開催されるなど、コロナ禍前の状況に戻りつつあることを実感できる1年となりました。一方、3年以上に及んだコロナ禍と長期化する物価高騰等の影響により、社会的孤独・孤立や生活困窮の問題が深刻化しました。

このような中、世田谷区社会福祉協議会（以下「本会」という。）では、状況に応じて感染症予防に配慮しながら、住民の地域生活を支える事業を実施するとともに、厳しい生活状況をお聞きし、必要に応じて生活保護の窓口の紹介や応急貸付金、食の支援等への繋ぎ、継続した相談支援等を行ってまいりました。

令和6年度になっても、原油価格や電気料金を含む物価の高騰が続き、住民生活に大きな影響を及ぼしています。

本会は、引き続き、セーフティネット機能の発揮に向けて、職員一同が自覚を持ち、住民をはじめ関係諸機関等と連携しながら、各事業に取り組んでまいります。

2 主要事業について

（1）地域福祉推進事業

地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）では、住民が集まって行う活動の多くが再開されてきましたが、ICT^{※1}を活用した支えあいや見守り活動の支援、スマホ講座、地域でのフードドライブ等、コロナ禍の影響により発生した生活課題の解決に向けた生活支援に取り組みました。

買い物支援等について、高齢者等買い物に不便のある方が多く居住する複数の公営団地に移動販売車を誘致するとともに、サロンや集いの場の立ち上げ支援等を行うなど、具体的な生活課題の解決と地域づくりの支援を一体的に進めました。また、急坂が多い等による移動困難なエリアにおいてNPO団体等と協働し、地域住民やボランティア等とともにコミュニティバスの運行に関する検討を重ね、準備に取り組んできました。

子ども食堂支援事業も、拠点に集まって食事をするのが困難な状況でしたが、概ね会食形式が再開したことや、お弁当や食材の配布を希望する方への対応を並行して行う等の活動を支援するために、食材の提供機会の拡大や区と連携した助成金の増額等を通じて支援を強化しました。

令和3年度から開始した「高齢者の新たな居場所づくり事業『なごみの広場ちとふな』」では、シニア世代が楽しく気軽に参加・交流できる集いの場として、毎回の参加者アンケートを踏まえ、当事者団体の協力によるマッサージ、趣味や暮らしに役立つ講座等、多彩なプログラムを企画・実施しました。

食の支援については、安定的に食品を確保するため、協力企業の開拓に取り組み、企業が実施するフードドライブの支援を行いました。また、区内農園で収穫された野菜や企業から提供された冷凍食品を、子ども食堂や本会が年末に開催したフードパントリーで配付するなど試行実施しました。

ふれあいサービスやファミリー・サポート・センター事業のように外出や訪問を伴う事業は、徐々に利用・活動が戻りつつあります。両事業とも、重症化リスクの高い会員が多数利用・活動していることから、会員の合意を得ながら、感染予防を重視した取り組みを実施しました。

福祉喫茶は、席数を減らす等、感染防止対策を行いながら営業しました。従事者には、一般就労に向け、安定した職業生活のための研修を行うとともに、店長や援助者に対しては、支援に必要な知識や技能についての研修を行いました。

社協会員会費や歳末たすけあい・地域支えあい募金は、地域の皆さまにご理解とご協力をいただき、活動が徐々に再開されたこと等により増加しました。社協会員会費は、特別会員や法人会員には、払込取扱票をお送りして協力をお願いしました。また、歳末たすけあい・地域支えあい募金は、経済的な支援を必要とする世帯へのお見舞金とともに、募金額の増加を踏まえ、民生委員の皆さまのご協力の下、在宅で高齢者・障害者を介護している方へのお見舞金を4年ぶりにお配りしました。

※¹ Information and Communication Technology（情報通信技術）の略

（2）生活自立支援事業

コロナ禍で生活に困窮する方を対象とした、生活福祉資金特例貸付（東京都社会福祉協議会（以下「東社協」という。）からの受託事業）は令和4年9月末日で終了し、償還事務は、東社協の特例貸付事務センターが行っておりますが、本会においても、フォローアップ支援として償還及び償還免除等に関する相談を行っております。

また、コロナ禍での離職や減収、長引く物価高騰等の影響により、相談が数多く寄せられており、多様な課題を抱え生活に困窮する方に対し、世田谷区や関係機関等とも連携しながら適切に対応するとともに、本部・ぷらっとホーム世田谷、各地域社協事務所が連携して、相談や食の支援にも取り組みました。

世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」は開設から2年目になりますが、多機関協働事業者として、世田谷若者総合支援センターメルクマールせたがやとともに、世田谷区や関係機関と協働し、ひきこもりの方とその家族への支援に取り組みました。

（3）権利擁護事業

成年後見センターでは、世田谷区における成年後見制度の中核機関として、専門職や地域の支援機関等と連携し、地域連携ネットワークの推進を図るとともに、成年後見制度に関する相談や申立支援、普及啓発活動を通じて制度の更なる利用促進に取り組みました。相談件数や申立支援の件数は前年度に比べ増加し、成年後見セミナーや老い支度講座等の普及啓発活動についても、感染防止対策を行いながら実施し、受講者数は増加しました。

さらに、令和5年度を始期とする「成年後見センター運営計画」に基づいて、法人後見、区民後見監督、あんしん事業等に取り組みました。

3 世田谷区住民活動計画の策定

現行の「第3次世田谷区住民活動計画（改定計画）」は令和6年度が最終年度となります。

住民の困りごとが多様化・複雑化する中、地域共生社会の実現に向け、住民・行政・関係機関等が今まで以上に連携・協働していく事が重要であり、CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーク）機能の発揮やネットワークを生かして地域福祉を推進する本会への期待も大きくなっています。

そのため、令和5年度から地域住民や関係機関等のご参画をいただき「第4次世田谷区住民活動計画策定委員会」を発足し、区の「世田谷区地域保健医療福祉総合計画」との連動を図りながら、新たな計画の策定作業に取り組んでおります。

令和5年度は、策定委員会を3回開催するとともに、地域の生活課題等を把握するため、活動者アンケートを実施しました。

令和6年度も、引き続き、策定作業を進めてまいります。

4 安定的な法人運営について

平成30年度に開始した社協改革（①財政の健全化、②組織・事業の見直し、③人材育成を3本の柱とする）は、計画期間の最終年度となる令和4年度に総括を行いました。その結果を踏まえ、令和5年度も、健全な財政運営、効果的・効率的な組織・事業運営、職員の人材育成に努めてまいりました。

（1）財政の健全化

平成30年度に策定した「財政健全化計画」は、令和4年度に総括を行うとともに、令和5年度以降の中期財政見通しを立てました。平成30年度の計画策定以来、黒字決算となり、積立金も増加しています。

今後も、健全な財政運営に努めてまいります。

（2）組織・事業の見直し

令和3年度に、連携推進課を設置し、社協内連携の推進による効果的・効率的な事業運営を図るとともに、食の支援の拡充、ICT化の推進等に取り組みました。

ICT化の推進については、組織内の安全管理体制を徹底するため、申請方法等のルールを整理し、職員の理解浸透を図るとともに、ICT活用促進や情報セキュリティをテーマとした職員研修を行いました。

今後、ますます複雑化・多様化する地域生活課題への対応強化に向けて、地域・地区の実情を踏まえ、組織・事業のあるべき姿を引き続き検討してまいります。

（3）人材育成

平成30年度に人材育成計画を策定し、行動指針（十訓）を定めるとともに、コミュニティ・ソーシャル・ワーク研修（以下「CSW研修」という。）等の専門研修を進めてきました。また、組織運営の力を向上させるため、職層研修や財務・会計・文書等の研修にも重点をおいて実施してきました。令和4年度に実施した研修に関する職員アンケート等の結果を踏まえ、令和5年度は新たな研修を実施する等、研修の充実を図りました。

今後も、研修体系や研修プログラムの見直し等を進め、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として、質の高い職員の育成に努めてまいります。

5 決算状況

令和5年度の決算は、資金収支計算書（資金の増減を表します。）に基づく当期資金収支

差額合計は△6,632千円、事業活動計算書（収益から、かかった費用の金額を差し引き、差額がいくら出たかを表します。）に基づく当期活動増減差額は22,374千円となりました。

「2022年度社会福祉法人の経営状況について(公表:独立行政法人福祉医療機構『WAM』)」に示された各法人の経営状況と比較すると、法人の収益性を表す指標であるサービス活動増減差額や、経常増減差額は財政健全化計画の策定と実行以降安定しており、全国社会福祉法人平均値を上回ってきています。また、短期安定性を示す当期末支払資金残高対事業活動支出比率及び、長期持続性を示す純資産比率、固定比率についても全国平均レベルに回復ってきています。

2016年度以降、赤字法人の割合が拡大傾向にある中で、本会は財政健全化計画策定と、新型コロナウイルス感染症拡大による社会状況の変化の時期が重なったこともあり、法人としての使命がより明確になり、平成30年度以降、黒字決算を続けています。

引き続き、生活に不安を抱える方や、複雑化・複合化した課題をかかえる方への支援を進めていく必要があります。そのためにも、令和4年度に行った財政健全化計画の総括及び令和5年度以降の中期財政見通しを確認しながら、引き続き、財政収支のバランスを図り、法人を安定的に運営してまいります。

■主要事業報告

社会福祉事業区分

I 地域福祉推進事業拠点区分

1 法人運営事業サービス区分

(1) 組織運営事業

理事会は、任期満了に伴う役員改選を行い、新たに理事5名、監事1名が選任された。評議員会は、5名の退任に伴い、評議員選任解任委員会で新たに4名が選任された。世田谷区から支出された公金が適正に執行、運用されているかを監査する「財政援助団体監査」を受け、概ね適正かつ効果的な補助金執行であると認められた。社協会員会費は、引き続き払込取扱票による納入のお願いや、地域福祉推進員をはじめ関係団体等の協力により、コロナ以降落ち込んだ会員数や会費額が徐々に回復してきている。また、所長会を中心に次年度に向けた会員会費募集方法の強化策を検討した。

① 理事会、評議員会等

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
理事会開催回数	4回	3回	4回
評議員会開催回数	3回	3回	3回
評議員選任・解任委員会開催回数	必要に応じて	必要に応じて	1回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
理事会開催回数	4回	4回	4回
評議員会開催回数	3回	3回	3回
評議員選任・解任委員会開催回数	2回	0回	1回

※詳細は、別表1参照

①-1 監査

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
監事監査(会計士監査含む)	6回	6回	6回
財政援助団体監査(世田谷区・監査委員)	1回	0回	1回
社会福祉法人指導監査(世田谷区・保健福祉政策部)	0回	0回	1回

② 職員研修

「人材育成計画」に基づき、年間計画を策定して、①基本研修、②職層研修、③専門研修を実施した。社内研修とともに、世田谷区や東社協等が実施する研修を活用した。

○基本研修

社協職員として仕事を進めるうえで必要とする事項(法制度、定款及び規程、事案決定、財務・経理、文書等)の知識習得を図った。また、下半期には、各所属の内部点検(契約、会計、事案決定等)を実施した後、事務の適正化に向けて振り返りの研修を実施した。

○職層研修

職層研修は参加を必須とするものが多い。外部機関(世田谷区、東社協)の研修も概ね

予定通り実施され、職員の参加率も高かった。

○専門研修

外部機関が実施する研修では、コロナ以前のように集合形式による開催が増えるとともに、一部の研修では引き続きオンラインにより開催された。

社内で専門研修として実施している CSW 研修は、職員アンケートの結果を踏まえて、学識経験者によるコミュニティソーシャルワークの基礎知識を受講した。

③ 災害時等緊急対応に向けた体制整備

大規模災害時に職員が自動参集できるよう体制を整備するとともに、事業継続計画 (BCP) を更新するため関係機関等から情報収集を行った。

④ 苦情解決委員会

本年度、本会に申請された苦情案件について苦情解決委員会で審議した。

実績	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
苦情件数	5 件	8 件	2 件

⑤ 本会の会員会費募集活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前年度に引き続いて戸別訪問を原則中止とした。会員会費を確保するため、強化月間は設けずに年間を通して募集を行った。また、特別会員や法人会員には振込取扱票をお送りする等納入方法を工夫した。

(一般会員:一口 300 円以上 5,000 円未満、特別会員:一口 5,000 円以上、法人会員:一口 5,000 円以上)

計画	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
会員数	19,000 名	14,000 名	39,000 名
会費額	31,120,000 円	28,000,000 円	17,600,000 円
実績	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
会員数	26,320 名	23,389 名	14,745 名
会費額	30,775,010 円	27,908,812 円	23,209,782 円

※詳細は、別表 2 参照

⑥ ICT 化の推進に向けた取り組み

ICT の活用促進や情報セキュリティ等をテーマに増井技術士による研修を 2 回実施した。社内規程上の組織管理体制を徹底するため、申請方法等のルールをまとめた資料を作成し職員への理解浸透を図った。

(2) 企画研究・広報事業

令和6年度末で期間満了となる「世田谷区住民活動計画」の計画策定委員会を発足し、次期計画策定に着手した。世田谷区の総合計画等との連動を図るため、世田谷区が実施する調査を活用するとともに事業活動者アンケートを行い、地域の生活課題の把握を行った。

① 企画研究

「世田谷区住民活動計画」を策定するにあたり、世田谷区が実施したニーズ調査や区民意識調査等を活用し、本会が取り組むべき生活課題の把握を行った。

② 広報活動

効果的な広報を図るため、ホームページのアクセス解析サービスである「Google アナリティクス」を活用し、データの蓄積による効果測定と分析に取り組んだ。また広報会議を定期開催し、既存の広報媒体等の現況整理と今後の課題について職員間で共有した。

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
世田谷区社協ニュースの発行	1回	1回	1回
ホームページアクセス数	520,117件	553,040件	963,474件
Facebook 投稿数	153件	352件	343件
エフエム世田谷放送件数	8件	9件	8件
地域社協だよりの発行(各地域)	2回	2回	2回

③ 世田谷区住民活動計画の策定

○令和5年7月に第4次世田谷区住民活動計画策定委員会を発足し、策定に向けた検討を行った。

第1回 令和5年7月20日、第2回 令和5年10月23日、第3回 令和6年3月13日

○本会事業に関わる住民が日々の活動を通して感じている課題等を把握し、実効性のある計画とするため、活動者アンケートを実施した。

《活動者アンケート》

・調査対象

地域福祉推進員/サロン・ミニデイ・子育てサロン代表/援助会員(ファミリー・サポート・センター事業)/協力会員(ふれあいサービス事業)/子ども食堂代表/地区サポーター/生活支援員(あんしん事業)/区民成年後見支援員(法人後見支援員・普及啓発指導員・地域相談員・アドバイザー等)

・調査期間 令和5年12月18日～令和6年1月10日

・調査方法 アンケート協力依頼:郵送

アンケート回答方法:①Google フォームによる回答(※推奨)

②アンケート用紙による回答(希望者のみ)

・回答率等

送付数:3,791件

回答数:1,519件(Google フォーム回答:1,271件/アンケート用紙回答:248件)

回答率:40.1%

2 地域福祉事業サービス区分

(1) 地区社協活動支援事業

地区社会福祉協議会（29 地区）の組織運営や事業活動に関する支援や調整、協働事業の取り組み等を通じて、地域福祉推進員とともに、住民主体による地域福祉を推進した。

地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）では、地区を基盤に社協内外の連携を強化し、住民が抱える生活課題の把握と課題解決に向けた相談支援や地域づくりに向けた支援に積極的に取り組んだ。

また、地域活動の担い手として地区サポーターの確保に努めながら、多様な活動へのマッチングを進め、広く住民の活動参加に向けた支援等に取り組んだ。

① 地区社会福祉協議会の運営支援

住民相互の見守りや支えあいの強化に向けて、地区社協の組織運営への支援に努めた。

また、地域福祉推進員による多彩な事業活動への支援を強化したとともに、地区社協事業との協働を通じて把握した福祉的ニーズや地域課題等に関して、地域資源開発事業等と連動させ、支援の強化と課題の解決に取り組んだ。

※詳細は、別表 3 参照

② 地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）【区受託】

○まちづくりセンター及びあんしんすこやかセンターと社協地区事務局の三者による身近な福祉の相談窓口等を通じて把握した個別課題に対して、児童館を併せた四者連携により良質な相談支援の提供に努めた。

○住民や法人・団体等とのネットワークを活かして、買い物困難ニーズの解消に向けた移動販売車の誘致と集いの場づくりをセットで行う等、生活支援サービスの拡充と地域づくりに取り組んだ。

○地区サポーターの登録者数の拡大を図ったとともに、シニア世代から要望の多い、スマホ講座の講師等の活動を契機とした自主グループ化（ふれあいいきいきサロン登録）を支援する等、地区サポーターの継続的な活動の確保に努めた。

○全常勤職員を対象とした CSW 研修を実施し、個別支援と地域づくりを一体的に行うコミュニティソーシャルワーク機能に関する職員の専門性の向上に努めた。

<CSW 研修>全常勤職員を対象とした。

■第 1 回 10 月 27 日 本部 3 階研修室及びオンライン開催 参加者 50 名

■第 2 回 1 月 26 日 本部 3 階研修室及びオンライン開催 参加者 53 名

※各回とも講師は菱沼幹男氏（日本社会事業大学教授）に依頼した。

<CSW 課内研修>地域社協課職員を対象とした。

■第 1 回 8 月 31 日 本部 3 階研修室 参加者 35 名

■第 2 回 1 月 22 日 本部 3 階研修室 参加者 27 名

※詳細は、別表 4 参照

③ 災害福祉サポーターの活動支援（災害対策事業）

大規模災害時における避難行動要支援者の安否確認やニーズ把握、必要に応じた避難誘導等を担う災害福祉サポーターの登録者の拡大に努めた。

実績	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
災害福祉サポーター登録人数	312 名	289 名	259 名

※鳥山地域において、ふれあいサービス利用会員と災害福祉サポーターによる顔合わせを行い、メール等による安否確認訓練や災害福祉サポーター研修会を実施した。

④ 社会福祉法人等のネットワーク推進事業

- 社会福祉法人主体の相談支援型フードパントリーの継続実施に向け、令和4年度までの試行実施に取り組んだ4法人を中心に支援対象や実施方法の検討等を行った。
- 支援が必要な状況が見えづらくなる中学生世帯を対象とした相談支援型フードパントリーの必要性や実現可能性を確認検討するため、各法人の所在する地区の子ども食堂や児童館、子育て支援コーディネーター等を交えて意見交換を行った。
- 社会福祉法人の主体的な実施を根幹とした検討を進める中で、夏休みの子育て世帯向けに開催したイベントでの相談支援と食品配付コーナーの設置や、施設退所者支援と合わせた食品配付等、継続実施以外の相談支援機能を有したフードパントリーの開催をサポートした。
- また、社会福祉法人を取り巻く新たな課題への対応を検討するため、テーマ別検討部会として、「災害時対応」「人材確保」の2テーマに関する検討部会を発足した。

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
参加法人数	36 法人	36 法人	36 法人
企画委員会	1 回	1 回	1 回
全体協議会	1 回	1 回	1 回
5 地域別連絡会	—	5 回	10 回
その他の連絡会・検討会	6 回	8 回	—

⑤ 高齢者の新たな居場所づくり事業（「なごみの広場ちとふな」） 【区受託】

シニア世代が楽しみながら気軽に参加・交流できる新たな居場所として、千歳温水プール4階健康運動室等において、スマホ講座やお薬相談会、囲碁等多様な講座を企画・実施したとともに、生活上の困りごと等の相談を受けとめ、社協地区事務局や専門機関等へつながり等の対応をした。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	60 回	48 回	48 回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
講座回数	60 回	48 回	48 回

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
総参加者数	804 名	659 名	568 名
地区サポーター人数	延 39 名	延 55 名	延 48 名

※詳細は、別表5参照

(2) 地域社協活動事業

地域活動を推進するため、関係団体と情報の共有や意見交換を行うとともに、各団体の活動が円滑に行われるよう支援を行った。

① 地域社協福祉推進協議会の運営支援

地区社会福祉協議会活動等に関する情報の共有と意見交換等を行い、地域・地区における福祉活動の増進に取り組んだ。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	15回	15回	15回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	15回	14回	15回

② 地域・地区における交流・啓発

ア サロンリーダー交流会等の開催

地域における住民相互のゆるやかな見守りや集いの場の拡充のため、サロンリーダー等の参加を得て交流会等を開催した。

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
サロンリーダー等交流会	3回	18回	3回
拠点連絡会・交流会	13回	8回	5回

※詳細は、別表6参照

イ 高齢者クラブ活動の支援

高齢者クラブの活動に対する支援を行った。なお、各高齢者クラブ協議会主催の高齢者福祉大会においては、事務局機能を担いながら円滑な開催にむけた支援を行った。

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
高齢者福祉大会	3回	2回	0回

③ 災害見舞金事業

世田谷区と連携し、世田谷区在住者の罹災時の援助を目的として見舞金を支給した。

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
件数	13件	14件	31件
金額	120,000円	115,000円	310,000円

(3) 地域支えあい活動支援事業

ふれあい・いきいきサロン（子育てサロンを含む）、支えあいミニデイ、子ども食堂等住民主体の支えあい活動の運営支援に取り組んだ。また、世田谷区と連携して、各家庭や企業等から提供された食材を子ども食堂等に配付した。

① 地域支えあい活動グループの支援

○ふれあい・いきいきサロンや支えあいミニデイの立上げや運営を支援し、高齢者や障害者、子育て中の方々が、地域で気軽に集える支えあいの場づくりに取り組んだ。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
団体数 合計	753 団体	741 団体	728 団体
ふれあい・いきいきサロン数 (うち、子育てサロン数)	688 団体 (95 団体)	671 団体 (93 団体)	660 団体 (92 団体)
支えあいミニデイ数	65 団体	70 団体	68 団体
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
団体数 合計	680 団体	686 団体	685 団体
ふれあい・いきいきサロン数 (うち、子育てサロン数)	625 団体 (78 団体)	624 団体 (82 団体)	622 団体 (86 団体)
支えあいミニデイ数	55 団体	62 団体	63 団体

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
延参加者数	146,897 名	128,484 名	85,849 名
延ボランティア数	33,221 名	30,452 名	22,517 名

② 子ども食堂運営支援

子ども食堂への支援として、食材費や保険料の助成を行うとともに、世田谷区や事業者、住民等から寄付された食材の提供を行った。また、子ども食堂団体連絡会を開催し、衛生管理や感染予防に関する研修と情報交換を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
運営助成金交付団体数	45 団体	40 団体	35 団体
東京都子ども食堂推進補助金交付団体数	45 団体	40 団体	35 団体
支えあい活動保険利用団体数	50 団体	45 団体	40 団体
せたがやフードドライブ利用団体数	45 団体	40 団体	38 団体
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
運営助成金交付団体数	46 団体	38 団体	35 団体
東京都子ども食堂推進補助金交付団体数	45 団体	34 団体	30 団体
支えあい活動保険利用団体数	52 団体	46 団体	41 団体
せたがやフードドライブ利用団体数	42 団体	39 団体	36 団体

<子ども食堂団体連絡会>

【日程】令和5年4月27日 ※ハイブリッド開催

【内容】「子ども食堂において衛生管理上、気を付ける点」
「HACCPに沿った衛生管理について」

- 【講師】 世田谷保健所職員
 【参加団体数】 26 団体（26 名）

<子ども食堂研修会>

- 【日程】 令和 5 年 8 月 28 日
 【内容】 「日々の会計のコツ及び子供食堂推進補助金実績報告について」
 【講師】 有限責任監査法人トーマツ
 【参加団体数】 22 団体（24 名）

<地域別子ども食堂研修会>

- 【内容】 「子どもからの SOS への対応」と懇談会
 【講師】 世田谷区教育委員会教育相談課教育相談専門員
 森田 規子氏 今村 恭洋氏

【開催状況】

地域	開催日	会場	参加団体数
世田谷	1 月 30 日	上町まちづくりセンター活動フロアー	10 団体
北沢	1 月 16 日	北沢まちづくりセンター活動フロアー	5 団体
玉川	1 月 30 日	等々力まちづくりセンター活動フロアー	9 団体
砧	1 月 16 日	本部 3 階研修室	5 団体
烏山	1 月 29 日	上北沢まちづくりセンター活動フロアー	8 団体

③ 地域で支える食の支援事業〔拡充〕

安定的な食の確保に向け、企業との連携による常設型フードドライブを増設する等、新たな協力企業の開拓に取り組んだ。また、区内農園で収穫された野菜や企業提供による冷凍食品の取扱いも行った。

ウェブサイト「せたべる」内の投稿記事等の充実を図り、事業の見える化に取り組んだ。

計画	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
食品受取（企業・個人）	34,000 kg	—	—
団体への配付	延 1,300 団体	—	—
家庭への配付	1,020 世帯	—	—
新規企業等の開拓	12 件	—	—
実績	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
食品受取（企業・個人）	31,150 kg	33,780 kg	—
団体への配付	延 1,601 団体	延 1,311 団体	—
家庭への配付	延 1,194 件	延 1,042 件	—
新規企業等の開拓	37 件	38 件	—

- 食品受取の数値は、「⑤せたがやフードドライブ事業」「地区社協・地域社協事務所」での受け取り分を含む。
- 家庭への配付の数値は、ぶらっとホーム世田谷・地域社協事務所での配付分を含む。

④ 地域支えあい活動拠点管理

地域支えあい活動グループをはじめ地域活動団体の安全な利用に資するため、地域支えあい活動拠点(22か所)の管理を適切に行った。

池尻ふれあいルームの改修工事に伴い、利用団体と所管課との調整を行った。

⑤ せたがやフードドライブ事業

世田谷区と連携し、世田谷区から提供された食材(米、缶詰類、乾麺、調味料等)を子ども食堂等に配付した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
配付計画(総量)	12,000kg	6,000 kg	—
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
配付実績(総量)	6,747 kg	10,685 kg	6483.0kg

⑥ 認知症等による行方不明者への支援(せたがや一人歩きSOSネットワーク事業)

認知症状のある高齢者等が行方不明になったとき、事前に登録している協力者にメールを送信し、早期発見や事故防止につなげる取り組みを地域住民や世田谷区との協働により進めた。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
協力者数	700名	700名	680名
利用登録者数	100名	100名	90名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
協力者数 (新規登録人数)	531名 (8名)	576名 (9名)	611名 (5名)
利用登録者数	76名	89名	94名

※登録更新作業による転居者・施設入所等の方の抹消により、登録者数の減少があった。

⑦ 地域福祉推進大会

大学と地域との連携をテーマに、区内大学と地区社協との連携事業等の紹介や、駒澤大学の学生による世田谷での地域福祉活動に関する研究発表、講演等を行った。

○ 日程:令和5年11月19日(日) 会場:駒澤大学 駒沢キャンパス記念講堂

○ 内容:①区内大学と社協事業の関わりに関する報告

②研究発表:駒澤大学経済学部現代応用経済学科松田ゼミA班・B班

③講演:川上富雄氏(駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻教授)

○ 参加者:213名

○ その他:区内福祉作業所の製作品等販売コーナー設置

(4) 福祉活動団体助成事業

赤い羽根共同募金等を活用し、地域福祉活動団体への助成を行った。また、世田谷区民生委員・児童委員協議会の活動を支援した。

① 地域福祉活動団体助成事業

地域福祉活動団体への各種助成金の交付を通じて、地域福祉活動の拡充や本会とのネットワークの強化に取り組んだ。

ア 社会福祉活動団体助成金の交付

全区的な福祉活動に取り組む団体に事業活動経費の一部を助成し、住民の福祉増進に寄与した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
助成団体数	16 団体	13 団体	11 団体
助成金額	5,344,000 円	4,948,000 円	3,400,000 円
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
助成団体数	14 団体	12 団体	10 団体
助成金額	4,416,000 円	4,646,000 円	3,210,000 円

イ 赤い羽根共同募金地域配分金（B配分）の配分推せん

世田谷区内で集められた赤い羽根共同募金(主催:社会福祉法人東京都共同募金会)を財源とする地域配分金の配分に向け、同募金会に対して、区内の社会福祉法人や地域福祉活動を行う小規模団体・NPO法人への助成(募金の一部を活用)の推薦を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
助成団体数	69 団体	62 団体	79 団体
助成金額	10,600,000 円	5,730,000 円	20,863,000 円
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
助成団体数(決定)	69 団体	67 団体	61 団体
助成金額	14,200,000 円	10,600,000 円	5,730,000 円

② 民生委員・児童委員との連携

民生委員・児童委員と連携して、生活福祉資金の貸付や歳末たすけあい・地域支えあい活動募金に取り組むとともに、民生委員・児童委員協議会による研修等の活動を支援した。

(5) 地域福祉人材育成事業

地域住民等に対し地区サポーターへの登録を広く呼びかけ、地域福祉活動の新たな人材確保に取り組んだ。

また、地域・地区を基盤に人材の確保と育成を目指した講座を開催した。また、地域福祉推進員や地区サポーター、当事者団体等との協働により、学校等での福祉体験学習の開催や福祉用具の貸し出し等を行い、福祉への理解醸成に努めた。

① 地区サポーター

地域活動に興味のある方を地区サポーターとして登録し、地域支えあい活動や町会・自治会活動、福祉イベント、生活支援サービス等へのマッチングを行い、地域活動への参加を支援した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
登録者数	1,600名	1,550名	1,500名
マッチング件数	500件	300件	—
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
登録者数	1,702名	1,597名	1,393名
マッチング件数	499件	629件	362件

※詳細は、別表7参照

② 地区活動入門講座

地区活動への興味の醸成と参加促進に向けた講座を開催した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	11回	5回	5回
参加人数	延220名	延200名	延200名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	69回	16回	7回
参加人数	延476名	延212名	延70名

※開催回数には、ミーティング等も含まれる。

③ 特技ボランティア

地域支えあい活動等への支援の一環として、特技や趣味を持つ住民を特技ボランティアとして登録し、支えあい活動の拡充とともに住民の地域活動への参加を支援した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
登録者数	220名	220名	220名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
登録者数	199名	195名	172名

④ 福祉学習

地域福祉推進員や地区サポーター等とともに、区内小・中学校での授業や地区イベント等の機会を捉え、体験型の福祉学習や障害福祉団体との連携による講話等を実施し、地域福祉に関する理解の醸成に取り組んだ。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
福祉学習実施回数	50回	50回	75回

福祉学習参加者数	5,500名	5,000名	6,500名
福祉用具貸出件数	10件	15件	15件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
福祉学習実施回数	76回	53回	45回
福祉学習参加者数	6,962名	5,795名	4,019名
福祉用具貸出件数	12回	7件	7件

⑤ ボランティア保険事務【東社協受託】

ボランティア活動や福祉イベント・事業等の拡充に向け、ボランティア保険やボランティア行事保険の加入手続を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
ボランティア保険	10,500名	10,000名	13,500名
ボランティア活動行事保険	1,200件	1,000件	600件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
ボランティア保険	15,233名	8,851名	8,044名
ボランティア活動行事保険	1,509件	1,227件	905件

(参考) ボランティア活動行事保険の内訳

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
行事保険	992件	909件	755件
当日参加対応型行事保険	517件	318件	150件

(6) 日常生活支援事業

ふれあいサービス（自主事業）と支えあいサービス（区受託事業）は、新型コロナウイルスの5類感染症への移行後も利用会員、協力会員の安全に十分配慮し、協力会員はマスク着用を基本としたサービス提供を継続した。

高齢者の不安解消事業は、わかりやすく「終活」を学んでいただけるようニーズの高いテーマを選定する等、工夫した講演会を実施した。

① ふれあいサービス

高齢や障害、産前産後等で日常生活に支援が必要な世帯に対し、近隣の住民による家事や外出支援等の生活支援サービスを行った。サービス利用のコーディネートは、地区事務局担当者が行っている。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用会員数	600名	600名	—
（うち新規利用登録数）	(175名)	(175名)	—
協力会員数	600名	600名	650名
（うち新規協力登録数）	(120名)	(180名)	(180名)
派遣回数	—	—	—
派遣時間数	18,000時間	18,000時間	18,000時間
フォローアップ研修回数	2回	2回	2回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用会員数	429名	513名	529名
（うち新規利用登録数）	(155名)	(174名)	(165名)
協力会員数	544名	529名	576名
（うち新規協力登録数）	(95名)	(92名)	(104名)
派遣回数	9,599回	10,461回	11,541回
派遣時間数	13,169時間	14,787.5時間	16,242.5時間
フォローアップ研修回数	2回	2回	0回

※利用会員数の計画数値化は、令和4年度より実施

（参考）

利用回数及び利用時間

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
延利用回数	9,599回	10,461回	11,541回
家事支援	8,576回	9,082回	9,998回
生活支援	266回	270回	197回
外出支援	656回	980回	1,188回
その他（大掃除等継続ケース）	101回	129回	158回
延利用時間	13,169時間	14,787.5時間	16,242.5時間
家事支援	11,384.5時間	12,604.0時間	13,924.0時間
生活支援	391.5時間	423.0時間	313.5時間
外出支援	1,187.5時間	1,509.0時間	1,670.5時間
その他（大掃除等継続ケース）	205.5時間	251.5時間	334.5時間

② 支えあいサービス（介護予防・日常生活支援総合事業生活支援サービス）【区受託】

介護保険制度の要支援者等に対し、介護予防や自立支援に資する家事援助サービスを健康状態や生活状況に留意して提供した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者数	90名	80名	60名
協力者数	345名	350名	320名
派遣回数	3,192回	2,832回	2,927回
派遣時間数	—	—	—
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者数	40名	72名	63名
協力者数	339名	370名	323名
派遣回数	2,394回	2,622回	2,877回
派遣時間数	1,208.5時間	1,311.0時間	1,438.5時間

(参考)

実績		令和5年度	令和4年度	令和3年度
研修	実施回数	7回	7回	6回
	参加者数	211名	191名	135名
協力者登録	登録数	339名	370名	323名
	(うち新規登録数)	(68名)	(56名)	(54名)
利用者登録	訪問数	13名	8名	15名
	登録数	40名	72名	63名
	(うち新規申込数)	(13名)	(8名)	(16名)
サービス実施	実施者数	延506名	延552名	延613名
	実施件数	延2,394件	延2,622件	延2,877件

③ 高齢者の不安解消事業

生前に準備ができる遺言や任意後見等の手続きやサービスについて、情報提供の機会として終活講座を企画した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
終活講座実施回数	2回	2回	2回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
終活講座実施回数	2回	2回	0回

(7) 子育て支援事業

世田谷区ファミリー・サポート・センター事業は、利用や活動実績がコロナ禍以前に戻りつつある。

子育て支援者養成研修は引き続きオンライン受講コースを開催し、子育て世代や就労中の区民の参加が多く見られた。

令和4年度に新規配置した「子育て支援専門員」は、援助会員面接の他、0歳児預かり訪問や「0歳児見守りサポートシート」の運用、電話でのサポート等を開始し、安全性の向上を推進した。

① 世田谷区ファミリー・サポート・センター事業【区受託】

子育ての手助けが必要な方（利用会員）と手助けができる方（援助会員）が、身近な地域で短時間の預かりや送迎等、子育ての相互援助ができるよう、会員登録や相談受付、サービスの利用調整を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用会員数	6,500名	12,000名	10,000名
（うち新規登録利用会員数）	(1,300名)	(1,200名)	(1,000名)
援助会員数	1,150名	1,200名	1,120名
（うち新規登録援助会員数）	(200名)	(180名)	(140名)
利用(援助活動)回数	22,500回	36,000回	45,000回
利用(援助活動)時間数	40,000時間	40,000時間	—
紹介件数	1,350件	1,200件	1,000件
アウトリーチ回数	300回	120回	—
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用会員数	5,073名	5,462名	4,101名 ^{※1}
（うち新規登録利用会員数）	(1,587名)	(1,396名)	(1,014名)
援助会員数	949名	1,043名	886名
（うち新規登録援助会員数）	(142名)	(164名)	(104名)
利用（援助活動）回数	25,220回	22,993回	17,756回
利用（援助活動）時間数	37,945.5時間	33,052時間	24,538.5時間
紹介件数	1,400件	1,365件	1,062件
アウトリーチ回数	490回	443回	224回 ^{※2}

※1 利用会員は、令和3年度末に次年度への登録継続希望の確認が取れない会員の登録を一旦廃止し整理した結果、前年度数から大幅に減少した

※2 アウトリーチ回数は、令和3年6月以降の実績

② 子育て支援者の育成

子育ての援助に必要な知識等を身につけ、安全で質の高い活動ができるように研修（受講時間は25時間）を実施した。

ア 子育て支援者養成研修【区受託】

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施回数	6回	5回	5回(延35日)
参加者数	240名	180名	360名

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施回数	6回	6回	3回(延22日)
参加者数	174名	231名	109名

※令和5年度の第1・3・6回はオンライン開催

イ 援助会員フォローアップ研修 (a) 及びフォローアップ専門研修 (b) 【区受託】

a 前年度のアンケートで希望が多かった緊急時対応をテーマに実技を含めて開催した。

「フォローアップ専門研修」対象者で受講機会がなかった会員も対象とした。

b 5年に一度の受講が必須となった「救急救命講習及び事故防止」の研修を実施した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
a 実施回数	1回	1回	1回
a 参加者数	40名	40名	40名
b 実施回数	6回	6回	6回
b 参加者数	240名	240名	240名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
a 実施回数	1回	1回	1回
a 参加者数	12名	16名	24名
b 実施回数	6回	6回	6回
b 参加者数	115名	60名	69名

③ 会員交流会【区受託】

利用会員交流会は、夏休み期間中に親子で楽しめるゲームや軽運動を実施し、好評だった。援助会員交流会は簡単なおもちゃ作りを楽しみながら会員同士の懇談の機会とした。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用会員交流会実施回数	2回	2回	2回
参加者数	100名	100名	100名
援助会員交流会実施回数	2回	2回	2回
参加者数	100名	100名	100名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用会員交流会実施回数	2回	2回	2回
参加者数	21名	7名	19名
援助会員交流会実施回数	2回	2回	2回
参加者数	40名	27名	25名

④ 「事前打ち合わせ」体験事業【区受託】

ファミリー・サポート・センター事業を利用したことがない会員に対し、「事前打ち合わせ」の模擬体験を通じて、サービス利用への不安を軽減し、本事業の利用促進を図った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施回数	5回	5回	5回
参加者数(利用会員)	25組	25組	22組
参加者数(援助会員)	35名	35名	30名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施回数	5回	4回	5回
参加者数(利用会員)	21組	10組	18組

参加者数（援助会員）	28名	24名	29名
------------	-----	-----	-----

⑤ 住民向け講座等

ア 援助会員発掘事業【区受託】

子育てに関心のある人に対し、アロマハンドトリートメント体験を通じて、子育て支援者養成研修を案内し、受講へとつなげた。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施回数	2回	2回	2回
参加者数	100名	100名	100名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施回数	2回	2回	2回
参加者数	36名	30名	18名

イ 子育て支援講座

区内の子育て支援団体スタッフや援助会員に対し、前年度のアンケートで要望が多かった「子どもの発達障害と家族への対応」をテーマに講座を開催した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施回数	2回	2回	2回
参加者数	80名	80名	80名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施回数	2回	1回	1回
参加者数	56名	10名	7名

※令和3年度はオンライン開催、令和4年度はオンライン+会場のハイブリッド開催

(8) 障害者支援事業

福祉喫茶（3店舗）の運営を通して、障害者に働く場の提供と就労支援を行い、「世田谷区障害者就労支援センター」と連携した実習評価を行った。

① 福祉喫茶の運営

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
就労支援数	4名	8名	8名
来客者数	21,350名	19,560名	16,500名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
就労支援数 (うち一般就労移行者数)	2名 (0名)	3名 (0名)	6名 (1名)
来客者数	24,844名	22,618名	20,086名

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
援助者数（店長含む）	29名	30名	25名
来客者数 内訳			
喫茶 YOU・遊 (松沢まちづくりセンター内)	4,654名	3,796名	3,180名
喫茶桜ん房 (砧図書館内)	6,223名	4,876名	3,454名
喫茶どんぐり (世田谷文学館内)	13,967名	13,946名	13,452名
来客数合計	24,844名	22,618名	20,086名

② 研修（店長・援助者・従事者）

従事者を対象に、一般就労に向け、安定した職業生活のための研修を行うとともに、新規採用した店長向けには、店舗運営や従事者支援についての研修を行った。また、外部講師を招き、店長や援助者に対し、障害者の理解や企業による雇用事例等、支援に必要な知識や技能についての研修を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
従事者研修回数	3回	3回	3回
店長・援助者研修回数	6回	6回	6回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
従事者研修回数	1回	2回	3回
店長・援助者研修回数	8回	6回	7回

(9) 歳末たすけあい運動事業

共同募金の一環として、各地区社会福祉協議会を中心に、町会総連合会、民生委員・児童委員協議会、赤十字奉仕団等関係団体の協力により募金活動を行った。募金は、支援を必要とする世帯等へのお見舞金等の他、地域福祉活動費として社協の各種事業に活用した。

① 歳末たすけあい・地域支えあい募金

ア 募金総額および使途内訳

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
募金額	27,000,000円	25,000,000円	15,000,000円
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
募金額	32,560,281円	29,818,246円	24,877,595円

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
見舞金件数	772件	236件	272件
金額 a	4,049,000円	1,526,000円	1,726,000円
(うち支援を必要とする世帯)	(171件) (1,014,000円)	(230件) (1,436,000円)	(266件) (1,636,000円)
(うち支援を必要とする世帯 小中学校入学祝)	(3件) (45,000円)	(6件) (90,000円)	(6件) (90,000円)
(うち在宅要介護高齢者介護者) ※1	(422件) (2,110,000円)	(0件) (0円)	(0件) (0円)
(うち在宅重度障害者(児)介護者) ※1	(176件) (880,000円)	(0件) (0円)	(0件) (0円)
地域福祉活動費※2b	27,844,075円	27,619,386円	22,253,534円
事務費 c	667,206円	672,860円	898,061円
金額合計(a+b+c)	32,560,281円	29,818,246円	24,877,595円

※1 令和3・4年度は、コロナ禍により募金額が少なかったため、配布対象としなかった。

※2 東京都共同募金会へ納付し、翌年度、地域福祉活動費として社協事業に配分・充当する。

イ 地域福祉活動費内訳

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
地域福祉活動事業	27,619,386円	22,053,534円	10,974,233円
日常生活自立支援事業	—	—	—
生活困窮者等自立生活支援事業	—	200,000円	200,000円
権利擁護支援事業	—	—	—
地域福祉活動費合計	27,619,386円	22,253,534円	11,174,233円

ウ 歳末たすけあい職員街頭募金活動

各地域の主要駅周辺等にて職員による街頭募金に取り組み、募金活動の啓発と募金額の確保に取り組んだ。

【開催状況】

地域	活動日	時間	場所	募金額
世田谷	12月1日	12:00～14:00	三軒茶屋駅周辺	73,587円
北沢		12:00～14:00	下北沢駅前	64,256円
玉川		12:00～14:00	二子玉川駅前	43,364円
砧		12:00～14:00	成城学園駅前	41,744円
烏山		12:00～14:00	烏山区民センター前広場 千歳烏山駅前	79,404円
募金額合計				302,355円

② 世田谷区共同募金配分推せん委員会事務局運営

世田谷区共同募金配分推せん委員会を2回（6月・12月）開催し、世田谷区内の施設・地域福祉活動団体、ふれあい・いきいきサロン活動等への配分推せん及び歳末たすけあい・地域支えあい募金による見舞金等を決定した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
配分推薦委員会開催回数	2回	2回	2回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
配分推薦委員会開催回数	2回	3回	2回

II 生活自立支援事業拠点区分

1 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分

(1) 生活困窮者自立支援事業

今年度も、高齢や心身の不調等により、経済的な面を中心とする生活上の課題を抱えて相談を寄せる区民が多く見られた。特に、世帯を単位として課題が複合化し、解決に時間を要するケースが増えつつある。

そうした中で、引き続き相談者の困りごとをまずは受け止め、寄り添いの姿勢を持ちながら、専門性を発揮し、多機関と連携して適切な支援を行うように心掛けた。

また、開設2年目を迎えた「世田谷ひきこもり相談窓口『リンク』」では、支援ケースを蓄積する中で、メルクマールせたがやとの連携を深め、支援の充実を図った。

① 自立・相談支援【区受託】

様々な生活課題を抱える方に対し、関係機関と連携しながら、生活の再建・安定に向けて面談や電話相談等を通じて各種事業や制度を活用して支援を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談件数	1,000件	1,000件	1,000件
プラン作成件数(新規、更新含む)	600件	800件	800件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談件数	1,286件	1,366件	1,114件
プラン作成件数(新規、更新含む)	729件	605件	603件

② 家計相談【区受託】

家計収支の均衡が取れず、経済的な課題を抱える相談者が増加する中、自立支援プラン作成時に家計表作成を促し収支の見える化を図るとともに、自ら収支バランスを整え、家計管理ができるよう支援を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
家計相談件数	200件	200件	200件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
家計相談件数	656件	518件	421件

③ 生活保護受給者支援【区受託】

生活保護受給者の家計の収支バランスを保つための相談支援、給付基準内の賃料で住まいを確保するための転宅支援を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
転宅支援件数	30件	50件	50件
家計改善支援件数	20件	20件	20件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
転宅支援件数	15件	20件	13件
家計改善支援件数	3件	5件	2件

④ 住居確保給付金【区受託】

令和5年3月末日で特例再支給申請の受付が終了するとともに、コロナ禍における求職活動要件の緩和が終了したため、申請数が昨年に引き続き減少傾向に転じた。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規申請者件数	600件	960件	1,280件
延長申請者件数	450件	720件	1,200件
再延長申請者件数	340件	540件	800件
再々延長申請受付件数	—	—	850件
再支給申請受付件数	—	—	1,500件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規申請者件数	73件	407件	1,171件
延長申請者件数	53件	395件	1,259件
再延長申請者件数	56件	419件	1,206件
再々延長申請受付件数	—	—	1,085件
再支給申請受付件数※	26件	713件	2,529件

※再支給申請は特例再支給を含む。

⑤ 就労準備支援事業【区受託】

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者及び生活保護受給者に対し、生活環境の改善や基本的なコミュニケーション力の向上を図る居場所の提供、職場見学・体験等の支援を行った。

生活自立:居場所（カフェ豪徳寺、漫画の図書館ガリレオ）等

社会自立:ジョブトレーニング（生活保護受給者対象）、コラージュ講座等

就労自立:職場体験等

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
講座等実施回数	260回	120回	146回
延参加人数	1,300名	600名	1,820名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
講座等実施回数	229回	224回	169回
延参加人数	921名	838名	527名

⑥ 日常生活支援アドバイザー派遣事業【区受託】

社会参加の機会がない、ひきこもり状態にある生活困窮者及び生活保護受給者に対し、日常生活支援アドバイザーを派遣(1単位3時間)し、日常生活の維持に必要な知識と技術の習得に向け、指導・助言を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
派遣対象者数	30名	30名	30名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
派遣対象者数	7名	6名	8名

⑦ ひきこもりに関する理解促進を目的としたセミナー等の開催【区受託】

当事者や家族、支援者の相互理解を深めるために、お互いの気持ちをテーマごとに語り合う「かたら～な」という会を対面とオンラインで同時に開催した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
セミナー等の開催回数	1回	2回	1回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
延参加人数	57名	91名	113名

⑧ 生活困窮者移動支援事業

役所への相談や就労面談に行くための交通費にも事欠く方に対し、交通費(1回 500円(区外の場合1,000円まで))を貸し付けた。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者数	24名	30名	30名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者数	3名	6名	7名

⑨ 生活困窮者緊急食支援事業

生活に困窮して直近の食事の確保に困る方に対し、緊急対応として食料の支援を行うとともに、相談窓口等の情報提供を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
支援件数	70件	240件	200件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
支援件数	60件	85件	180件

⑩ フードパントリー事業〔拡充〕【自主(一部区受託)】

NPO法人(セカンド・ハーベスト・ジャパン)や区内の社会福祉法人の協力を得て、生活に困窮して食料支援を必要とする世帯に対して、三軒茶屋・成城・烏山(令和5年7月より)の3か所で、月1回ずつフードパントリー(食料の提供)を実施した。

その際に、区民からの寄付等を活用し、生理用品等の生活用品の配布も行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
支援件数	660件	630件	360件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
支援件数	215件	283件	311件

⑪ 子どもの学習・生活支援事業【区受託】

生活に困窮する世帯の子どもに対し、学習習慣の定着等に向けた学習支援や多世代交流、食育等を行う「せたがやゼミナール」(通称「せたぜみ」)を通年で開催した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催場所	5か所	6か所	5か所
延登録者数	50名	75名	75名
子ども支援ネットワーク会議の開催	—	2回	2回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催場所	5か所	5か所	5か所
延登録者数	79名	77名	77名
子ども支援ネットワーク会議の開催	—	2回	1回

⑫ 受験生チャレンジ支援貸付【区受託】

高校や大学等を受験する世帯(所得制限あり)に対して、学習塾等の受講料や受験料の貸付を行う事業の周知及び申請受付を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
学習塾等受講料申請者(中3)件数	240件	240件	240件

学習塾等受講料申請者（高3）件数	120件	120件	120件
受験料申請者（中3）件数	240件	240件	240件
受験料申請者（高3）件数	160件	160件	160件
償還免除申請受付件数（学年共通）	760件	760件	—
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
学習塾等受講料申請者（中3）件数	180件	172件	102件
学習塾等受講料申請者（高3）件数	102件	93件	71件
受験料申請者（中3）件数	175件	159件	99件
受験料申請者（高3）件数	136件	119件	93件
償還免除申請受付件数（学年共通）	532件	350件	—

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
貸付件数合計	585件	538件	362件
貸付金額合計	67,049,400円	61,806,500円	42,206,300円

⑬ 進学応援給付金

区内児童養護施設や養育家庭から大学等に進学する児童の社会的自立を支援するため、学費の一部を給付した。(1人年間12万円)

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
対象者数	16名	6名	6名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
対象者数	12名	10名	7名

⑭ ひきこもり支援【区受託】〔拡充〕

世田谷ひきこもり相談窓口『リンク』を運営するとともに、ひきこもりの方やその家族に対し、メルクマールせたがやと共に世田谷区や関係機関と連携・協働し、相談及び支援を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談受付業務	300件	300件	—
プラン策定件数	20件	100件	—
重層的支援会議	12回	60回	—
(仮称)8050支援部会	2回	2回	—
ひきこもり・就労支援部会	3回	2回	—
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談受付業務	326件	213件	—
プラン策定件数	24件	13件	—
重層的支援会議 ※	72回	64回	—
(仮称)8050支援部会	2回	2回	—
ひきこもり・就労支援部会	3回	4回	—

※個別ケース検討会議（社会福祉法第106条の6）18回を含む。

(2) 生活福祉資金貸付事務事業【東社協受託】

東社協（貸付実施機関）から相談・受付事務等を受託している生活福祉資金の貸付において、コロナ禍で収入が減少し生活に困窮する方の支援策として、令和2年3月から令和4年9月まで緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付が実施された。令和5年1月から東社協による償還が開始された。本会は東社協と連携しながら、償還猶予の相談及び意見書作成を開始した。

① 生活福祉資金貸付事務事業

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
福祉資金・教育支援資金	80件	80件	80件
緊急小口資金	20件	40件	40件
総合支援資金	5件	10件	10件
不動産担保型生活資金	2件	2件	2件
要保護世帯不動産担保型生活資金	2件	2件	2件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
福祉資金・教育支援資金	75件	58件	59件
緊急小口資金	5件	2件	0件
総合支援資金	0件	0件	0件
不動産担保型生活資金	0件	0件	0件
要保護世帯不動産担保型生活資金	0件	0件	0件

※内訳）福祉資金 6件、教育支援資金 69件

（参考）

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
緊急小口資金（特例貸付）	—	1,033件	4,122件
総合支援資金（特例貸付・初回）	—	933件	4,025件
総合支援資金（特例貸付・延長）	—	—	1,950件
総合支援資金（特例貸付・再貸付）	—	—	5,230件
償還猶予意見書作成	91件	68件	0件

2 貸付金等事業サービス区分

(1) 貸付金等事業

世田谷区の協力を得て、緊急性の高い生活費の一部（食費や水道光熱費）等の貸付支援を行った。

① 応急貸付金事業

低所得世帯が緊急的に生活費に窮した場合に小口の資金を貸付け、世帯の自立を支援した。

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
貸付件数	12件	16件	30件
貸付金額	227,080円	447,000円	519,750円
償還金額	210,880円	256,200円	449,550円

② 緊急援護金事業

世田谷区と連携し、世田谷区在住者の困窮時の支援を目的として、緊急一時金（小口援護資金）を貸付け、生活の立て直しに向けた支援を行った。

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
貸付件数	212件	205件	203件
貸付金額	600,490円	601,330円	563,350円

Ⅲ 権利擁護事業拠点区分

1 成年後見推進事業サービス区分

(1) あんしん事業

認知症、知的障害、精神障害や身体障害により、生活に不安がある方やサービスの利用手続きが難しい方に対し、生活支援員が福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりを行った。また、申立て手続き等が必要な方には成年後見制度への移行を支援した。

訪問にあたっては、専門員（職員）と生活支援員（臨時職員）が連携して支援を行った。

① あんしん事業（地域福祉権利擁護事業）【東社協受託・自主】

関係機関等への事業周知が浸透してきたことにより、新規契約件数は前年度に引き続き計画数を上回っている。また、解約件数については、後見移行や施設入所等に伴う解約が増加した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規契約件数	40件	40件	40件
年度末契約件数	170件	138件	130件
後見移行件数	17件	17件	17件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規契約件数	63件	69件	63件
年度末契約件数	155件	173件	158件
後見移行件数	29件	18件	10件

(参考)

ア 相談件数

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
電話・窓口相談件数	91件	120件	114件
新規・既契約者への訪問件数	1,696件	1,898件	1,810件

イ 契約件数等

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規契約件数	63件	69件	63件
解約件数 (うち後見制度への移行件数)	81件 (29件)	54件 (18件)	33件 (10件)
3/31現在の契約件数	155件	173件	158件
生活支援員登録人数(3/31現在)	118名	119名	118名

② あんしん法律相談

高齢者・障害者に法的な助言が得られる機会を提供するため、弁護士による無料の専門相談を実施した。(第2木曜日の午後)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談件数	31件 (81件)	28件 (94件)	43件 (113件)

※ () は、「成年後見制度利用支援事業」における弁護士による専門相談との合計数

(2) 成年後見制度利用支援事業

世田谷区において成年後見制度利用促進を図る中核機関として、成年後見制度の相談や申立支援、講座等による普及啓発活動を行った。さらに、区民成年後見人の育成及び活動支援や、関係機関とのネットワーク構築を行いながら成年後見制度の利用促進を行った。

専門員による相談件数は前年度に引き続き増加しており、また、令和5年度より自主事業から受託事業となった成年後見セミナーや若い支度講座の参加者数も増加している。

① 成年後見制度の専門相談・支援【区受託】

判断能力が低下した高齢者・障害者の生命・財産を守り、地域で安心して生活できるよう、相談員による相談を実施し、成年後見制度の利用促進を図った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談件数	1,600件	1,600件	1,550件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談件数	2,158件	1,981件	1,678件

※相談件数は、相談員による相談件数

② 親族後見人等への支援【区受託】

本人及び親族による申立や、親族後見人による家庭裁判所への定期報告等への支援、相談・助言を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
申立等支援件数	95件	90件	80件
親族後見人継続支援件数	10件	10件	10件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
申立等支援件数	110件	103件	78件
親族後見人継続支援件数	7件	5件	3件

※申立等支援件数は、申立て書類作成支援と申立て手続き支援の合計数

③ 弁護士による専門相談【区受託】

高齢者、障害者、またその家族及び支援者等が法的な助言を得られる機会を提供した。

○弁護士による無料相談 1人30分（予約制）

○第1・3水曜日午後実施

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
相談件数	50件 (81件)	66件 (94件)	70件 (113件)

※（ ）は、「あんしん法律相談」との合計数

④ 区民成年後見人養成研修の実施【区受託】

区民成年後見人等となる人材を育成するため、養成研修を実施した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
修了者数	11名	11名	11名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
修了者数	11名	8名	8名

⑤ 区民成年後見支援員の活動支援【区受託】

成年後見制度の利用支援・普及啓発のため、区民成年後見支援員（区民成年後見人養成研修を修了して支援員として登録された方）に活動の場の提供等の支援を行った。区民成年後見支援員は、活動実績を積んだ後に成年後見人等を受任しており、専門性のある地域人材となっている。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
区民成年後見支援員登録人数	165名	165名	166名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
区民成年後見支援員登録人数	155名	159名	157名

(参考)

ア 区民成年後見支援員の活動 その他詳細

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
連絡会等の開催 ^{※1}	3回	3回	3回
申立手続き説明会説明員参加延人数	66名	85名	35名
アドバイザー活動 ^{※2}	7名	2名	1名
普及啓発支援員活動 ^{※3}	8名	7名	7名

※1 連絡会と継続研修は録画配信

※2 ベテラン区民成年後見人による初任の区民成年後見人への指導助言

※3 外部機関を含めた講座・学習会等における成年後見制度や区民成年後見人活動に関する説明・講義

イ 成年後見制度相談会の実施

成年後見制度利用促進及び区民成年後見支援員の活動の場の提供支援の一環として、5地域で成年後見制度相談会を実施した。区民成年後見支援員が相談員となり、成年後見制度の説明や相談に応じた。

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	20回	22回	13回
相談件数	30件	36件	24件

⑥ 運営委員会【区受託】

成年後見制度を必要とする区民に対する利用支援のあり方や、成年後見センターの運営方針等を検討した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
運営委員会開催回数	3回	3回	3回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
運営委員会開催回数	3回	3回	3回

⑦ 事例検討委員会【区受託】

成年後見制度に関する事例について、後見業務の内容を検討し、成年後見人等として受任中の弁護士、司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士等による専門的なアドバイスを受けるとともに、後見人等候補者の選任を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	24回	24回	24回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	24回	24回	24回

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
事例検討委員会小委員会開催回数	9回	10回	11回

※事例検討委員会で区民成年後見人が後見人等候補者になった場合、小委員会を開催し区民成年後見人の選任を行う。

⑧ 権利擁護事例検討会【区受託】

成年後見制度やあんしん事業に関する事例を検討し、あんしんすこやかセンター、地域障害者相談支援センター等との連携を図った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	2回	2回	2回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	2回	2回	2回

⑨ 成年後見制度地域連携ネットワーク会議の開催【区受託】

世田谷区における成年後見制度の中核機関として、行政や相談支援機関、専門職、民生・児童委員等が参加し、成年後見制度の利用促進や課題を協議する地域連携ネットワーク会議を開催した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	3回	2回	2回
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	3回	2回	2回

⑩ 成年後見セミナー【区受託】

成年後見制度について、申立てやその後の後見業務に活用してもらうことを目的とした講座を開催した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	4回	4回	4回
募集人数	160名	160名	160名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	4回	4回	1回
参加人数	74名	43名	11名

⑪ 親族後見人のための成年後見セミナー【区受託】

親族後見人対象のセミナーを開催し、親族後見人の支援を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	1回	1回	1回
募集人数	20名	20名	20名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	1回	1回	1回
参加人数	13名	12名	11名

⑫ 古い支度講座【区受託】

制度の普及啓発を図るため、成年後見センター事例検討委員会の弁護士、司法書士、社

会福祉士等を講師として、成年後見制度、遺言、相続等に関する講座を実施した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	6回	5回	5回
募集人数	180名	150名	150名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	6回	5回	2回
参加人数	187名	62名	24名

⑬ 区民成年後見人等の活動支援【区受託】

区民成年後見人の後見活動や死後事務への対応、家庭裁判所への報告書の提出等について、相談・支援を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規受任件数	17件	15件	15件
年度末受任件数	62件	75件	72件
死後事務対応件数	15件	10件	10件
区民成年後見人等受任者数	58名	58名	55名
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規受任件数	18件	13件	16件
年度末受任件数	54件	54件	60件
死後事務対応件数	12件	13件	16件
区民成年後見人等受任者数	46名	50名	56名

※現在、区民成年後見人等に対して、本会が全て後見等監督人となっていることから、表の数値は「後見等監督人の受任件数」の表と一致する。

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
終了件数	18件	19件	21件

⑭ 活動報告書の作成【区受託】

成年後見制度の利用促進にかかる事例等を紹介し、区民や支援者に周知することで、成年後見制度の普及啓発を行った。

⑮ 支援者のための研修【区受託】

高齢者や障害者を支援する業務に従事する職員が成年後見制度を理解し、制度を必要とする方を適切につなげられるよう、支援者向けの研修を実施した。

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開催回数	1回	1回	1回
受講者数	16名	11名	62名

(3) 法人による成年後見事業

「成年後見センター運営計画（令和5年度～令和7年度）」に基づき、法人の自主事業に取り組んだ。

区民後見監督の新規受任件数は前年度に比べ増えたが、終了件数と同数だったため、年度末受任件数は横ばいとなった。

法人後見は、新規受任件数は前年度に比べ減少したがほぼ計画値となっている。なお、区民成年後見人の活動支援の一環として、安定したケースを区民成年後見人へのリレー受任を積極的に実施した。

① 法人による区民後見監督

家庭裁判所による区民成年後見人等の選任に伴い、本会が後見等監督人の選任の審判を受け、区民成年後見人等の活動を監督した。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規受任件数	17件	15件	15件
年度末受任件数	62件	75件	72件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規受任件数	18件	13件	16件
年度末受任件数	54件	54件	60件

※現在、区民成年後見人等に対して、本会が全て後見等監督人となっていることから、表の新規受任件数と年度末受任件数は「(2) 成年後見制度利用支援事業③区民成年後見人等の活動支援【区受託】」の表と一致する。

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
終了件数	18件	19件	21件

② 法人による成年後見

ア 法人後見

特に福祉的配慮が必要で他に適切な成年後見人等がない人に対して、本会が法人として後見人等の審判を受け、身上保護、財産管理等を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規受任件数	15件	25件	25件
年度末受任件数	105件	109件	105件
死後事務対応件数	20件	20件	15件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規受任件数	14件	17件	18件
年度末受任件数	92件	97件	103件
死後事務対応件数	7件	14件	6件

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
終了件数（区民後見人へのリレー）	19件 (6件)	23件 (3件)	14件

イ 任意後見

自分の将来のために、本会に成年後見人を依頼したいと希望する高齢者と公正証書により任意後見契約を結び、定期訪問または電話による日常生活の見守りを行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規契約件数	3件	3件	3件
年度末契約件数	10件	15件	12件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
新規契約件数	1件	2件	1件
年度末契約件数	9件	8件	9件

(参考)

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
契約終了件数 (うち後見発効件数)	0件	3件 (3件)	3件 (2件)

③ 区民成年後見人への後見報酬・区民成年後見支援員への活動助成

権利擁護推進基金積立金を活用し、被後見人の経済的な理由により後見報酬が得られない区民成年後見人に報酬助成を行うとともに、区民成年後見支援員の勉強会等の活動に対して助成を行った。

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
後見報酬助成件数	9件	15件	12件
自主活動助成件数	5件	5件	5件
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
後見報酬助成件数	4件	4件	3件
自主活動助成件数	3件	3件	3件

④ 「私のノート（世田谷区社会福祉協議会版エンディングノート）」の発行

自分の将来の生活について考え、周囲に自分の思いを伝え、安心して暮らすための備えとして、「私のノート」を各種講座で紹介し販売を行った。(累計販売実績:3,109冊)

計画	令和5年度	令和4年度	令和3年度
販売部数	300部	300部	300部
実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
販売部数	315部	207部	194部

収益事業区分

I 自動販売機設置事業拠点区分

1 自動販売機設置事業サービス区分

(1) 自動販売機設置事業

自動販売機の設置増に向けて、地域社協だよりや SNS、チラシ等を活用して PR 活動を行った。

また、次年度からの自動販売機設置業者の選定（入札）を行い、販売手数料収入の増を図った。

① 地域貢献型自動販売機設置

計画	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
自動販売機設置台数	41 台	40 台	34 台
実績	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
自動販売機設置台数	40 台	39 台	38 台

(参考)

実績	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
販売手数料収入額	8,514,000 円	8,502,000 円	8,708,776 円

※公共施設の移転・改築等により設置台数が減少傾向にあるため、個人宅や企業、民間施設等に設置できるように広報活動に取り組み、新たに 1 か所 1 台を設置した。

別表

別表一覧

- 別表1 「I-1-(1)-① 理事会、評議員会等」関係
- 別表2 「I-1-(1)-⑤ 世田谷区社会福祉協議会会員会費募集」関係
- 別表3 「I-2-(1)-① 地区社会福祉協議会の運営支援」関係
- 別表4 「I-2-(1)-② 地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）【区受託】」関係
- 別表5 「I-2-(1)-⑤ 高齢者の新たな居場所づくり事業（「なごみの広場ちとふな）【区受託】」関係
- 別表6 「I-2-(2)-② 地域・地区における交流・啓発 ア サロンリーダー交流会等の開催」関係
- 別表7 「I-2-(5)-① 地区サポーター」関係

別表1「I-1-(1)-①理事会、評議員会等」関係

(1) 理事会の開催

開催	内容
第1回 6月12日(月)	【決議事項】 1 令和4年度事業報告・決算（計算書類・財産目録）の承認 2 令和5年度補正予算（第一次）（案） 3 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会関係諸規程の一部改正 4 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会次期役員候補者の決定 5 役員等賠償責任保険契約の決定 6 令和5年度第1回評議員会の招集事項の決定 【報告事項】 1 予算の流用について 2 社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定について 3 第21回地域福祉推進大会について 4 第4次世田谷区住民活動計画について 5 令和4年度世田谷区社会福祉協議会会員会費の実績について 6 令和4年度応急貸付金の償還免除について 【その他】 1 令和5年度理事会・評議員会等スケジュールについて 2 令和5年度事業計画・予算書（冊子）の配布について
第2回 6月30日(金)	【決議事項】 1 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会会長の選定 2 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会副会長の選定 3 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会常務理事の選定 【その他】 1 令和5年度理事会・評議員会等スケジュールについて 2 役員就任に伴う事務手続きについて
第3回 11月8日(水)	【決議事項】 1 令和5年度補正予算（第二次） 2 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任 3 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会評議員候補者の推薦

	<p>4 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会関係諸規程の一部改正</p> <p>5 令和5年度第2回評議員会の招集事項の決定</p> <p>【報告事項】</p> <p>1 予算の流用について</p> <p>2 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について(令和5年度事業中間報告)</p> <p>3 令和5年度社会福祉協議会会員会費の中間報告について</p> <p>4 第21回地域福祉推進大会について</p> <p>5 令和5年度歳末たすけあい・地域支えあい募金における職員街頭募金の実施について</p> <p>【その他】</p> <p>1 令和5年度理事会・評議員会等スケジュールについて</p>
<p>第4回 3月11日(月)</p>	<p>【決議事項】</p> <p>1 令和5年度補正予算(第三次)</p> <p>2 令和6年度事業計画・予算</p> <p>3 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会評議員候補者の推薦</p> <p>4 令和5年度第3回評議員会の招集事項の決定</p> <p>【報告事項】</p> <p>1 予算の流用</p> <p>【その他】</p> <p>1 えみいレポート 世田谷区成年後見センター活動報告書について</p> <p>2 令和6年度世田谷区社会福祉協議会年間スケジュールについて</p>

(2) 評議員会の開催

開催	内容
<p>第1回 6月29日(木)</p>	<p>【決議事項】</p> <p>1 令和4年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認</p> <p>2 令和5年度補正予算(第一次)</p> <p>3 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会役員を選定</p> <p>【報告事項】</p> <p>1 令和4年度事業報告について</p> <p>2 予算の流用について</p> <p>3 社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定について</p> <p>4 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会関係諸規程の一部改正</p> <p>5 役員等賠償責任保険契約の決定</p> <p>6 第21回地域福祉推進大会について</p> <p>7 第4次世田谷区住民活動計画について</p> <p>8 令和4年度世田谷区社会福祉協議会会員会費の実績について</p> <p>9 令和4年度応急貸付金の償還免除について</p> <p>【その他】</p> <p>1 令和5年度理事会・評議員会等スケジュールについて</p> <p>2 令和5年度事業計画・予算書(冊子)の配布について</p>
<p>第2回 11月28日(火)</p>	<p>【決議事項】</p> <p>1 令和5年度補正予算(第二次)</p> <p>【報告事項】</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会評議員の選任について 2 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任 3 予算の流用について 4 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について(令和5年度事業中間報告) 5 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会関係諸規程の一部改正 6 令和5年度社会福祉協議会会員会費の中間報告について 7 第21回地域福祉推進大会について(報告) 8 令和5年度歳末たすけあい・地域支えあい募金における職員街頭募金の実施について <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度理事会・評議員会等スケジュールについて
<p>第3回 3月25日(月)</p>	<p>【決議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度補正予算(第三次) 2 令和6年度事業計画・予算 <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会評議員の選任について 2 予算の流用について <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 えみいレポート 世田谷区成年後見センター活動報告書について 2 令和6年度世田谷区社会福祉協議会年間スケジュールについて

別表2 「I - 1-(1)-⑤世田谷区社会福祉協議会会員会費募集」関係

実績内訳

会員数

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
会員数	26,320名	23,389名	14,745名
一般会員	24,659名	21,686名	13,134名
特別会員	1,125名	1,184名	1,112名
法人会員	536名	519名	499名

会費額

実績	令和5年度	令和4年度	令和3年度
会費額	30,775,010円	27,908,812円	23,209,782円
一般会員	15,266,666円	13,563,232円	9,584,387円
特別会員	11,619,429円	10,587,330円	9,951,065円
法人会員	3,888,915円	3,758,250円	3,674,330円

別表3「I-2-(1)-①地区社会福祉協議会の運営支援」関係

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した場合、成果欄に【中止】と表記する。

(1) 世田谷地域

①池尻地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 574,400円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(3回)
町会敬老事業賛助	町会主催の敬老事業に賛助し、地区内の高齢者福祉の増進を図った。	池尻地区内8町会(10月)
地域福祉推進員研修	推進員及び地区内の住民が交流し学び合う機会として推進大会の場を活用した。	地域福祉推進大会 日程:11月19日 出席者:8名 会場:駒沢大学記念講堂
三宿・池尻音楽交流会	一緒に歌を歌ったり、身体を動かしたりすることで、地区の高齢者の閉じこもり防止と交流を図る事業として開催した。より会の充実度を図るため、お当番と振り返りの会を設けた。(池尻あんしんすこやかセンターとの共催事業)	日程:5月、7月、9月※、11月、1月、3月 隔月第2金曜日10時～ 会場:池尻まちづくりセンターB1F 途中から池尻団地集会所にて実施 ※台風のため中止
楽笑スマホ～みんなで、楽しく笑って過ごすスマホの時間～	スマホの困りごとを通じた生活課題の解決に向けた取り組みと合わせ、ボランティアとの交流を重視し実施した。	日程:5月※、6月、7月、9月、10月、11月、1月、2月 参加者:毎回10名以上 ※あんすこと共催で講座実施
子育てに関する交流会(子育て支援ネットワーク)	子育てに関する情報共有・課題解決に向け、池尻児童館の協力を得て、会議体を立ち上げた。「地域に顔なじみをつくろう」という目標を掲げ、「みちあそび」を池尻児童館とともに取り組んでいく方向で、ネットワークで合意した。	年3回実施(5月、11月、1月)各回13名出席 (ネットワーク参加団体) 池尻地区内の子ども関係団体児童館、保育園、幼稚園、おでかけひろば、子育てサロン等
広報事業	①オンライン上で必要な情報を受け取れる環境を構築するため、毎月、個別相談対応ができる体制を整備した。 ②地区社協だよりをVol1,2と発行し、町会回覧を通じて広報した。また、町会の役員会にて、社協に関する説明を実施した。	①年8回実施 参加者:延77名 ②地区社協だより Vol 1,2
住民学習会	地区住民と一緒に学習会を行い、福祉に対する意識を高め、地区社協の理解者を増やした。世田谷ボランティア協会等、新たな団体を講師にお招きした。	日程:2月1日 参加者:34名 会場:がやがや館 多目的室
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協周知のため、通年で会費募集を実施した。各町会の募集形態は異なるが、可能な範囲でご協力いただいた。	通年実施 会員数:76名 会費額:574,400円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	コロナ禍の影響を鑑みて、各町会で募集形態を検討し実施した。	日程:11月、12月 件数:9件 募金額:754,214円

②太子堂地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 825,492円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(3回) 役員会(2回)
地区社協PR事業	町会回覧板や区掲示板、メールマガジン、HP等を活用し、地区社協の事業や地域での取り組みについて積極的に発信し、地区社協活動の周知・啓発活動を行った。	随時実施 メールマガジン25件配信
地域福祉推進員研修	テーマ:「子どもの遊びに関する実践と今後の在り方」 講師:NPO法人プレーパークせたがや 理事 天野 秀昭氏	日程:2月27日 参加者:39名
地区活動団体事業賛助	地区内の町会や団体が実施する事業に対し、賛助を行った。	町会敬老事業(7町会) 太子堂ふれあいまつり 太子堂マラソン大会
音楽交流会	音楽療法士の指導・ピアノ演奏による、懐かしい歌や音楽にあわせて体を動かし楽しいひと時を過ごした。高齢者や障害者等の閉じこもり予防と住民同士の交流を図った。	日程:6月22日 参加者:35名 日程:7月27日 参加者:38名 日程:10月12日 参加者:41名 日程:12月25日 参加者:37名 日程:2月29日 参加者:41名 日程:3月11日 参加者:43名
ふれあい芋煮会 (多世代交流事業)	新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症拡大防止への対応(来場者、中学生ボランティアや地区社協委員の密集回避や感染症対策の管理等)が困難であることから開催中止となった。	11月3日【中止】
命のバトン事業	管内在住者を対象とし、日常生活上の不安軽減を図り、地域住民同士の顔なじみの関係の構築に向けて、広報周知を行った。	通年実施 306名(230世帯)登録
ICTを通じたつながりづくり 「スマホ講座」	スマホをWi-Fiにつなげ検索機能を使いスマホ初心者情報が得る手段を知るとともに、操作の利便性を図るためタッチペンを使用し、どなたでも簡単に操作ができる方法を学んだ。講座を通じて、デジタルボランティアや学生ボランティアと交流を図った。	①日程:10月23日 参加者:9名 ボランティア:5名 太子堂スマホHELP:1名 推進員:1名 ②日程:11月24日 参加者:14名 ボランティア:6名 太子堂スマホHELP:3名 推進員:1名
地域課題解決事業食品の寄贈	『地区社協フードドライブ』 ぷらっとホーム世田谷を通じて食の支援を必要とする世帯等に食品をお届けするとともに、地区内で活動する子ども食堂へ食品を	日程:10月30、31日実施 食品・日用品 100kg 無印良品三軒茶屋店 受取回数:7回 113kg

	配布した。また、無印良品三軒茶屋店舗内で常設のフードドライブを9月より開始した。	
地域連携事業	関係機関と連携して事業に協力した。	太子堂あんしんフェア 2023 日程:5月14日 サバイバルキャンプ 日程:7月22日 太子堂ふれあいまつり 日程:8月26日 認知症とともに生きるオレンジの日 日程:9月27日 太子堂青空スマホ 日程:月1回 第1水曜日
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協周知のため、会費募集を実施した。可能な範囲で戸別訪問による募集を行うとともに、特別会員・法人会員へ向けて振込用紙で協力を依頼した。	通年実施 会員数:79名 会費額:426,300円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	地域福祉の推進を図ることを目的とし、関係団体の協力を得て世田谷区社会福祉協議会が実施する募金活動を行った。	日程:11月、12月 募金額:712,420円

③若林地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,270,318円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を開催し、適切な維持・運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(4回) 役員会(1回)
広報PR事業	①若林地区社協リーフレット作成、PR物品の配布を通し、地域住民に地区社協活動を周知した。 ②地域行事に参加し、事業チラシの配布等で地区社協のPRを行った。 町会回覧板や掲示板を活用し、地区社協活動や事業のPRを行った。 ③メールマガジンを活用し、地区社協事業の情報を積極的に発信した。	①若林地区社協リーフレット、若林地区社協だより、PR物品の配布 ②日程:11月4日(芋煮会) ③メールマガジン:22件配信
見守り支援協働事業	地域の問題解決や福祉のまちづくりに共に取り組むネットワーク作りを行い、今年度は地域福祉推進員を対象として実施した。	見守り支援協働事業懇談会 日程:3月1日 参加者:30名
地域福祉推進員研修事業	地域福祉推進員の知識向上と親睦を目的に、「公益財団法人 湘南産業振興財団 ロボテラス」の視察研修を行った。	地域福祉推進員研修 日程:1月17日 参加者:20名
命のバトン事業	在宅時の緊急時に備え、命のバトンの普及に取り組んだ。啓発のためメールマガジン、地区ホームページでの周知や、地区イベントや窓口等でチラシ配布を行った。	対象:450世帯 679名

地域交流事業	① 芋煮会・伝承遊び・フォトスポットコーナー等を通じて、多世代の住民同士の交流を図るとともに、社協活動紹介コーナーを設け活動への理解促進に努めた。 ② 自宅に閉じこもりがちな方や既存のサロンへの参加が難しい方でも気軽に参加できるゆるやかな居場所を提供した。今年度より三軒茶屋会場を設置した。	① 日程:11月4日 参加者:約200名 会場:若林複合施設 ② 日程:第2・3・4月曜日 参加者:延379名 会場:若林複合施設、ルネサンス三軒茶屋、若林ふれあいルーム
住民学習事業	ソフィアメディ(株)・ソフィア訪問看護ステーションの協力を得て、体成分測定を実施した。	日程:10月19日 参加者:40名
子育て支援事業	子育て中の親子の集いの場として、三軒茶屋小学校多目的室にて、毎月第2金曜日に、うさちゃんぽっぽを実施した。	うさちゃんぽっぽ 10回開催(4月、8月休止) 参加者数:親子延34組 スタッフ:延77名
地区活動団体事業賛助事業	地区内活動団体の事業へ賛助を行った。	地区活動団体 7団体8事業
福祉学習推進事業	福祉に対する理解と関心を深め、福祉の心を育てることを目的とし、福祉学習を行った。 内容:車いす体験・アイマスク体験	若林小学校4年生 日程:10月17日 参加者:91名
地区課題解決事業	コロナ禍のためフードドライブを実施し、受付等で課題把握に努めた。 三軒茶屋町会古着・古布回収と同時開催した。	日程:12月2日
社協会費募集事業	組織基盤の強化と地区社協事業の充実・周知のため、関係団体の協力を得て会費募集を行った。今年度は募集時期を10月～11月に変更し、戸別訪問とあわせて振込用紙による会費納入もできるよう対応した。	通年実施 会員数:275名 会費額:516,100円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	地域福祉の推進を目的として、区社協が実施する募金活動を行った。	日程:11月～12月 募金額:1,163,310円

④上町地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,149,050円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会、総務会を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 役員会(2回) 総務会(1回)
地域福祉人材育成	推進員研修を通して、推進員や社協関係者に地域福祉の推進に向けた地域活動等の知見を深めた。	地域福祉推進員研修 日程:2月28日 参加者:33名
広報PR事業	「上町地区社協だより」や「ココロンほっと通信」を発行し、地域で生活する幅広い世代に対し、上町地区社協の取り組みや目的を認知してもらうよう働きかけた。	上町地区社協だより発行 ココロンほっと通信発行

地区啓発活動団体事業賛助	地域で活動するさまざまな団体を賛助し、地域交流活動の推進を図った。	上町地区 PTA5 校等への賛助 7 月 桜小学校 PTA 8 月 松丘小学校 PTA 8 月 弦巻小学校 PTA 10 月 桜木中学校 PTA 12 月 弦巻中学校 PTA パブリックシアター移動公演 (デイホーム世田谷と共催) 日程:6 月 14 日
上町社協見守り事業	デジボラ等各関係者と連携をとりながら、デジタル機器を通じた交流機会を設け、高齢者のゆるやかな見守りの体制づくりに取り組んだ。	『お気楽さくらスマホ会』 日程:7 月 31 日 参加者:25 名 会場:都営桜一丁目アパート 集会室 『弦巻ハイツマンションスマホ交流会』 日程:12 月 21 日 参加者:11 名 会場:弦巻ハイツマンション 集会室
地域交流事業	地域の関係団体や関係者と連携をとりながら、地域住民が気軽に参加できる地域活動の機会を創出し、地域住民の繋がりづくりに取り組んだ。また関係団体の事業に参加協力した。	『ふれあいカフェ』 日程:9 月 9 日 参加者:44 名 『ふれあい作品展』 日程:11 月 29 日～12 月 1 日 参加団体:22 団体 参加者:延 170 名 参加協力 『こども大会』 日程:8 月 24 日 スタッフ:15 名 『児童館まつり』 日程:10 月 22 日 スタッフ:8 名
社協会費募集事業	関係団体や住民が集まる会議体での会費募集の呼びかけの他、特別会員・法人会員へ振込用紙を送付し協力を呼びかけた。	通年実施 会員数:37 名 会費額:414,000 円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	戸別訪問を中心に、地域住民や各種関係団体に働きかけ募金活動を実施した。	日程:11 月、12 月 募金額:1,643,610 円

⑤経堂地区社会福祉協議会(令和 5 年度収入決算額 1,942,397 円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会 (1 回) 5 月 運営委員会 (3 回)

地区活動団体事業賛助<協賛>	敬老・青少年事業、地区活動団体事業に支援を行い、地区内の福祉増進を図った。	9月 町会敬老事業 3月 青少年地区事業
地域福祉推進員研修学習会	研修会「福祉学習」について学び、小中学校での福祉学習のサポート力の強化につなげた。	日程:2月7日 参加者:30名 会場:桜丘区民センター別館「桜丘ホール」
見守り活動	住民による、地域にひらかれた相談窓口として、居場所「きょう D0」を運営した。困った時に声をかけあえる地域づくりに取り組んだ。	見守り 通年実施 きょう D0 への賛助
広報	広報紙「きょうどう地区社協だより (27号)」を発行し、各事業開催時に配布した。啓発物品としてクリアファイルを制作した。	広報紙発行:10月 啓発物品制作:9月
子育て交流会	地域の子育て団体のネットワークに協力「こども天国」の運営企画に参加・賛助を行い、子育て世代の支援を行った。	日程:6月29日、10月26日、 3月6日 「こども天国」に協力
地域課題解決事業	フードドライブの際によろず相談を行い、困りごと集約に努めた。また地域の課題として、こども食堂を見学、賛助他支援協力を行った。	春・秋 合計6か所でフードドライブ実施 子ども食堂2か所へ計45,000円の賛助
イキイキ演芸会	砧音楽療法の野田氏を講師に迎え、閉じこもり防止・多世代交流のきっかけづくりに取り組んだ。	日程:10月15日 参加者:43名 会場:鷗友学園ホール
地域環境美化清掃活動参加<共催>	地区内で行われている清掃活動に参加し、他団体とのネットワーク作りを行った。	日程:6月18日、12月3日
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体の協力を得て社協会費募集を行った。	通年募集 会員数:4,039名 会費額:2,388,616円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	世田谷区社会福祉協議会が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	日程:11月、12月 募金額:2,434,901円

⑥下馬地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,605,278円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(2回)
PR事業	<ul style="list-style-type: none"> せたがや環境フェスタに参加し、地区社協の活動を広く周知するリーフレットを配布しPRを行った。 適宜、区掲示板やメールマガジン、地区ホームページを活用し、地区社協や地域社協の取り組みについて広報を行った。 	日程:5月13、14日 内容:輪投げコーナー、地区社協PR、地区社協リーフレット配布

地域ボランティア活動	①サロン下馬和楽活動を継続実施した。 ②ガレージでカフェの活動をアップデートし、新たに「一丁目カフェ」として定期開催することにより継続的な見守り活動、高齢者の居場所づくりを行った。	①日程:毎月第4月曜日 14時 ②日程:11月16日、12月7日、1月18日、2月15日、3月14日
地区活動団体助成	地区内の地域福祉活動団体へ助成を行い、地域福祉の増進を図った。	2月 民生児童委員協議会 地区活動団体
地域福祉人材育成	①居場所交流会を実施し、地区内の活動者同士のネットワークの強化を図った。 ②推進員バス研修を実施し、介護リハビリ部門、高齢者の移動支援部門、生活支援部門の各ロボットの見学・体験を通じて近未来の介護・福祉に触れるとともに、推進員相互の交流を図った。 ③駒繫小学校にて車いす体験、高齢者疑似体験を実施し、福祉に関心を持つきっかけづくりとなった。	①居場所交流会 日程:12月19日 参加者:15名 会場:区民集会所 ②推進員研修兼住民学習会 日程:11月17日 参加者:20名 会場:湘南産業振興財団ロボテラス(藤沢市) ③駒繫小福祉学習(3年生) 車椅子体験・高齢者疑似体験 推進員12名従事
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、社協会費募集を実施した。 戸別訪問は実施せず、地区事務局での窓口受領及び特別・法人会員への振込用紙での協力依頼を行った。	通年実施 会員数:940名 会費額:875,885円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	世田谷区社会福祉協議会が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	日程:11月、12月 募金額:937,250円

⑦野沢地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,342,659円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(2回)
子育て応援事業	①親と子の音楽交流会(音楽であそぼ!) 親子で参加できるリトミックを通じ、コロナ禍で減少していた地域の親子同士の交流の場をつくり、地域資源紹介や社協活動のPRを実施した。 ②ゆったり子育てフェスタ 子育て関係団体ネットワークとの共催にて、野沢児童館の改修工事による、親子の居場所喪失を防ぎ、地域の関係子育て支援団体との顔つなぎや専門職への相談機会の拡充を目的に実施した。	①日程:2月29日 参加者:親子6組 会場:下馬ふれあいルーム (下馬区民集会所2階) ②日程:7月5日(水) 参加者:親子29組 会場:野沢児童館
音楽交流会	国立音楽院の協力で、音楽を通して、地区内の高齢者の閉じこもり予防と交流を目的に	日程:6月8日 参加者:24名

	実施した。今年度は都度開催場所を変更し、より身近なエリアでの参加・交流ができるよう努めた。	会場:下馬区民集会所 日程:10月11日 参加者:15名 会場:野沢区民集会所 日程:2月8日 参加者:33名 会場:下馬南地区会館
地域見守り事業	サロン活動を通じて高齢者の閉じこもり予防と交流を図った。協力:デイホームのざわ	毎月開催(8月、1月除く)
地域福祉人材育成	①中丸小学校にて、車椅子体験とボッチャ体験を通じて実施し、福祉や障害当事者への理解を深め、考えるきっかけづくりを図った。 ②居場所交流会を実施し、地区内の活動者同士のネットワークの強化を図った。 ③推進員バス研修を実施した。介護・リハビリ部門、高齢者の移動支援部門、生活支援部門の各ロボットの見学・体験を通じて近未来の介護・福祉に触れるとともに、推進員相互の交流を図った。	①福祉学習 日程:6月28日 内容:車いす体験 日程:10月30日 内容:ボッチャ交流 ②居場所交流会 日程:12月19日 参加者:15名 会場:区民集会所 ③推進員研修(バス研修) 日程:2月13日 参加者:推進員20名 会場:湘南産業振興財団ロボテラス(藤沢市)
広報PR事業	広報紙を発行し、事業・会費募集の際に配布し、活動の理解に努めた。	○広報紙発行 ○地区社協リーフレット発行
地区活動団体助成	地区内の地域福祉活動団体へ助成を行い、福祉増進を図った。	民生・児童委員補助 ミニデイスタッフ支援金
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協への周知のため、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行った。	通年募集 会員数:616名 会費額:654,030円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	日程:11月、12月 募金額:935,417円

⑧上馬地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,388,959円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、役員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(3回)
地区課題解決事業	アンケート調査を実施し、見えてきた地区課題を整理し、住民のニーズに対応した地区課題の解決につながる2つの行事を実施した。 ①多世代交流型スマホ教室 内容:「シニアのためのスマホ教室」 協力:駒澤大学	①日程:11月4日 参加者:合計43名、 学生ボラ:延45名 ②日程:11月4、5日 参加者:約1500名、 学生ボラ:延12名

	②子どもから高齢者、障害のある方も楽しめる全世代・全対象型交流事業を企画・実施した。内容:「的当てゲーム」	
地域福祉推進員研修	①座学:地域福祉推進員の改選期に当たするため、社協のことを改めて学習する機会を設けた。 内容:「社協の成り立ちと地域福祉推進員の役割」 ②バス研修:多世代交流について学ぶため、施設見学を実施した。	①日程:6月14日 参加者:34名 ②日程:11月29日 参加者:26名 会場:ひたちなか市ふぁみりこらぼ
住民学習会	地域の困りごととして、独居高齢者や将来の不安が多いことから、終活セミナーを開催した。 内容:「安心!終活セミナー」 講師:あんしんネット 石見 良教氏	日程:1月31日 参加者:28名
ふれあい交流事業	多世代の地域住民が交流できる機会をつくり、事業を通して学生ボランティアや関係機関とも平時から顔の見える関係づくりのほか、若い世代への防災や防犯に関する普及啓発の場の提供を企画した。	日程:5月28日 内容:小動物ふれあい交流会 参加者:約2,000名 会場:小泉公園 【協力】国際動物専門学校、世田谷警察署、世田谷消防署 【共催】上馬地区民生委員、児童委員協議会
広報事業	広報紙を発行して地区社協のPRや事業報告を行うとともに、住民から協力を得た社協会費の使途を報告した。	上馬地区社協だより第14号 (3月発行)
見守り活動事業	地区内の高齢者や子どもを見守る活動の実施に加え、安心した在宅生活が送れるように命のバトンの普及活動を継続実施した。	・見守り活動:通年実施 ・命のバトン 登録者数:293名 212世帯
社協会費募集活動	組織基盤強化と地区社協への周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行った。	通年実施 会員数:485名 会費額:1,765,954円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	日程:11月、12月 件数:602件 募金額:1,165,100円

(2) 北沢地域

①梅丘地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,867,411円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	運営委員会等の開催を通じて、地区社協の円滑な運営を行った。	総会(1回) 役員会(6回) 運営委員会(6回)
広報・PR事業	地区社協のPRを目的にグッズの作成及び配布を行った。梅丘地区社協だより「みちしる	ウエットティッシュ配布 携帯トイレ配布 (1,200個作成)

	べ」を作成、活動の様子を紹介し、地区社協事業の周知に努めた。	第 28 号:6 月 1 日発行 第 29 号:3 月 25 日発行
エリア別交流事業・高齢者交流会	4つのエリア（梅丘・豪徳寺・代田・代田東）で、演芸・音楽を通じた交流会を開催した。	①梅丘エリア 日程:2月13日 ②豪徳寺エリア 日程:11月17日 ③代田東エリア 日程:11月15日 ④代田エリア 日程:3月14日 参加者合計:228名
世代・地域交流支援	①梅丘地区見守りネットの会と協力して見守りあんしんシート及び気づきのポイント（チラシ）を作成・配布した。 ②生活支援及びフードロス削減の取り組みとして、フードドライブ事業を継続して行った。	①見守りあんしんシート作成と配布／気づきのポイントシート作成と配布（通年実施） ②フードドライブ年3回 9月、11月、1月
地区活動団体との協働事業	地区内小学校で行われたお祭り、及びさくら花見堂まつりへの助成と出展によるPR活動を行った。	・山崎子どもまつりへの助成 ・城山子どもまつりへの助成 &うちわづくりの出店 ・さくら花見堂まつりへの助成
福祉学習支援	世田谷区視力障害者協会の協力を得て、「白杖体験」及び「当事者からの講話」を内容とした学習支援を行った。また、地域内の小学校等に白杖・点字器の貸し出しを行った。	日程:2月21日 会場:山崎小学校 参加者:3年生（64名）
地域福祉推進員研修会	地区社協の活動の充実を図るため研修会を年2回実施した。 ①推進員及び地区住民を対象とした講座「知って損をしない葬儀のあれこれ」 ②障がい者への知識・理解を深めるため施設「神奈川県西福祉会」を訪問した。	①日程:12月21日 参加者:33名 ②日程2月8日 参加者:31名
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体の協力を得ながら会費募集活動を実施した。	通年実施 会員数:1,938名 会費額:1,377,210円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	世田谷区社会福祉協議会が実施する同活動に協力し、募金活動を実施した。また、関係団体の協力のもと、戸別訪問による募金活動を再開した。	日程:11月、12月 件数:2,558件 募金額:1,815,446円

②代沢地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,399,608円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	運営委員会の開催等を通じて、地区社協の円滑な運営を行った。	総会（1回） 役員会（7回） 運営委員会（7回）

広報事業	地区社協事業の PR のために、広報紙を作成した。また、PR 物品を町会事業・夏期ラジオ体操等で配布した。 町会回覧で周知するとともに、小中学校にもメールを通じて配布、PR を行った。	年 2 回発行 第 35 号 9 月 25 日 800 部 第 36 号 3 月 25 日 800 部
地区交流事業	①高齢者交流事業 身近な場所で高齢者が楽しめるような企画として開催した。 「地域でつどいましょう」(マリンバ演奏) 「サロンだいざわ」(手芸・体操・ポッチャ) ②多世代交流事業 多世代で交流できる機会として、誰でも参加できる事業を企画し開催した。 「ポッチャを楽しもう」 ポッチャを通じて多世代交流を深めた。 「新春たこあげ会」 たこあげにより親子や多世代の絆づくりに取り組んだ。	①日程:6 月 23 日 参加者:54 名 会場:代沢まちづくりセンター活動フロアー 日程:7 月 5 日 参加者:51 名 会場:代沢東地区会館 「サロンだいざわ」 日程:10 月 20 日 参加者:44 名 会場:代沢まちづくりセンター活動フロアー ②日程:11 月 25 日 参加者:78 名 会場:代沢小学校体育館 新春たこあげ会 日程:1 月 6 日 参加者:291 名 会場:富士中学校校庭
地域活動支援事業	地域で必要な活動支援について、見守りや福祉学習のサポートに取り組んだ。 ①見守りあんしんカード・見守りカードの配付 ②福祉学習のサポート	①通年実施 ②日程:2 月 27 日 会場:代沢小学校体育館 対象:5 年生 93 名
助成事業	7 町会で行う子ども向けの企画・地域カフェ・代沢芸術祭に対し助成を行った。	地域カフェ 3 か所 「居場所カフェ@しもきた」 「みどりのつどい」 「下代田東カフェ」
推進員研修会	地域福祉推進員以外にも参加を呼びかけ、地区内のネットワークを深めた。 「社会福祉協議会の活動～地域福祉活動の移り変わり～」 講師:北沢地域社協事務所 所長 清水明子	日程:2 月 29 日 参加者:36 名 会場:代沢まちづくりセンター活動フロアー
社協会費募集活動	強化月間は設けず、社協会費の募集を行った。	通年実施 会員数:1,796 名 会費額:1,156,144 円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力した。	日程:11 月、12 月 件数:611 件 募金額:862,752 円

③新代田地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,035,551円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	運営委員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(6回) (内 拡大版を4回開催)
広報活動 ・NEW☆DAITAの発行	令和5年度事業の実施報告及び、参加者の感想等を中心とした広報紙を発行した。	1回発行(第32号 3月発行) 町会回覧を始め、美まもりやまカフェ等で広く配布。
地域交流事業	<p>①文化芸術ふれあい会 地域住民が同じ空間で落語や音楽の楽しみを共有することで絆を深めた。 第1部 内容:手品も楽しめる落語 地区サポーター 第2部 内容:ルナ憲一音楽コンサート 奏者:ルナ憲一氏(ギター)</p> <p>②バス交流会 遠出が困難な高齢者や親子をお連れし、さつまいも掘りや買い物等を楽しみ、世代を超えた参加者同士の交流を図った。</p> <p>③音楽秋彩(あきいろ)交流会 地域住民が同じ空間で音楽の楽しみを共有することで絆を深めた。 内容:音楽演奏会 ハンドベル、和太鼓、女性コーラス、ヴァイオリン&ピアノ、フルート演奏</p>	<p>①日程:6月21日 参加者:88名 会場:新代田まちづくりセンター地下体育室</p> <p>②日程:10月22日 参加者:88名 大人/子ども86名、幼児2名 行先:荒幡農園&小江戸川越他</p> <p>③日程:12月3日 参加者:129名 会場:下北沢成徳高校ミモザホール</p>
子育て支援事業	羽根木プレーパーク内の「そらまめハウス」にて、手芸等を通じて育児の悩みを聞いたり、経験談を伝えたりすることを通して、地域と子育て世代の自然な交流を図った。	<p>①日程:7月3日 参加者:17名 内容:七夕飾り</p> <p>②日程:10月27日 参加者:14名 内容:ハロウィン飾り作り</p> <p>③クリスマス飾り作り 日程:12月8日 参加者:11名</p> <p>④バルーンアート 日程:3月14日 参加者:11名 会場:羽根木公園そらまめハウス</p>

地域福祉推進員研修会	地域住民からの相談受付時や会話時に伝えられるよう、基礎知識としての勉強会を行った。 内容:高齢者の在宅医療について 第1部 講師:あさがおクリニック牧院長 第2部 講師:社会福祉協議会成年後見センター	日程:1月29日 参加者:28名 会場:新代田まちづくりセンター
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体の協力を得ながら、会費募集を行った。	会員数:22名 会費額:528,800円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	世田谷区社会福祉協議会が実施する活動に協力し、募金活動を行った。	日程:11月、12月 募金額:631,983円
地域活動支援事業 (サロン・ミニデイ連絡会、美まもりやまカフェ、生活支援検討会他)	①サロン・ミニデイ連絡会及び文化祭 2回の連絡会、文化祭を通じて、地区社協推進員とサロン・ミニデイ関係者との交流を図った。 ②美まもりやまカフェ支援 まもりやまテラス交流ロビーで開催し、まもりやま工房のクッキー販売、ラジオ体操、TOY工房との手作りおもちゃコーナー設置等を通じて、多世代交流の場の提供を支援した。 ③生活支援検討会への参加	①サロン・ミニデイ連絡会 第1回:7月24日 9団体 第2回:12月18日 9団体 文化祭:2月26日 63名 ②美まもりやまカフェ 日程:毎月第1、3木曜日 会場:まもりやまテラス ③生活支援検討会:8月28日

④北沢地区社会福祉協議会 (令和5年度収入決算額 796,250円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	役員会・運営委員会の開催	総会(1回) 役員会・運営委員会(5回)
歩こう会	一緒に歩き交流し、地域のつながりを深めた。成城学園周辺(野川沿い/三ッ池緑地/猪俣庭園)等を見学した。	日程:10月28日 参加者:29名 会場:成城～国分寺崖線
高齢者交流茶話会	高齢者が歌・演奏・体操等を楽しみ、地域のつながりを深めるため、ゲスト(ファニースターズ)による演奏演舞を実施した。	日程:7月14日 参加者:52名 会場:北沢タウンホールスカイサロン
多世代交流会	多世代が一堂に会して、世代交流を深めるため、和紙工作・輪投げ・ビンゴ大会を実施した。	日程:12月3日 参加者:47名 会場:北沢タウンホールスカイサロン
高齢者バス交流会	遠出することが困難な方を主な対象として、地域の高齢者がバスを利用して外出し、交流を深めた。	日程:11月14日 参加者:98名 会場:山梨県富士忍野八海方面
地域福祉推進員研修会	研修を通じて地域福祉の理解を深めた。令和5年の地区事業実施報告と北沢地区事務局から地域福祉活動の情報提供を行った。	日程:2月27日 参加者:19名

広報	「北沢地区社協だより」を発行し、地区社協の活動の周知を図った。	3月31日発行 1,400部発行
地区活動団体事業賛助	①青少年北沢地区委員会主催事業 ②北中ひろば ③北沢ミニコミ紙	地区活動団体事業賛助
社協会費募集事業	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体等の協力を得ながら社協会費募集を実施した。	説明会:6月14日 会員数:882名 会費額:743,600円
歳末たすけあい・地域支えあい募金募集活動	世田谷区社会福祉協議会が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額:246,000円

⑤松原地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,706,236円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会、推進委員会を開催し、地区社協の円滑な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(5回) 推進委員会(1回)
広報・啓発活動	①広報紙の発行《年2回発行》 8月に社協事業計画、運営委員紹介、社協会費募集、フードドライブ募集、春の歩こう会報告、あんしんカード紹介等を掲載した8月号を発行した。3月は令和5年度特集号として、松原交流会、地域交流バスツアー、フードドライブ、秋の歩こう会の報告、松原地区唯一の子育てサロントコトコの紹介等を掲載した3月号を発行した。 ②困ったときに社協へ相談いただけるように、「松原あんしんカード」、ココロマグネットを配布し普及啓発に努めた。 ③メールマガジン、地区HP、事務局だよりを通し、社協のPR、周知に努めた。	①松原地区社協だより カラー、A4両面 8月号1,500部発行 3月号1,800部発行 ②松原あんしんカード 随時配布 ③地区事務局だより発行
だれでもベンチ	外出途中で高齢者、障害のある方等、誰もが気軽に休息できる「だれでもベンチ」の、既存ベンチの保存に努めた。	令和5年度末 設置状況 11台
地域福祉推進員研修	①世田谷・子ども食堂 まつばらキッチンについて ②災害弱者支援講座と合同開催	①日程:4月27日 参加者:27名 ②日程:11月30日 推進員:25名 会場:両日とも松原まちづくりセンター活動フロア
地域交流事業	①ふれあい小動物ひろば 子どもから高齢者まで小動物にふれあう機会を作り、多世代交流だけでなく、地区内の障害者施設と連携し交流する予定だったが、令和5年度は、雨天のため中止した。	①日程:5月13日 ⇒雨天中止 ②日程:11月24日 参加者:34名 会場:松原まちづくりセンタ

	<p>②災害弱者支援講座 「精神障害者への理解と対応について～松原地区内の「めぐはうす」の活動を知ろう～」を実施した。 地区内にある、めぐはうすへ講師を依頼し、ぽーときたざわを始め、行っている様々な活動を紹介していただき、知ってもらうことによって、理解を深めた。</p> <p>③地域交流バスツアー 単身高齢者や引きこもりがちな高齢者、障害者やその家族と、島忠ホームズ仙川店までフレンドバスで行き、買い物や交流を楽しむことを目的に開催した。令和5年度は2日実施した。</p> <p>④松原交流会 世田谷区立保健医療福祉総合プラザにて、松原にゆかりのある方々へ出演を依頼し、地域住民相互の交流や地区社協への理解を深めることができた。 出演/菅原天神お囃子保存会、阿部 一真氏（アコーディオン）、日本学園吹奏楽部</p> <p>⑤歩こう会 身近なまちづくり推進協議会・健康づくり部会と地区社協が主催で歩こう会を実施し、区民の健康増進に努めた。 （春）「映画発祥の町調布・多摩川遊歩道を歩く」 （秋）「荻窪・大正～昭和の別荘地を散策」</p> <p>⑥まつばらデイキャンプ（協力） 松原小学校にて開催のデイキャンプに昔あそびで協力した。コマ、けん玉を子どもたちと行い多世代交流を図った。</p> <p>⑦松原小学校 昔あそび（協力） 1年生の授業にて、あやとり、お手玉、けん玉、コマ、ダルマ落とし、めんこの昔あそびを通し、地域の方と多世代交流を行った。</p> <p>⑧多世代交流活動 おでかけひろば@あみーごの参加者と昔あそび、音楽演奏等を通して交流を図った。</p>	<p>一活動フロアー 日程:11月30日 参加者:28名 会場:松原まちづくりセンター活動フロアー</p> <p>③日程:10月23、30日 参加者:11名 同行スタッフ:17名</p> <p>④日程:1月27日 参加者:50名 会場:世田谷区立保健医療福祉総合プラザカフェスペース</p> <p>⑤日程:5月20日 参加者:19名 日程:11月18日 参加者:38名</p> <p>⑥日程:10月14日 参加者:244名</p> <p>⑦2月10日 参加者:1年生 4クラス (1クラス級閉鎖のため、3クラス)、保護者・従事者:12名</p> <p>⑧毎月1回金曜日</p>
<p>地区活動支援</p>	<p>地区内の各種活動に助成し、多様な福祉活動を支援した。</p> <p>①夏季ラジオ体操 ②子ども食堂 ③おとこ塾 ④子ども福祉講座</p>	<p>①7月下旬 各町会・自治会へ景品の一部助成として、おもしろ消しゴムを配布(松原地区紹介QRコード添付)計600個</p> <p>②世田谷こども食堂・まつば</p>

	⑤茶話やか松原（助成）	らキッチン ③3回（11月、12月、1月）実施 ④日程:8月3日 参加者:6名、保護者3名、地区サポ6名 ⑤令和5年5月より奇数月第4水曜日、世田谷区立保健医療福祉総合プラザにて開催
生活困窮者緊急サポート	①民生委員の協力のもと、行政サービスが利用できるまでの間、必要な食料品等を提供する。 ②長引くコロナ禍で生活に困っている方を支援するため、松原地区にてフードドライブを実施した。	①利用者:なし ②松原地区フードドライブ（食の支援）預かり 日程:12月4日 対象者:10名 お渡し 日程:12月5日 対象者:6名 会場:松原まちづくりセンター活動フロアー
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体等の協力を得ながら社協会費募集を実施した。（個別訪問、振り込み用紙ポスティング）	通年実施 強化月間、なし 会員数:338名 会費額:797,386円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	件数:338件 募金額:1,195,270円

⑥松沢地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,684,617円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	まちの福祉課題等を協議し、課題緩和・解決に向けて検討した。	総会（1回） 運営委員会（7回） 役員会（7回）
地域交流主催事業	◆おしゃべり★カフェ 気軽におしゃべりしたり、ちょっとした困りごとを相談したりする身近な場所を設けた。 11月からは約4年ぶりに喫茶 YOU・遊での活動も再開した。	<喫茶 YOU・遊> 毎月第2水曜日(11月より) <カフェ アンキミカ> 毎月第1火曜日
	◆地域福祉推進員等懇談会 地域福祉推進員や地域の関係者の方々と共に、地区社会福祉協議会のなりたちと取り組みについて、理解を深めた。 講師:松沢地区社協会長	日程:4月10日 内容:松沢地区社協の事業

	<p>◆地区社協ひろば</p> <p>松沢地区における地域福祉活動を PR する場として、演奏会や展示等様々な企画を実施した。</p> <p>また、地域の各福祉団体からも協力を得ることができ、地域の方々に各福祉団体を PR する機会となった。</p>	<p>日程:6月17日</p> <p>参加者:延168名 (内 スタッフ48名)</p> <p>※福祉団体7団体協力</p>
	<p>◆子育て支援講座</p> <p>地域の子育て世帯を対象に、わらべうたを通じた子どもとの触れ合いをテーマにした体験講座を実施し、子育て世帯同士の交流の場とした。</p>	<p>日程:6月17日 2回</p> <p>※地区社協ひろばと同日</p> <p>参加者:16組 (大人21名、子ども17名)</p> <p>内容:わらべうた de 遊ぼう</p>
	<p>◆松沢シニア講座 全4回</p> <p>地区内4か所の会場を利用し、より身近な場所で講座と交流をお楽しみいただけるよう企画した。</p> <p>講座内容は2種類で、2か所ずつ割り当てた。</p> <p>①シニアのための脳トレ教室 講師:小林雅一氏</p> <p>②ピアノを使った音楽療法 講師:石川 智恵氏</p>	<p>①日程:7月17日 参加者:15名 会場:赤堤小学校多目的室、 日程:10月19日 参加者:34名 会場:むつみ会館</p> <p>②日程:12月6日 参加者:21名 会場:松沢区民集会所体育室、 日程:2月13日 参加者:28名 会場:桜上水南地区会館</p>
	<p>生活応援広場 全2回</p> <p>生活にお困りの方に対して食料品や日用品の配付を行い、地域で安心して生活できるよう支援した。</p>	<p>①日程:7月22日 配付数:37世帯</p> <p>②日程:12月2日 配付数:21世帯</p>
	<p>高齢者バス交流会</p> <p>地区在住の高齢者を対象に、日帰りバスツアーを実施した。個人では遠出の難しい方に外出をお楽しみ頂き、交流の機会も設けた。</p>	<p>日程:9月20日 参加者:75名</p> <p>内容:鈴廣蒲鉾本店(ちくわ作り体験)小田原フラワーガーデン散策</p>
	<p>映画のつどい 全2回</p> <p>高齢者等、遠出の難しい方々を主な対象に、映画の上映を通じて身近な場所での楽しみ機会を設け、住民同士の交流も行った。</p> <p>会場は、日本大学文理学部の協力を頂き、オーバルホールで開催した。</p>	<p>①日程:10月14日 参加者:70名 上映作品:「雨に唄えば」</p> <p>②日程:3月9日 参加者:79名 上映作品:「男はつらいよ柴又慕情」</p>
中高生ボランティア活動賛助事業	◆特別養護老人ホーム訪問ボランティアの支援	日程:①4月18日、②5月17日、③6月20日、④9月19日、⑤10月19日、⑥11月21日、⑦2月20日、⑧3月13日

	<p>青少年地区委員会を通じて、中学生ボランティア活動に対して賛助を行い、地区内における青少年の健全育成に寄与した。</p> <p>◆普通救命救急講習会 中学生を対象に普通救命救急講習会を企画した。</p>	
		企画したが日程が合わず、実施を見合わせた。
地域福祉活動賛助事業	<p>◆介護者のつどい 全4回 松沢あんしんすこやかセンターが主催する、在宅で介護している方や過去に介護をしていた方等が交流する場づくりを支援した。</p>	<p>①日程:5月24日 ②日程:8月23日 ③日程:10月25日 ④日程:1月24日</p>
	<p>◆小エリア交流会賛助通年 地区内の福祉活動グループが企画する、通例の集いを拡充したイベント型の集いを支援し、エリアでの住民交流の活性化を促した。</p>	<p>①ふれあいいいききサロンまつざわ 日程:10月26日 参加者:10名 ②松沢さくら会 日程:1月9日 参加者:23名 ③まつざわ半纏木 日程:2月21日 参加者:15名 ④桜上水5丁目「さくら」 日程:3月7日 参加者:95名 ⑤桜上水4丁目町会さくらんぼサロン 日程:3月21日 参加者:21名</p>
	<p>◆松沢中学校外側道路花壇整美活動 松沢中学校角の花壇の整備と管理のため、土の補充や雑草の除去等を継続的に実施した。</p>	<p>日程:①4月18日、②5月17日、③6月20日、④9月19日、⑤10月19日、⑥11月21日、⑦2月20日、⑧3月13日</p>
	<p>◆松沢地区交流会 地区内の町会・自治会や関係団体の交流会に参加し、各団体との連携を強化した。</p>	<p>日程:1月13日 会場:日本大学文理学部 カフェテリア コスモス</p>
	<p>◆ふれあいサンデー 赤堤生涯学習センターが主催する、赤堤小学校全体を会場とした、学校及び近隣と活動団体の触れ合いの場に参加した。</p>	<p>日程:6月4日 会場:赤堤小学校 内容:塗り絵・間違い探し、地区社協広報紙等の配布</p>

	<p>◆福祉学習 地区内の小中学校を対象に、福祉に対する理解・関心を高めることを目的とした講演会や体験学習を実施した。</p>	<p>①経堂小学校 日程:6月19日 参加者:4年生対象 内容:車いす体験</p> <p>②赤堤小学校 日程:9月19日,28日 参加者:4年生対象 内容:車いす・白杖体験と講話</p> <p>③松沢中学校 日程:12月8日 対象:1年生対象 内容:白杖体験と当事者講話</p>
広報活動	<p>◆「まっざわ」発行 年3回 地区社協の事業紹介や地区内の福祉情報などを掲載した広報紙を作成し、町会自治会の協力のもと、回覧掲示板にて啓発を図った。</p> <p>◆見守りあんしんカード 緊急時に必要な情報を正確に伝えるツールの一つとして作成し、希望者に配付した。</p> <p>◆地区社協リーフレット 地区社協の取り組みや地域で行われている活動を掲載したリーフレットを発行し、地区内の福祉活動をPRした。</p>	<p>①第42号 5月発行 ②第43号 10月発行 ③第44号 3月発行 いずれも1,500部発行</p> <p>通年配付</p> <p>2,000部発行 随時配布</p>
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のため、関係団体等の協力を得ながら社協会費募集を行った。	<p>通年実施 会員数:505名 会費額:1,305,200円</p>
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	<p>日程:11月～12月 件数:1,097件 募金額:1,600,940円</p>

(3) 玉川地域

①奥沢地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,955,861円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営小委員会、運営委員会、各事業担当者会議を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(4回)
広報事業	地区内の福祉情報や地区社協事業のPRのために「おくさわココロン」第48～50号をカラー印刷で作成、配布した。	年3回発行(カラー印刷) リーフレット各2,000部 広報編集会議(9回)
福祉啓発・健康増進事業	<p>①奥沢地区祭礼へのかき氷・PRテント出展</p> <p>②インボディ測定会 内容:2部制で測定する</p> <p>③新春奥沢地区まつり 出展 ・地区社協PR・パネル展示</p>	<p>①日程:9月9日 かき氷売り上げ杯数:417杯</p> <p>②日程:6月4日 参加者:128名 会場:世田谷おくさわ整形外科病院</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・食で応援プロジェクトコーナーを設け、寄付食品の募集・啓発活動 ④ココロン椅子の設置（通年） ⑤成年後見制度関係のセミナー・相談会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ※会議 2 回 ③雨天中止 ④45 脚設置(21 か所) ⑤日程:6 月 30 日、3 月 4 日 参加者:1 名、3 名
福祉学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ①福祉学習の実施(ブラインドウォーク体験・点字器体験・車椅子体験) 右記 2 校の 4 年生を対象に車いす、白杖使用者への介助や配慮することについて説明と点字学習を行った。 ②小学生福祉体験見学会 	<ul style="list-style-type: none"> ①奥沢小学校 日程:10 月 14 日 参加者:64 名、東玉川小学校 日程:10 月 26 日 参加者:65 名 ②【中止】
福祉活動団体賛助事業	福祉活動団体賛助 既存の福祉団体や地域活動団体等への賛助による支援を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校 PTA (3 校) ・ふれあいすこやか会 ・青少年奥沢地区委員会 ・奥沢新春地区まつり
研修事業	地域福祉推進員研修会を開催した。 ①座学研修 内容「ヤングケアラーについて」 講師:奥沢あんしんすこやかセンター 管理者 篠崎 広一氏 ②バス研修先:社会福祉法人 地の星	<ul style="list-style-type: none"> ①日程:8 月 30 日 参加者:26 名 会場:奥沢まちづくりセンター活動フロア ②日程:2 月 9 日 参加者:19 名
子育て支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもの居場所「なかよし子どもスペース」を開催した。 (4 月より計 12 回開催) ②小委員会を適宜開催し、事業内容の検討・振り返りを行った。 ③夏季・春季休業期間には、奥沢中学校へボランティア募集を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ①日程:毎月第 4 木曜(祝日は別日) 参加者:延 149 名参加 ②小委員会:13 回 ③日程:7 月 27 日、8 月 24 日、3 月 28 日
地区課題支援事業	食で応援プロジェクト ①奥沢交和会・東玉川町会・奥沢地区ごみ減量リサイクル推進委員会と共催で、地区の方より食品の寄付を募った。 ②寄付いただいた食品は奥沢地区内の必要な方へ配付した。 ③食で応援プロジェクト(食品配布)PR 強化と SDGs に向けた食品ロスの削減を目指し、まちづくりセンター駐輪場前スペースで‘ご自由にどうぞ’コーナーを設け配布した。	<ul style="list-style-type: none"> ①食品募集 日程:7 月 9、10 日 食品寄付件数:54 件 日程:12 月 10、11 日 募集件数:63 件 ②食品配付:通年実施 配付回数:延 41 回 ③日程:6 月 23 日 配布者数:約 30 名 日程:11 月 25 日 配布者数:74 名
社協会費募集	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のため、関係団体等の協力を得ながら社協会費募集を行った。	通年実施 会員数:278 名 会費額:1,081,100 円

歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	日程:12月 募金額:492,000円
------------------------	---------------------------	------------------------

②九品仏地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,262,599円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	各種会議体等での議論を通じて、地区社協の適正な運営に努めた。	総会(1回) 全体会(5回)
広報事業	「地区社協だより」の発行	年12回発行 各回約1,100部発行 町会回覧及び事業所へ配付 広報担当者会議を適宜実施
ふれあい事業	①お楽しみ交流会 ②高齢者日帰りバス交流会 ③ふれあい交流会 ④食で応援プロジェクト	①、②中止 ③親子パンづくり体験 子ども茶道教室 九品仏男 day 塾 ④年6回実施
学びあい事業	地域福祉推進員研修 内容:「社会福祉協議会について」 福祉学習 ①八幡小学校 内容:高齢者疑似体験、白杖体験 ②九品仏小学校 内容:高齢者疑似体験、白杖体験 ③玉川聖学院 高等部 内容:白杖体験、高齢者疑似体験 ④玉川聖学院 中等部 内容:高齢者疑似体験等	研修日程:7月19日 ①日程:2月1日 ②日程:10月31日 ③日程:10月26、27日 ④日程:12月1、4日
支えあい・助けあい事業	①赤ちゃん・子どもの救命講習 ②親子盆踊り大会の支援 ③小動物ふれあい交流会 ④青少年地区委員会との連携・支援事業 ⑤地域との連携事業 ⑥福祉施設関係(障害者施設)への支援事業	①実施なし ②日程:7月22日 会場:八幡小学校 校庭 ③実施なし ④八幡中 立青式、C組支援 ⑤地区の防災活動支援 ⑥実施なし
福祉マップ事業	安全安心【防災】マップ(表)・お出かけ支援マップ(裏)の作成(改訂は隔年)、検討、配布を行った。	青少年地区委員会で活用
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	通年実施 会員数:388名 会費額:956,900円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	日程:12月 件数:1,346件 募金額:1,104,650円

③等々力地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,999,000円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会等を開催し、地区社協の円滑な運営を行った。	総会(1回) 広報・企画委員会(2回) 運営委員会(3回)
高齢者交流事業	お茶会を開催し、身近な場所で高齢者相互の交流を図った。	日程:11月6日 参加者:24名 会場:等々力不動尊 客殿
広報事業	広報紙(地区社協だより)の発行や、PRグッズ等を配布し、地区社協活動のPRに努めた。	地区社協だより年3回発行 (48号・49号・50号) PRグッズ配付
青少年事業	①青少年地区委員会事業に協力し、児童・青少年の健全育成を支援した。 ②子育て課題の解決のため、子育てネットワークを強化し、地区課題を検討し解決に向け取り組んだ。	①映画会に協力 ②子育て関係団体ネットワーク会議の開催 日程:9月8日(書面開催)、 2月29日 参加者:12名 ★子育てファミリーのリフレッシュデイ 日程:12月8日 参加者:64名 ★おでかけ情報マップの発行 部数:3,000部
福祉啓発事業	地区内の小学校で、福祉学習を実施し、福祉への理解の醸成に努めた。 ①玉堤小学校 内容:白杖、車椅子体験 折り紙配付 ②等々力小学校 内容:車いす体験、物品貸出、折り紙配付 ③尾山台小学校 内容:白杖、車椅子体験、折り紙配付 ④等々力児童館こどもまつり 「あそべ村」運営手伝い 内容:点字体験、折り紙配付、地区社協PR	①日程:9月21日 ②日程:6月27日、1月22日 ～2月9日 ③日程:10月4日 ④日程:10月29日
研修事業	地区社協活動の充実を図るため、研修会を実施した。 ①座学研修:第21回地域福祉推進大会への参加 ②バス研修:つくばサイバーダイナ	①日程:11月19日 ②日程:2月8日 参加者:20名
まちづくり支援事業	地域イベントへの参加・協力をを行い、住民と交流を図り、社協のPRに努めた。 ①地域事業への賛助による支援 ②歩こう会 ③等々力溪谷たけのこ掘り ④等々力農振会 朝市(6月、12月)	①身近なまちづくり推進事業/ 等々力溪谷保存会 ②日程:4月1日 ③日程:4月9日 ④日程:6月24日、12月2日 ⑤日程:7月2日

	⑤等々力溪谷七夕かざり作り ⑥等々力溪谷みかん狩り	⑥日程:11月25日
福祉推進事業	地区内の福祉推進を図るため講座を開催した。 ①高齢者お楽しみ交流会 ②地区で開催されるイベント等に参加し、福祉推進を図るため、地区社協のPR物品を配布し周知活動を行った。 ③生活困窮世帯の支援を目的とした、食で応援プロジェクトを開催した。 ④地域のゆるやかな見守りの促進 ⑤認知症理解の促進を目的にアクション講座を開催した。 内容:見守りパンフレットを活用したネットワークづくり	①日程:8月21日 参加者:20名、 日程:12月20日 参加者:19名、 日程:1月19日 参加者:17名 ②日程:10月14日 会場:尾山台フェスティバル ③日程:9月12日 参加者:16名 会場:デイホーム等々力横 ④随時実施した。 ⑤日程:11月29日 参加者:9名
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	会員数:2,720名 会費額:1,740,070円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	件数:2,756件 募金額:1,735,051円

④上野毛地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,027,751円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	①総会、役員会を開催し、適切な地区社協運営に努めた。 ②地域福祉推進員研修会の開催 地域福祉推進大会への参加	①総会(1回) 運営委員会(4回) ②日程:11月19日 会場:駒澤大学駒沢キャンパス記念講堂
広報に関する事業	①「地区社協だより」の発行 ②上野毛おでかけマップ「わくわく」改訂版の周知 ③広報紙・チラシ等設置協力店の拡大 ④地区内イベントにて広報紙・PRグッズの配布 ・森の児童館こどもの日イベント ・上野毛サマーフェスティバル ・玉川中町公園ミニ縁日 ・玉川小学校ファミリーデー ・新春マラソン大会 ・玉川小フリーマーケット	①年2回発行(11月、3月) ②地域活動団体51グループ掲載 ③25か所 ④日程 5月5日、 8月5日、 8月23日、 10月14日、 1月14日、 3月16日
福祉推進に関する事業	①ふれあいサービス協力会員説明会の開催 ②あんしんカード(高齢者)の配布・更新 ③福祉学習支援活動 玉川小学校	①日程:3月12日 登録者:2名 ②168世帯213名利用中 ③玉川小学校

	<p>内容:福祉講話、白杖・アイマスク体験</p> <p>④福祉講座の開催</p> <p>★子育て世帯向け講座「頑張らない離乳食講座」</p> <p>★区民向け講座「相続・遺言～成年後見制度の観点から」</p> <p>⑤人材発掘・育成支援</p> <p>毎月第4金曜実施 小学生への学習支援</p> <p>★男のスマホ交流会の開催(全12回)</p> <p>★上野毛ダンディーズの支援</p>	<p>日程:9月22、27日</p> <p>参加者:4年生 107名</p> <p>④日程:10月13日</p> <p>参加者:12組、</p> <p>日程:1月18日</p> <p>参加者:7名</p> <p>⑤日程:8月15日、12月27日、3月28日</p>
ネットワーク支援に関する事業	<p>①青少年健全育成事業への助成</p> <p>②上野毛地区支えあい事業</p> <p>農作業を通じた居場所づくりの開催</p> <p>サツマイモの苗植え</p> <p>ジャガイモ掘り</p> <p>サツマイモ掘り</p> <p>ジャガイモ種芋植え【雨天のため中止】</p> <p>食と日用品で応援プロジェクト</p> <p>③子育て関係団体ネットワークの運営支援</p>	<p>①賛助金の交付</p> <p>②日程:5月18日</p> <p>参加者:1名、</p> <p>日程:6月19日</p> <p>参加者:3名、</p> <p>日程:10月24日</p> <p>参加者:9名、</p> <p>8月10日、12月6日</p> <p>③日程:9月13日</p>
社協会費募集活動	<p>組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。</p>	<p>通年実施</p> <p>会員数:82名</p> <p>会費額:666,000円</p>
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	<p>区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。</p>	<p>日程:12月</p> <p>件数:204件</p> <p>募金額:1,370,480円</p>

⑤用賀地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 2,075,290円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	<p>総会、運営委員会、事業打合せ等を開催し、適正な地区社協運営に努めた。</p>	<p>総会(1回)</p> <p>運営委員会(4回)</p>
広報・PR啓発活動事業	<p>①「地区社協だより」を発行し、地区社協活動のPRに努めた。</p> <p>②啓発物品の配布</p>	<p>①年3回発行</p> <p>6月、12月、2月各1,000部</p> <p>②PRグッズ配布</p>
地域福祉推進事業	<p>1.子ども関係事業</p> <p>①赤ちゃんこどもの講習会</p> <p>管理栄養士による離乳食講座、個別相談を開催した。</p> <p>②子育てファミリーのリフレッシュデイ</p> <p>親子の孤立予防、地域とのつながりづくりを目的に子どもを預けての親の心身のリラックスができる機会と個別の育児相談や地域とのつながりの機会を作った。</p> <p>③福祉学習</p> <p>地区内の小学校の児童に福祉学習を実施</p>	<p>①日程:10月17日</p> <p>参加者:11組22名</p> <p>②日程:10月20日</p> <p>参加者:19組42名</p> <p>スタッフ:16名</p> <p>ボランティア:10名</p> <p>日程:2月16日</p> <p>参加者:26組57名</p> <p>スタッフ:16名</p> <p>ボランティア:13名</p> <p>③日程:11月22日</p>

	<p>した。</p> <p>場所:用賀小学校</p> <p>内容:白杖体験</p> <p>視覚に障がいのある当事者からの講話</p> <p>④地域イベント(桜町なつまつり等)</p> <p>桜町なつまつり. ミニに出展し、児童及び保護者に福祉学習を実施した。</p>	<p>参加者:89名</p> <p>参加者:30組 65名</p> <p>④日程:8月26日</p> <p>参加者:141名</p> <p>内容:点字で名刺づくり</p>
	<p>2. 高齢者関係事業</p> <p>①砧公園ウォークラリーの開催</p> <p>閉じこもりがちな高齢者等の交流を図った。</p> <p>②終活講座</p> <p>長く地域で暮らしていけるよう必要な情報を発信するために生前整理について講座を行った。</p> <p>内容:今すぐ始める生前整理</p> <p>講師:あんしんネット 石見 良教氏</p>	<p>①日程:11月7日</p> <p>参加者:13名</p> <p>②日程:12月14日</p> <p>参加者:9名</p>
	<p>3. 障害者関係事業</p> <p>スペース 2020 を月1回開催し、心に悩みを抱えた方でも集まれる居場所づくりを行った。</p>	<p>第3木曜日開催</p> <p>参加者:8名</p> <p>会場:さわやかは一とあーす 世田谷</p>
	<p>4. 地域連携事業</p> <p>①食品・日用品応援プロジェクトの開催</p> <p>生活困窮者世帯等への支援</p> <p>②ホンデリング</p> <p>本の寄付を募り、犯罪被害者支援を行った。</p> <p>③栄養ワンダーの開催</p> <p>上用賀5丁目アパートでの高齢者の集いの場が不足している現状から アパート住民や近隣住民でのコミュニティの場づくりのきっかけを目指し、「栄養ワンダー」を開催し、栄養講座と健康支援型弁当での会食を行った。</p> <p>講師:機能強化型認定栄養ケアステーション eatcoco 代表 米山 久美子氏</p>	<p>①概ね第4日曜日に開催 (4月～1月まで開催)</p> <p>日程:4月30日、5月21日、6月25日、7月30日、9月10日、10月8日、11月5日、12月10日、1月14日</p> <p>②概ね第4日曜日に開催</p> <p>日程:4月30日、5月21日、6月25日、7月30日、9月10日、10月8日、11月5日、12月10日、1月14日、2月18日、3月17日</p> <p>③日程:8月4日</p> <p>参加者:11名</p> <p>協力:ふきのとう</p>
地域見守り事業	<p>①あんしんカードの配布</p> <p>利用者情報更新のため、民生委員協力のもと、利用者へ内容確認を行った。</p> <p>②子ども子育てネットワーク検討会</p> <p>用賀地区内の子育て支援団体と子育て世帯の情報交換とおでかけマップの発行を行った。</p> <p>親子の孤立予防のため、子どもを預けて親の心身のリラックスを図ったり、育児相談や地域とのつながりの機会づくりを目的とした子</p>	<p>①あんしんカード</p> <p>利用者:439名</p> <p>②日程:5月31日</p> <p>参加者:16名</p> <p>日程:8月30日</p> <p>参加者:13名</p> <p>日程:1月24日</p> <p>参加者:14名</p> <p>【おでかけマップ】</p> <p>2,000部作成配布</p>

	育てファミリーのリフレッシュデイ開催に向けて、検討を行った。	
人材育成事業	<p>1. 各種講座</p> <p>①地区サポーター懇談会 懇談会を開催し、ミニ講座と情報交換を行い、地区サポーター同士の交流の機会となった。</p> <p>②スマホ講座及び座談会 第1回: スマホ講座 内容: スマホの基本操作、生活に役立つアプリの紹介 第2回: スマホ座談会内容: スマホの困りごとの共有等の座談会と地域活動の紹介を行った。</p> <p>2. 研修 地域福祉推進員研修</p> <p>①地域福祉推進大会への参加 ②内容: 今すぐ始める生前整理 講師: あんしんネット 石見 良教 氏</p>	<p>①日程: 8月21日 参加者: 10名</p> <p>②第1回 日程: 9月15日 参加者: 9名</p> <p>第2回 日程: 10月30日 参加者: 5名</p> <p>①日程: 11月19日 会場: 駒澤大学駒沢キャンパス記念講堂</p> <p>②日程: 12月14日 参加者: 16名</p>
地区活動助成	地区内活動団体への助成	【なし】
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のため、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	<p>通年実施</p> <p>会員数: 179名</p> <p>会費額: 988,000円</p>
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額: 1,034,609円

⑥二子玉川地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,544,045円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、役員会、運営委員会等を開催し、地区社協の適正な運営に努めた。	<p>総会(1回)</p> <p>運営委員会(2回)</p>
地域見守り事業 「あんしんカード」	地区内在住の一人暮らし及び高齢者世帯の方等を対象に「あんしんカード」の配付を行った。	<p>あんしんカード 新規配付者10名 合計263名</p>
地域見守り事業 「食で応援プロジェクト」	新型コロナウイルス感染の影響や物価高騰に伴い生活に困窮している方等の支援を目的に、食で応援プロジェクトを実施した。	<p>日程: 4月29日 会場: 花みず木フェスティバル(兵庫島公園)</p> <p>日程: 11月14日 会場: 天理教玉瀬分教会</p> <p>日程: 1月27、28日 会場: 玉川高島屋</p>
地域見守り事業 「みまもり応援隊プロジェクト」	<p>「声かけあい・支えあい・見守りあえる」二子玉川地区をコンセプトに見守り体制づくりに取り組んでいる。</p> <p>内容: みまもり応援隊プロジェクト (ガイドブック、シール配付)</p>	登録数: 30件

<p>シニア関係事業 「シニアの居場所づくり」</p>	<p>スマイルひろば（公営住宅の居場所支援） （区営玉川3丁目アパート） 地域のつながりの脆弱化と、それに伴う高齢者の孤立が問題となる中、関係機関団体と定期的に情報の共有や連携の強化を図り、課題解決のため地域交流事業や支えあい活動等に取り組んだ。</p> <p>①花の寄せ植え講習会 ②多世代交流（七夕かざり） ③栄養ワンダー 講師：機能強化型栄養カステーション eatcoco 代表 米山 久美子氏他 ④サロン発表会 ⑤クリスマス交流会 ⑥ラジオ体操 ⑦移動スーパー ⑧スマイルひろば検討会</p>	<p>区営玉川3丁目アパート支援</p> <p>①日程：6月6日 参加者：12名、 日程：11月22日 参加者：7名 ②日程：6月20日 参加者：6名、 日程：7月3日 参加者：13名 ③日程：8月7日 参加者：25名 ④日程：10月31日 参加者：53名 ⑤日程：12月22日 参加者：60名 ⑥日程：毎週月、木曜日 ⑦日程：毎週月、木曜日 ⑧日程：2月7日 参加者：17名</p>
<p>子ども関係事業 「みんなでつくる福祉学習プログラム」</p>	<p>地区内の小学校・イベントで、白杖体験・点字体験、福祉講話を通して、福祉理解の醸成に努めた。</p> <p>①瀬田小学校 内容：車いす体験、視覚障害者体験 ②二子玉川小学校 内容：車いす体験、 車いすを利用している当事者の講話 ③花みず木フェスティバル 内容：点字体験 ④大山みちフェスティバル 内容：点字体験</p>	<p>【福祉学習支援】</p> <p>①日程：10月18、24日 参加者：4年生138名 ②日程：11月20、21日 参加者：4年生120名 ③日程：4月29日 参加者：20名 ④日程：10月28日 参加者：50名</p>
<p>子ども関係事業 「子育て関係事業検討会」</p>	<p>①子育て関係団体ネットワーク会議 地域の子育て支援団体や近隣の、児童館・小児科医と連携し、こども・子育てに関する地域課題の共有と解決に向けた事業の検討を行った。</p> <p>◎子育て支援関係団体：児童館・小児科医・病児保育室・おでかけひろば・子ども食堂・民生委員・主任児童委員・小学校PTA会長・NPO団体・子育てサロン・地域子育て支援コーディネーター・子ども家庭支援センター・健康づくり課</p> <p>②おでかけマップ作成配布</p>	<p>①日程：5月11日 参加者：20名 日程：10月12日 参加者：17名 日程：3月7日 参加者：18名 ②約1,000部配布</p>

	配布先：町会回覧、保育園、子育て関係団体、健康づくり課、子ども家庭支援課、企業、玉川病院、その他へ配布	
子ども関係事業 「子育て応援講座」	子育て応援講座（全6回） 講師：中澤 裕美子先生	①日程：5月11日 参加者：17名
	子育てサロン the Uba goes 代表 若林 貴代美氏 内容 ①夏場のスキンケアと虫刺され、日焼け対策 ②赤ちゃんの夜泣きとねんね ③子どもを守る、災害への備えと災害時対策 ④イヤイヤ期を楽しく乗り越えるコツ ⑤子どもの運動発達を促す楽しい遊び ⑥子どもの心に届く言葉かけ	②日程：7月27日 参加者：15名 ③日程：9月14日 参加者：7名 ④日程：11月9日 参加者：12名 ⑤日程：1月25日 参加者：13名 ⑥日程：3月14日 参加者：8名
子ども関係事業	「子育てファミリーのリフレッシュ Day」 関係団体等と連携を図り、コロナ禍等で孤独に出産、育児をしている親子の孤立予防等を目的に開催した。（全2回） 当日協力：玉川台児童館、おでかけひろばまーぶる、民生委員・児童委員、主任児童委員、児童館サポーター、地区サポーター、ファミサポ援助会員、ファミサポ等	①日程：7月13日 参加者：52名、 スタッフ：22名 ②日程：12月14日 参加者：77名 スタッフ：25名 会場：玉川台児童館
こども関係事業 「こどもちょこっと料理塾」	食に関心を持った子どもや、食事作りが必要な環境にいる子どもに、調理方法を伝える機会とともに居場所を提供した。 自身で料理を作る方法を学び、おいしいものができ、家族等に喜んでもらえる経験を得る機会となった。 ・対象、定員：(4才～18才)、4名 (未就学児は原則 保護者と参加) ・会場：二子玉川地区会館(料理講習室) ・講師：おでかけひろば たまがわ いち・にい・さん 林氏 ①こどもちょこっと料理塾 ②うどんを手作りしてみよう ③野菜いっぱいお味噌汁とおにぎりを手作りしてみよう（全3回） ④中華まんを手作りしてみよう ⑤味噌を作ってみたい人集合 ⑥ホットケーキミックスを使ってみよう	①日程：7月26日 参加者：3名 ②日程：8月23日 参加者：1名 ③日程：9月27日 参加者：4名、 日程：10月25日 参加者：0名、 日程：11月22日、 参加者：2名 ④日程：12月13日 参加者：1名 ⑤日程：1月24日 参加者：4名 ⑥日程：2月28日 参加者：1名、 日程：3月27日 参加者：0名
人材育成事業各種講座	シニアの社会参加プロジェクト ボランティア座談会	日程：2月21日

	あんしんすこやかセンター、玉川ボランティアビューローと共催で実施し、地域活動の紹介と意見交換を行った。	
	地域福祉推進員研修	①日程:5月15日
	①地域福祉推進員を対象に、社会福祉協議会の地域福祉活動に関する理解を促した。 ②地域福祉推進大会 区内大学と社協事業の関わり・食の支援・フードロス等のテーマで実施した。	参加者:24名 会場:二子玉川まちづくりセンター活動フロアー ②日程:11月19日 会場:駒沢大学
	各種講座 地域住民を対象に地区でいきいきとした生活をするを目的に区社協、地域社協事務所と連携を図り、講座を開催した。 ①区民向け講座 ②成年後見制度相談会	①日程:12月12日 参加者:9名 会場:二子玉川まちづくりセンター活動フロアー ②日程:5月29日、2月9日 会場:二子玉川まちづくりセンター活動フロアー
広報活動	地区社協の活動を広く周知するために広報紙等の発行や地区で開催される事業等に参加した。 ①広報紙の発行 ②イベントでの広報	・地区社協だより 年1回 ・地区社協ニュース 年31回 日程:4月29日 会場:花みず木フェスティバル 日程:5月20日 会場:瀬田フラワーランドの集い 日程:10月28日 会場:大山みちフェスティバル 日程:1月27、28日 会場:たまがわフードドライブ 日程:3月20日 会場:二子玉川ライズ
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	通年実施 会員数:138名 会費額:510,300円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	件数:1,185件 募金額:725,057円

⑦深沢地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 2,265,668円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会を適宜開催し、深沢地区社会福祉協議会の適切な運営を行った。 4部会が事業の運営を担い、企画・実施・検証を行うことにより、円滑な運営に努めた。	①総会(1回) ②運営委員会(3回) ③部会(18回)

<p>青少年健全育成事業</p>	<p>青少年健全育成を目的に交流事業を開催した。</p> <p>①クリスマス会の実施・後援 特技ボランティアによるディアボロ、マジックのパフォーマンス、サンタクロースからお菓子のプレゼント</p> <p>②赤ちゃん・こどもの救命講習会 講師:NPO 法人シーボウル海の教室 中村 智子氏</p> <p>③青少年地区委員会事業協力（子どもシアター、中学生の主張大会、バスハイク）</p> <p>④スポーツ大会（ボッチャ） 協力:NPO 法人スポ・レクネット</p>	<p>①日程:12月2日 参加者:134名 会場:東京工科大学</p> <p>②日程:7月9日 参加者:28名 会場:桜新町区民集会所</p> <p>③要請時</p> <p>④日程:1月13日 参加者:小学生3名、子ども1名 会場:深沢小学校</p>
<p>高齢者見守り事業</p>	<p>高齢者対象の交流事業の開催や、高齢者を訪問し広報紙を個別に配付、また安心カードのチラシ等を周知し見守りを実施した。</p> <p>①安心カードの配布と見守り 安心カードの配布、安心カードを渡している高齢者を訪問し“深沢地区社協だより”等を個別に配付することにより見守りを行った。</p> <p>②ふれあい落語会</p> <p>③深沢かいわい・お出かけマップ『わくわく』の配布※広報事業と合同</p> <p>④ふれあい音楽会</p>	<p>①安心カード随時、地区社協だより年3回発行</p> <p>②日程:10月4日 参加者:123名 会場:深沢区民センター</p> <p>③随時</p> <p>④日程:3月5日 参加者:69名 会場:桜新町区民集会所</p>
<p>研修事業</p>	<p>地域福祉推進員研修</p> <p>①バス研修会 内容:首都圏外郭放水路見学</p> <p>②座学研修 内容:地域福祉推進大会 内容:シニア世代の今すぐ始める生前整理 講師:石見 良教氏（あんしんネット整理コーディネーター）</p> <p>③地域住民向け講座 上級救命講習会</p> <p>④住民向けのスポーツレクリエーションを通じた交流事業（協力・共催事業:世田谷スポ・レクネット）</p>	<p>①日程:6月9日 参加者:27名</p> <p>②日程:11月19日 会場:駒沢大学、 日程:1月26日 参加者:40名 会場:深沢区民センター</p> <p>③日程:9月2日 参加者:25名 会場:玉川消防署</p> <p>④日程:7月15日、9月3日、11月19日、1月7日、2月23日、3月10日</p>
<p>広報事業</p>	<p>①“深沢地区社協だより”の発行（※カラー印刷）</p> <p>②深沢かいわい・お出かけマップ『わくわく』の配布※高齢者見守り事業と合同</p>	<p>①6月、10月、2月発行</p> <p>②随時</p>
<p>地域活動連携・支援事業</p>	<p>①東深沢スポーツ文化フェスティバル支援</p> <p>②深沢小学校ぎんなんまつり支援</p>	<p>①日程:11月5日</p> <p>②日程:11月26日</p> <p>③通年</p>

	<p>③児童安全見守り、あいさつ運動支援、広報</p> <p>④「こども見守りたい」との連携・支援</p> <p>⑤小・中学校で実施する福祉学習の支援 内容:車いす体験、高齢者疑似体験 講師:パナソニックエイジフリーショップ 世田谷</p> <p>⑥花壇美化活動支援 i) さくらまち花の小径 ii) 深沢まちづくりセンター花壇</p> <p>⑦世田谷スポ・レクネット事業協力</p> <p>⑧東深沢さくらまつり/桜新町さくらまつり、ヤ・エまつり</p> <p>⑨子育てファミリーのリフレッシュ DAY</p> <p>⑩栗の湯の居場所づくり</p>	<p>④通年</p> <p>⑤日程:10月24日 会場:深沢小学校</p> <p>⑥ i) 日程:5月10日、10月30日 ii) 日程:10月30日</p> <p>⑦実施</p> <p>⑧日程:4月1、9日</p> <p>⑨日程:3月13日 参加者:35組73名 会場:深沢児童館</p> <p>⑩随時</p>
諸事業	世田谷スポ・レクネット賛助	4月
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協のPRのために、町会等関係団体の協力を得ながら、社協会費募集事業を行った。	会員数:1,238名 会費額:2,296,290円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額:2,587,166円

(4) 砧地域

①祖師谷地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,638,128円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 役員会・運営委員会(6回)
高齢者バス交流会	外出機会の少ない高齢者に対し日帰りバス旅行を実施し、住民同士の交流を図った。 内容:栃木にっこり梨狩り・栃木花センター	日程:11月9日 参加者:69名
すこやか講座	医療や健康に関する情報提供と在宅で介護されている方向けに講演会を開催した。 内容:「祖師谷で元気に長生きできるコツ! part2」 講師:あんどろファミリークリニック 院長 安藤 秀彦氏	日程:3月9日 参加者:59名
七夕交流会(みんなの交流会)	JA 東京中央セレモニーセンターに協賛いただき、地区内高齢者を対象に、コンサートとビンゴゲームを実施した。	日程:7月9日 参加者:74名
ポッチャ交流会	年齢や障害等関係なく誰でもできるポッチャを通して、交流を図った。	日程:①8月1日、②1月31日 参加者:①35名、②40名
夏休みファミリーの集い	親子、家族に対し、映画上映会を実施した。 内容:「ドラえもん のび太の月面探査記」	日程:8月25日 参加者:49名
子ども用品交換会	不要になった子ども用品を持ち寄り必要な用品と交換した。	日程:10月27、28日 参加者:75名

推進員研修会	地域福祉推進員に必要な知識・技能の研修会を開催した。 内容:高齢者の居場所づくりを考える。	日程:2月2日 参加者:24名
推進員、サロン・ミニデイ交流会	祖師谷地区のサロン・ミニデイスタッフと地域福祉推進員の交流会を実施した。 内容:サロン、ミニデイの活動紹介とビンゴゲーム、有志による歌唱。	日程:10月14日 参加者:35名
視察研修	日頃の活動に役立つように、区内の活動を見学した。	日程:12月23日 視察先:砧地区 “おとこの台所 砧” 参加者:5名
いす・ベンチ設置事業	地区内に設置したいす・ベンチの維持管理・修繕を実施した。 祖師谷ふれあいセンターや商店街店舗に設置のベンチの修理、新品との交換を行った。	日程:8月21日、9月20日、12月20日
広報活動	広報紙にて地区社協の取り組みや会費募集等について発行・配布し、地区社協活動のPRに努めた。	広報紙発行:7月、12月、3月 年3,000部発行
ふるさとフェスティバル参加	ふるさとフェスティバルに参加し地区社協のPR予定だったが中止となり参加せず。	同フェスティバル中止により不参加
地域敬老事業	過去3年間の会費納入実績に基づき12団体(敬老事業)に賛助した。	9月 地区内12団体に賛助
社協会費募集活動	戸別訪問するかどうかも含め、各町会・自治会の判断及び方法で募集活動を行った。	通年実施 会員数:412名 会費額:976,215円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	戸別訪問するかどうかも含め、各町会・自治会の判断及び方法で募金活動を行った。	日程:11月、12月 募金額:717,634円

②成城地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,022,501円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	定期総会(1回/年)や運営会議(基本:1回/月)等の開催を通じて、地区社協の適正な運営に努めた。	総会(1回) 役員会・運営委員会(11回)
広報活動	地区内の福祉情報や地区社協事業のPRのため、広報紙「よりそい」を作成、配布した。	年2回発行 発行日:8月1日、3月1日
高齢者交流会	地区内の65歳以上の高齢者を対象とした日帰りバス交流会を実施した。 行先:白根町さくらんぼ狩り、シャトー勝沼ワイナリー見学	日程:6月8日 参加者:75名
推進員研修会	地域福祉推進員を対象とし、地区社協のこれからの活動や取り組みに役立つ学習会を開催した。 内容:福祉体験学習	日程:10月20日 参加者:21名 会場:成城まちづくりセンター 活動フロアー

地域敬老 「長寿の集い」	①長寿の集い 地区内の70歳以上を対象として、お祝い会を開催した。 内容:懐かしの歌謡曲演奏会 ②お祝い訪問 長寿の集いに参加できない80歳以上の一人暮らし及び高齢者世帯に対し、地域福祉推進員が訪問し、お祝い品を届けた。	①日程:9月14日 会場:成城ホール 参加者:106名 ②日程:9月14日～随時訪問 世帯数:19世帯
社協活動参加者交流会	成城地区内で活動しているサロン・ミニデスタッフ、地域福祉推進員、ふれあいサービス協力会員、子育て援助会員、区民後見人等社協事業に参加されている方の交流会を開催した。 内容:地域活動紹介	日程:2月26日 参加者:40名
懐かしの映画鑑賞会	懐かしの映画を上映した。	日程:毎月第4金曜 (8月、12月、2月お休み) 会場:成城まちづくりセンター 活動フロアー
地域支えあい事業 成城スポット「よりそい」	外出が難しくなった高齢者等を対象に、外出の機会増を目的として茶話会を行った。 内容:貝の根付づくり、お茶会、オリジナルクリスマスカードと爪楊枝袋作り、紙コップでつくるキャンディーバスケットづくり	日程:6月、9月、12月、3月の第2火曜日 参加者:延99名 会場:成城まちづくりセンター 活動フロアー
バザー事業	令和5年度のさくらフェスティバル・バザー出店、広報紙等の配布へ向けた準備を行った。	日程:4月1、2日
健康推進事業	健康推進と地域交流を目的とした事業を行った。 講師:梅ちゃん先生 内容:笑って元気!ラフターヨガ、日本大衆伝統芸能 南京玉すだれ	日程:1月15日 参加者:32名
訪問ボランティア事業	外出が難しくなった高齢者を対象に、登録したボランティアが訪問し囲碁等の趣味を楽しんだ。また、ボランティア登録の推進と調整を行った。	問い合わせ・・・5件 (利用4件・ボランティア1件) 調整中・・・1件
子育て支援事業	子育て中の保護者や関係者に向けたリフレッシュ事業や交流を目的とした事業もしくは、地域住民向けの子育て理解を深めるための事業を開催した。 内容:フェルトで子どものおもちゃ作り	日程:8月28日 参加:9組21名 会場:砧総合支所区民集会室C・D
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を実施した。	通年実施 会員数:2,870名 会費額:1,022,501円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	募金額:1,207,552円 協力世帯:2,445世帯

③船橋地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,394,903円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(6回)
地域敬老事業助成	船橋地区町会・自治会連合会に加盟する団体が実施する敬老事業へ賛助した。	9月 6団体に賛助
地域福祉推進員研修会	地域福祉推進員の知識の醸成に努め、地域へ情報還元する一助とした。 ①世田谷区社会福祉協議会の活動について 講師:砧地域社協事務所長 ②認知症カフェ見学会	①日程:6月19日 ②実施調整 ※会費説明会同日開催
船橋ふれあいまつり参加	ふれあいまつりに参加し、地区社協活動のPR及び啓発を実施した。	日程:11月3日 配布数:200名程度(延べ)
高齢者交流会	地区内の高齢者を対象とした交流会(歌謡曲コンサートとビンゴゲーム等)を開催した。また、顔見知りの関係づくりの重要性を伝え、見守り活動やサロン・ミニデイへの参加を促進した。	日程:11月17日 参加者:53名 会場:カルチャーパビリオン 平安世田谷
地区支えあい世代交流	①夏の交流会 参加者による布巾、雑巾作りを開催し、完成した雑巾等は下記の関係団体へ寄贈した。 ②地区支えあい世代交流 With 子どもぶんか村 子どもぶんか村との共催事業。フラワーアレンジメントを通じて、多世代が交流し、相互理解を深めた。 ③昔あそび 地区内の小学校にて開催された行事に、昔遊びのブースを出店し、社協広報促進や小学生親子との交流を図った。 「めばえまつり」、「あそびばフェス」	①日程:8月22日 参加者:33名 会場:船橋地区会館 寄贈先:5施設 ②日程:10月15日 参加者:24名 会場:船橋まちづくりセンター 活動フロア ③日程:11月26日 会場:千歳台小学校 日程:3月3日 会場:希望丘小学校
船橋地区交流会	都立永山高校和太鼓同好会『永鼓』による和太鼓の演奏・体験会を実施した。演奏を通して、近隣の幼児から高齢者までの多世代が交流した。	日程:1月21日 参加者:73名 会場:千歳台小学校体育館
広報啓発	①ノミの市に出店。地区社協だより等の配布により広報啓発活動及び地区活動費の取得を図った。 ②地区社協だよりの発行にて、会費の使途と地区社協の活動意義についての理解促進と協力者増加に努めた。	①日程:5月21日 (10月15日は雨天中止) ②広報紙発行年2回(第30号・6月、第31号・3月発行)
船橋住みよいまちへの探建	事業担当者による事業の目的や今後の展開について協議を行った。椅子の設置状況、社	5回担当者会議を実施 日程:7月21日、8月29日、10月18日、12月1日、2月21日

	協広報紙での活動 PR、千歳台地区の福祉課題調査を実施した。	
地域福祉団体助成	①船橋ふれあいまつり開催協賛金 ②青少年地区委員主催で活動している子ども支援「おやつステーション」へ賛助した。	①7月 ②8月
健康推進事業	地域福祉推進員を対象として開催した。 内容:認知症アクション講座 講師:船橋あんしんすこやかセンター 瀧上 虎平氏	日程:12月1日 参加者:24名 会場:船橋まちづくりセンター 活動フロア
社協会費募集活動	戸別訪問での募集活動は実施せず、各町会・自治会の判断・方法で募集活動を行った。	通年実施 会員数:1,539名 会費額:1,354,150円
歳末たすけあい・地域 支えあい募金活動	戸別訪問での募金活動は実施せず、各町会・自治会の状況に応じた協力を得て、募金活動に取り組んだ。	日程:11月、12月 募金額:1,178,497円

④喜多見地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,642,180円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(6回)
高齢者懇親会(お楽しみ会)	地区内の高齢者が、演芸等を楽しみながら、交流を図り、閉じこもりの予防に努めた。	日程:10月23日 参加者:32名 内容:大正琴演奏
高齢者交流会	外出機会の少ない地区内の高齢者に、外出の機会を設け、交流と閉じこもり予防に努めた。 行先:山梨県富士河口湖町ほか	日程:11月30日 参加者:50名
地区活動団体と協働して行う事業	地区内の活動団体が行っている事業に賛助した。 ①地域敬老事業 対象者:70歳以上※一部75歳以上 ②砦高協第4ブロック文化祭	①敬老のお祝い 9町会・自治会:2,698名 ②【中止】
喜多見地区区民まつり参加	地区のお祭りに参加し、地区社協の活動を住民への理解促進を目的に、PR活動を実施した。	日程:11月3日 会場:喜多見小学校 輪投げコーナー運営、地区社協リーフレット配布
サロン・ミニデイ、高齢者クラブ交流会	繋がる機会の少ないサロン・ミニデイ、高齢者クラブ同士の交流を深め、活動の拡充を図った。 内容:ボッチャ体験交流会	日程:3月13日 参加者:12団体18名
広報・啓発活動	①地域福祉推進員活動の向上を目的に研修会の実施 ②事業の実施報告や広報活動を通じ、地域福祉活動の推進に関わる啓発活動として実施した。	①【中止】 ②広報紙 年3回発行 (7月、9月、3月)

ふれあい交流会	地区内の3会場において、コンサートと茶話会を実施し、地区社協のPR活動と住民同士の交流を図った。 内容:室内管弦楽コンサート	日程:11月15日 参加者:25名 会場:喜多見地区会館
地区内福祉施設交流事業	地区内の福祉施設の事業等に協力し、施設と地区社協の相互連携を深める。	【中止】
見守り講座	見守りしやすいまちづくりと地区内の見守り力の向上を目指し、幅広い視点から学習機会を設定し、地域福祉推進を図った。 内容:事例で学ぼう成年後見制度	日程:2月29日 参加者:18名
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協活動の周知のために、関係団体の協力を得ながら社協会費募集を行った。	通年実施 会員数:3,285名 会費額:2,512,059円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	日程:11月、12月 募金額:1,422,535円

⑤きぬた地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,104,833円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(6回)
元気なうちに考えておきたい「老い支度」	住み慣れた地区でいきいきと生活を継続することを目的とした講座を開催した。 ①ラフターヨガ ②ポッチャで体を動かそう	①日程:8月21日 参加者:15名 会場:砧まちづくりセンター活動フロアー ②日程:1月29日 参加者:24名 会場:砧まちづくりセンター活動フロアー
子育て支援事業	赤ちゃんとその両親を対象に下記の事業を実施した。 ①親子体操でエクササイズ ②ベビーマッサージ ③子ども服リサイクルマーケット	①日程:7月4日 参加者:29名 会場:山野区民集会所 ②日程:12月11日 会場:砧地区会館 参加者:26名 ③日程:2月16日・17日 参加者:187名 会場:砧まちづくりセンター活動フロアー
地域敬老事業助成	各町会で実施する敬老事業の一部を助成した。	9月 7町会
地域福祉推進員交流会	第1部:懇親会を開催し地域福祉推進員相互の交流を図った。 第2部:病院に入院する子どもと家族のための施設を見学し、福祉に対する理解を深めた。	日程:10月3日 参加者:19名 会場:第1部 レストラン「クーポール大蔵店」

		第2部 ドナルド・マクドナルド・ハウスせたがや
ひとり暮らし高齢者交流会	地区内の普段外出の機会の少ない一人暮らしの高齢者を対象に、参加者同士の交流を深めることを目的に実施した。 行先:箱根・小田原方面	日程:11月8日 参加者:33名
高齢者地域交流会 「75歳からの交流会」	75歳以上の高齢者を対象に、3か所にわけた交流会を開催し、参加者同士の交流を深めた。 ①砧エリア 内容:おしゃべり、歌、フラダンス ②岡本エリア 内容:おしゃべり、歌 ③大蔵エリア 内容:おしゃべり、歌	①日程:3月3日 参加者:75名 会場:山野区民集会所 ②日程:3月9日 参加者:43名 会場:岡本地区区会館 ③日程:3月24日 参加者:57名 会場:妙法寺
「地区社協だより」発行	広報紙「きぬた地区社協だより」を発行し、広報・啓発活動を行った。	11月、3月発行
地区内事業参加協力	地区内イベントに参加し福祉を啓発した。 ①第38回砧地区緑化まつり ②第23回砧ラリー	①日程:5月14日 会場:大蔵運動公園 ②日程:11月19日 会場:大蔵運動公園
社協会費募集活動	組織基盤の強化と地区社協の周知のために、地域福祉推進員の協力を得ながら、社協会費募集活動を行った。	通年実施 会員数:403名 会費額:822,800円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	区社協が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	件数:619件 募金額:629,700円

(5) 烏山地域

①上北沢地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,125,457円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(5回)
地区懇談会	地区内で活動する団体の活動報告の他、テーマごとに分かれての意見交換を実施した。	日程:2月21日 参加者:34名 会場:上北沢まちづくりセンター活動フロア
上北沢オータムフェスタ	一人暮らしの高齢者を含む、上北沢・八幡山にお住まいの方々を対象に東京高円寺阿波おどり「江戸っ子連」による阿波踊りを通じた交流会を開催した。 共催:上北沢地区民生・児童委員協議会 (お楽しみ会・ふれあいのつどい合同開催)	日程:10月21日 参加者:203名 会場:都立松沢病院

地域福祉推進員研修会	地域福祉推進員及び上北沢縁側プロジェクト検討会メンバーを対象に「精神障害のある方への接し方」と題し、松沢病院の医師による研修会を実施した。	日程:11月10日 参加者:9名 会場:上北沢まちづくりセンター活動フロア
上北沢縁側プロジェクト「えんがわカフェ」	①企画会議 今年度の活動を検討するため、企画会議を開催した。 ②実行委員会 「えんがわカフェ@松沢病院」 内容:従事者と当日の内容検討 「えんがわカフェ@上北沢ふれあいの家」 内容:従事者と当日の内容検討 ③えんがわカフェの開催 「えんがわカフェ@松沢病院」 内容:茶話会とポッチャ交流会 「えんがわカフェ@上北沢ふれあいの家」 内容:茶話会を通じた交流会 ④研修会の開催 上北沢縁側プロジェクト検討会メンバー及び地域福祉推進員を対象に開催した。 内容:精神障害のある方への接し方 講師:松沢病院の医師 ⑤えんがわ通信の発行 「えんがわ通信」を発行し、ホームページ等で広く事業を周知するとともに、これまでのえんがわカフェ参加者へ送付した。	①日程:7月27日 参加者:9名 会場:上北沢まちづくりセンター活動フロア ②日程:10月5日 参加者:9名 会場:上北沢まちづくりセンター活動フロア 日程:1月31日 参加者:16名 会場:上北沢まちづくりセンター活動フロア ③日程:11月10日 参加者:26名 会場:松沢病院 体育館 喫茶室パイン 日程:3月14日 参加者:33名 会場:上北沢ふれあいの家 ④日程:11月1日 参加者:9名 会場:上北沢まちづくりセンター活動フロア ⑤発行時期:1月 発行部数:1,800部
お茶べり会	地区内の高齢者を対象に出張相談会兼交流会を実施した。 ①内容:詐欺被害防止について ②内容:昭和の本等を使った脳トレ 共催:大宅壮一文庫	①日程:7月9日 参加者:17名 会場:上北沢1丁目第2アパート集会所 ②日程:3月4日 参加者:14名 会場:八幡山区民集会所
ココロンといっしょ (未就学児との交流事業)	敬老の日のイベントとして伝承遊びを通じた多世代交流会を実施した。	日程:9月21日 参加者:42名 会場:上北沢区民センター
広報・啓発活動	区民に地区社協の周知を図るため、「地区社協だより」を発行した。	《地区社協だより》 発行日:令和6年3月
見守り推進事業	支援カードの配布を行った。	令和5年度:26世帯 上北沢地区合計:71世帯
社協会費募集活動	約4年ぶりに戸別訪問を再開し、組織基盤の強化と地区社協の周知のため、関係団体	通年実施 説明会:7月7日

	の協力を得ながら社協会費募集を実施した。	会員数:342名 会費額:471,700円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	世田谷区社会福祉協議会が実施する同活動に協力し、募金活動を行った。	説明会:11月22日 日程:11月、12月 募金額:675,876円

②上祖師谷地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,418,122円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会・運営委員会等を開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(4回)
地域福祉推進員研修会交流会	地区社協活動を円滑に行うための交流会・地域福祉に関する研修会。今年度はあんすこの在宅療養に関する研修会「どうする?受診しづらくなった時」に参加し、専門家からの講義を受け地域活動に生かせる知識を学んだ。 内容:在宅療養、訪問診療について	日程:12月10日 参加者:18名 会場:粕谷区民センター
「ココロの会」事業	高齢者の外出の機会と住民同士の絆作りを目的とし、音楽イベントを実施した。管内の学校と共催することで、地域と学生の交流の機会ともなった。 ①ココロのつどい 至誠会看護専門学校と共催実施 ②秋晴れコンサート 都立芦花高等学校・吹奏学部による演奏会	①日程:10月11日 参加者:67名 会場:至誠会看護専門学校講堂 ②日程:10月29日 参加者:142名 会場:都立芦花高等学校けやきホール
「おひさまひろば」への協力	祖師谷保育園で開催する乳幼児親子が気軽に立ち寄り、一緒に遊び情報交換をする「おひさまひろば」にて、地域福祉推進員が中心となり遊び相手や見守りを行った。地域の乳幼児親子と多世代の交流の場として、読みかせ等を行った。	日程:毎月第1・3月曜日 「ほのぼのタイム」 ※通年で実施 回数:延15回 活動人数:8名
「はびねすの会」	祖師谷保育園の園児と地域の高齢者の方々との交流の場づくりを検討したが、感染症対策のため実施を見送った。	【中止】
エリア別懇親会・交流促進事業	社協会員に社協事業への理解を深めていただくため、地域福祉推進員の協力のもとエリア別懇親会・交流会を開催した。 町会・自治会が行う地域福祉に関するイベントへ助成した。 ①上祖師谷自治会「元気はつらつ」 ②祖師谷橋自治会「住民懇談会」 ③成城通りパークウエスト自治会 ④粕谷会「ドローンプログラミング」教室 ⑤粕谷2丁目アパート自治会「ゲームの会」	①日程:第2木曜日午後 会場:上祖師谷神明社 「介護予防体操」 ②③日程:第2・4金曜日 会場:パークウエスト集会室 ④日程:2月12日 会場:芦花小学校体育館 ⑤日程:第2・4日曜日 会場:粕谷2丁目アパート集会室

上祖師谷地区社協懇談会	地域支えあい活動グループ・NPO法人・福祉団体等諸団体との懇談会を開催し、意見交換を行った。実際に食の活動をしている方から意見を聞き、次年度以降に地区社協でも食を通じた子どもの支援ができないかを具体的に話し合った。 内容:食の支援・フードパントリーについて	日程:2月8日 参加者:30名 会場:粕谷区民センター
地区での見守り事業	関係団体等と協力し、いのちのバトンの広報を行うとともに、地区のゆるやかな見守り意識を進めた。	利用世帯:492世帯 利用者数:558名
町会・自治会長と民生委員児童委員協議会との懇談会	地域福祉の向上・情報交換を目的に、町会・自治会長と民生児童委員との懇談の場を提供した。	日程:2月26日 参加者:町会長4名、民生児童委員協議会19名 会場:上祖師谷まちづくりセンター活動フロア
広報・啓発事業	地区社協の活動の理解促進のため、地区社協だよりを発行した。 地区の各種イベントへ参加協力を行い、地区社協等のPRを図った。 ①上祖師谷自治会夏休みこども会 ②粕谷区民センター夕涼み会 ③祖師谷橋自治会交流会 ④フィールドフェスティバル ⑤粕谷区民センターまつり・子どもまつり	地区社協だより 令和6年3月発行 参加事業 ①日程:7月26日 ②日程:7月26日 ③日程:11月3日 ④日程:11月12日 ⑤日程:2月18日
ボランティア育成事業	①至誠会看護専門学校の学生の活躍の場を提供した。 ・ココロンの会への活動へ参加 ・上祖師谷自治会・元気はつらつへの参加 ②おひさまひろばへ地域福祉推進員だけではなく日赤の役員にも声をかけ、遊び相手や見守りを行った。	①参加者:26名 参加者:5名 ②従事協力:3名
社協会費募集活動	町会自治会ははじめ管内の支えあい活動団体の協力のもと、会費募集活動を行った。	会員数:38名 会費額:660,000円
歳末たすけあい・地域支えあい募金活動	歳末たすけあい運動に協力し、募金活動を行った。	件数:36件 募金額:767,800円

③烏山地区社会福祉協議会(令和5年度収入決算額 1,106,371円)

事業名	内容	成果
地区社協運営	総会、運営委員会を適宜開催し、地区社協の適切な運営に努めた。	総会(1回) 運営委員会(5回)
第11回地区社協講座	地域福祉推進員、サロンやミニデイに周知し、参加者を募った。 内容:目指せ はつらつ健康100歳! 講師:都立松沢病院 精神科・リハビリテーション科医長 新里 和弘氏	日程:7月14日 参加者:44名 会場:烏山区民会館ホール

第 12 回社協のつどい	内容:「地域で支える子育て」 第 1 部:子ども食堂「ぬくぬくの家」講話 第 2 部:グループワーク	日程:9 月 29 日 参加者:38 名 会場:烏山区民センター集会室
ココロンの演奏会	内容:①ハンドベラーズによる演奏、成城消防署烏山出張所からの講話、安心カード PR ②東京消防庁音楽隊による演奏	開催日:10 月 10 日 参加者:259 名 会場:烏山区民会館ホール
ココロンの研修会	内容:里親子と地域の関わりについて 講師:フォスターサポートセンターとものがき 副センター長 岩田 祐一郎氏	日程:12 月 5 日 参加者:32 名 会場:烏山区民センター3 階集会室
買物支援事業	①買物支援調査 買物をはじめ、外出しやすい地域づくりに向け、「ふれあい訪問」時に、買物調査を行った。 ②買物支援マップ 昨年度に引き続き配布を行った。 区報 11 月 25 日号掲載のほか、エフエム世田谷の取材対応を行った。 令和 6 年度改訂版発行に向けて、調査を実施した。	①調査時期:6 月～7 月 対象:ふれあい訪問対象者 ②買物支援マップ改訂版調査 店舗訪問調査 調査時期:令和 6 年 2 月～3 月 対象:烏山地区内、配達を行っている店舗
ベンチ設置に向けた事業検討	班長会で検討した。 ココロンの会杉田委員宅へベンチを購入した。 新しい設置場所の検討・調整を行った。	設置数:2 台
日赤・社協研修会	先進的な障害者支援(就労支援、生活支援)をしている社会福祉法人富岳会で研修を行った。また、日赤奉仕団員と地域福祉推進員の連携、地区社協の強化を図った。 研修先:社会福祉法人富岳会 富岳の園	日程:12 月 7 日 参加者:25 名
広報啓発	地区内のイベントに参加し地区社協の PR 及び社協会費の増強に努めた。 ①給田西住宅子どもまつり 内容:コイン落とし、輪投げ 協力:東西民児協 ②烏山区民センター文化祭 内容:コイン落とし、豆つかみ 協力:日赤奉仕団烏山分団 ③からすやま新年子どもまつり 協力:東西民児協 烏山地区社協だよりを発行し、地区社協 PR を図った。	①日程:6 月 11 日 参加者:156 名 ②日程:10 月 14 日 参加者:137 名 ③日程:2 月 11 日 参加者:約 600 名 発行部数:各 1,500 部
安心カード事業	見守り事業「安心カード」の普及啓発に努めた。 また、利用者にとってより安心して使用で	利用総数:1,393 世帯 (令和 6 年 3 月 31 日現在) 令和 5 年度

	きるよう烏山地域で様式を共通化し、区のお知らせに掲載、PRを行った。	新規登録:48世帯
ボランティア育成事業	管内の幅広い年代のボランティアに協力を依頼し、ボランティア活動を通じて地域活動の理解促進を図った。	随時 地区サポーター:89名 (令和6年3月31日現在)
安心して外出できるまちづくり事業	認知症の人が安心して外出できるまちづくりを目指し、認知症等への普及啓発を行った。	地区社協だよりの発行
子育て交流事業	高橋・後藤農園周辺の保育園3園に募集を行い、子育て世帯と地域住民の交流事業として、「さつまいも掘り」を実施した。	日程:11月4日 参加者:71名 会場:高橋・後藤農園 (北烏山1丁目46番)
社協会費募集	今年度より戸別訪問を再開し、組織基盤の強化と地区社協周知のため、関係団体の協力を得ながら会費募集を行った。	説明会:6月15日 会場:烏山区民センター集会室 会員数:299名 会費額:798,300円
歳末たすけあい・地域支えあい募金	世田谷区社会福祉協議会が実施する同活動に協力し、日赤奉仕団員を中心に11月、12月と募金活動を行った。	説明会:11月9日 会場:昭和信用金庫烏山支店3階しあわせ 件数:332件 募金額:483,550円

別表4 「I-2-(1)-② 地域福祉コーディネート推進事業（地域資源開発事業）
【区受託】」関係

(1) 福祉相談の受付（相談件数と相談内容内訳）

身近な福祉の相談窓口等にて、まちづくりセンター・あんしんすこやかセンターとの三者連携により、住民からの相談を受け止め、解決に向けて対応した。

地域	地区名	人口（人）	相談内容内訳（重複有り）（件）				相談件数合計 （件）
			高齢	障害	子ども	その他	
世田谷	池尻	24,269	18	0	6	20	36
	太子堂	23,827	23	0	0	11	34
	若林	27,293	25	1	1	24	50
	上町	53,832	49	5	14	16	79
	経堂	51,675	24	1	7	42	72
	野沢・下馬	42,869	42	3	4	23	68
	上馬	29,102	48	2	8	20	74
北沢	梅丘	28,390	32	7	2	38	75
	代沢	17,308	70	11	6	79	144
	新代田	26,026	38	7	14	36	90
	北沢	18,322	133	94	14	92	309
	松原	29,520	47	9	9	68	114
	松沢	33,994	31	7	5	33	64
玉川	奥沢	22,009	111	40	5	78	232
	九品仏	17,004	15	4	4	12	33
	等々力	39,848	53	13	6	48	111
	上野毛	33,753	58	4	4	37	96
	用賀	36,897	25	0	3	31	59
	二子玉川	27,809	31	6	8	22	63
	深沢	49,194	100	6	19	67	189
砧	祖師谷	26,464	90	13	9	38	140
	成城	23,209	112	3	17	37	167
	船橋	39,427	87	7	8	62	159
	喜多見	33,228	66	4	23	24	113
	砧	42,536	51	3	15	29	97
烏山	上北沢	24,415	48	6	6	12	72
	上祖師谷	32,503	90	9	16	44	154
	烏山	63,048	76	12	13	67	159
合計		917,771	1,593	277	246	1,110	3,053

※人口：令和6年3月1日現在。区ホームページより抜粋転載

※相談件数：令和5年4月1日～令和6年3月31日

(2) 地区内地域資源への訪問調査と把握件数

地域の活動団体が抱える活動人材の不足等といった課題の把握に努めるとともに、地域活動の拡充に向けて、機関や団体等とのネットワークづくりに取り組んだ。また、法人や団体等が保有する建物等の資源を地域福祉活動の新たな「場」として活用すべく協力要請を行った。

地域	地区	訪問調査件数				資源把握 件数	活用できる 場の件数	場の活用 実績件数
		サロン ミニデイ等	学校・施設 保育園等	事業者 NPO等	調査 総数			
世田谷	池尻	79	41	32	152	183	18	4
	太子堂	38	15	18	71	228	19	10
	若林	66	31	64	161	165	16	9
	上町	69	61	67	197	189	25	12
	経堂	112	54	88	254	197	22	13
	野沢・下馬	56	35	40	131	144	15	11
	上馬	135	63	31	229	119	24	14
北沢	梅丘	38	22	11	71	106	26	27
	代沢	142	31	21	194	116	8	7
	新代田	42	51	24	117	66	15	6
	北沢	104	40	60	204	69	14	6
	松原	132	30	25	187	134	16	17
	松沢	76	49	38	163	107	16	12
玉川	奥沢	46	42	23	111	220	18	9
	九品仏	73	46	47	166	148	16	7
	等々力	82	76	40	198	159	17	5
	上野毛	131	88	77	296	158	15	13
	用賀	70	55	48	173	120	17	16
	二子玉川	112	34	30	176	142	11	13
	深沢	206	69	47	322	212	33	14
砧	祖師谷	59	47	31	137	173	17	5
	成城	28	57	142	227	104	18	27
	船橋	56	8	7	71	145	21	10
	喜多見	86	31	24	141	138	17	5
	砧	123	22	23	168	157	20	12
烏山	上北沢	120	80	16	216	131	22	8
	上祖師谷	107	101	53	261	152	14	23
	烏山	34	11	37	82	184	12	4
合 計		2,422	1,290	1,164	4,876	4,166	502	319
() は前年度実績		(2,496)	(1,411)	(1,182)	(5,089)	(4,060)	(456)	(288)

(3) 広報・啓発の取り組み

地域の活動団体の紹介や行事・イベント等について、メールでの配信やホームページへの掲載を通して、情報提供を行った。あわせて団体からのボランティア募集の情報を掲載し、地域活動への参加を促進した。

また、地区の福祉活動やイベント、事務局の取り組み等を盛り込んだ地区事務局ニュース等を作成・配布し、情報の提供と共に、取り組みの“見える化”を進めた。

地域	地区	地区メールマガジン		地区ホームページ 紹介団体数
		配信件数	登録者数	
世田谷	池尻	98	199	41
	太子堂	100	211	30
	若林	94	201	33
	上町	99	212	48
	経堂	100	237	45
	野沢・下馬	116	402	55
	上馬	97	207	42
北沢	梅丘	109	187	30
	代沢	131	176	24
	新代田	115	157	20
	北沢	103	168	36
	松原	110	165	41
	松沢	107	164	35
玉川	奥沢	124	287	48
	九品仏	93	284	33
	等々力	117	299	45
	上野毛	116	283	44
	用賀	110	311	33
	二子玉川	119	204	49
	深沢	97	306	69
砧	祖師谷	97	264	46
	成城	104	270	22
	船橋	101	266	39
	喜多見	94	216	50
	砧	98	293	59
烏山	上北沢	96	200	61
	上祖師谷	83	191	32
	烏山	97	218	70

(4) 地区の課題解決に向けたネットワークの取り組み (第2層協議体)

住民や地域の活動団体等の参画を得て、地区アセスメントやアウトリーチにより把握した地区の課題を中心にテーマを設定し、その解決に向けた検討を行うとともに、必要とされる生活支援サービス等の創出に取り組んだ。

池 尻	<p>地区社協の事業の見直しに伴い、池尻児童館協力のもと立ち上げた子育て支援ネットワークにて、みちあそび検討委員会を開催し、多世代交流の機会作りについて検討を開始した。地区内における子ども関係団体の連携強化、地区課題の解決に向けてネットワークとして取り組みを進めていく。またネットワークとしておでかけひろば三宿の出張ひろばを三宿地区会館で実施した。</p> <p>団地における買い物弱者支援のため、買い物サポートを長年続けている団体と連携して移動販売誘致を行い、食を通じたコミュニティ活性化に繋げられるよう、団地集会所にて地域住民同士が交流できる居場所づくりのイベントを開催した。今後、様々な団体と連携しながら多世代交流もできる場所として進められるよう調整、検討を続けていく。</p>
太子堂	<p>太子堂地区子育て支援者ネットワーク会議にてそとあそびプレ開催に向け企画・立案し、参加者を募り、そとあそびプレ開催をした。</p> <p>太子堂スマホ HELP (三者連携) で協議し、継続可能な実施体制について検討した。</p>
若 林	<p>「体爽 (操) にいらっしやいませんか」に名称変更し、誰でも参加できる地域のゆるやかな居場所として、ラジオ体操や様々な企画を実施した。民生児童委員やあんしんすこやかセンターから、気になる方をつないでもらい、見守りの場としても機能している。若林複合施設活動フロアー、若林ふれあいルームで実施していたが、かねてより空白地帯だった三軒茶屋エリアで場の開拓に取り組んだ結果、スポーツクラブを活動場所として活用し実施した。</p>
上 町	<p>地区内の子育て支援関係団体・関係者が集い、「かみまち子育てサポートコア会議」を開催し、各団体の取組や課題について共有しあった。共通の課題として、「活動場所の確保」があげられた。</p> <p>都営桜一丁目アパートを拠点に、移動販売と居場所作りを今年度より開始した。また「お気楽さくら茶話会」を開催し、団地やその周辺の現状や生活課題について話し合いを行った。</p>
経 堂	<p>有料老人ホームのスペースを借りて、子どもからお年寄りまで誰でも参加できる地域の居場所「街なかステーションきょう DO」を毎月定期開催し、地区社協の情報発信・民生委員を始め地区社協の推進員が行うよろず相談を実施した。</p> <p>また生活困窮世帯への支援活動であるとともに、地域で気になる“ちょっとした”困りごと相談の機能も持ったフードドライブを、町会や子ども食堂と連携し実施した。</p> <p>さらに子育て支援者ネットワークにて、活動団体を知る・相談ができる・地域とつながることを目的とした「こども天国」を経堂コルティにて開催し、子育て世代と繋がるだけでなく、子育て団体同士の連携強化にも繋がった。</p>
下 馬	<p>地域福祉推進員と関係団体・機関との協力により、サロンのざわ、サロン下馬和楽、音楽交流会、定期実施を通じ住民の閉じこもり防止、つながりづくり、ゆるやかな見守り活動に努めた。既存事業ガレージでカフェについては、コロナ禍以降出てきた新たな課題に対応するために「一丁目カフェ」と名前を変えて定期開催の居場所として立ち上げた。介護者家族や認知症当事者の参加もあり、地域のゆるやかな見守りの促進に繋がっている。</p> <p>また、野沢児童館の改修工事に伴う親子の居場所喪失を防ぐ取り組みとして、親子と地域資源との繋がりづくりを目的に、子育て関係団体ネットワークとの共催で「ゆったり子育てフェスタ」を開催した。子育て支援者、専門職も駐在したことで、参加者が地域資源と繋がるだけでなく、気になる参加者親子の相談を即時専門職につなげることができた。</p>

	<p>コロナ禍で孤立しがちな親子を地域や地域資源と繋げる事を目的に子育て関係団体ネットワーク協力の下、子育て応援フェスタを開催し、子育て世帯と地域とを繋げる機会を設けた。</p>
上馬	<p>認知症高齢者やぷらっとホーム就労準備支援事業利用者等の社会参加のために「お気軽お掃除ウォーキング」「まちなかクリーン作戦」を実施した。さらに、男性高齢者の地域参加を応援する「男の家事入門講座」をミニデイ『おとこの台所』と共催した。</p> <p>子育て支援者ネットワークを立ち上げ、地区内にある子育て支援者団体で情報交換を行い、子育てに関わる課題を検討している。</p>
梅丘	<p>フードドライブの開催を始めて2年目となり、支援の必要性を感じる方には声掛けや、ぷらっとホームの紹介ができる関係を築くことができている。また、フードドライブ及び地域協力者（地区内大手小売店）により提供された食材を利用し、参加費無料の食事会（「みんなで一緒に食事会」）を開始した。食の支援を通じた生活支援をはじめ、アクション講座を踏まえた多世代交流等複数の目的を持っている。</p>
代沢	<p>地区内に児童館がなく、子どもの居場所として、『学びの居場所代沢ほっこりんルーム』や『子ども食堂代沢あおぞらキッチン』『みんなのおながくスマイリーひろば』がオープンした。子どもの学習支援・食の支援や音楽を通じた交流の場として利用されている。</p> <p>また、地域カフェ空白エリアに、『本を売らない本屋』がオープンし、本を通じた地域の顔の見える関係づくりを行っている。様々な居場所が立ち上り、その継続のために必要と思われる「地域の理解」や「地域活動団体同士の情報交換」を図るべく、地区社協で研修会を企画し、地域住民の情報交換・相互理解に役立てる機会となり、ネットワークを深めた。</p>
新代田	<p>「孤立を防ぎ助け合いのあるまち」「課題を抱える世帯を早期に適切な機関に繋げることのできるまち」を目指し、「美まもりやまカフェ」を月2回継続的に開催している。</p> <p>生活支援検討会を開催し、地区における課題やこれまでの外出支援（買い物支援等）の振り返り、新に住民が出来る助け合いについて話し合った。</p>
北沢	<p>地区高齢者見守りの観点で実施している「ココロンさくら」を月1回実施した。開始前に福祉の最新情報を参加者50名に提供している。令和6年2月には買物支援についてアンケートを実施し、今後の参考とする。また令和4年度より四者連携で「きりり☆きたざわ通信」を発行し、地区内の各サロン等に配布し相談機能の周知と見守り強化の啓発を図るとともに、日々の団体活動に対して状況確認した。</p>
松原	<p>誰もが気軽に立ち寄れる居場所である「茶話やか松原」を世田谷区立保健医療福祉総合プラザの1階カフェのオープンスペースで、令和5年5月より、奇数月第4水曜に定例で開催することとなった。</p> <p>また、地域でのちょっとした困りごとを、住民同士の力で解決する「松原ちょこっとサービス」も地区サポを中心に検討を重ねながら継続中。男性の居場所づくりで展開している「おとこ塾」の講座を地区内の高齢者団体や関係機関と連携をしながら3回実施し、事業のPRとともに男性の地域活動人材発掘等に努めた。</p> <p>令和5年10月より、気軽に参加できる居場所として、三者を中心に、週2回（火・金/雨天時中止）、まちセン敷地内にてラジオ体操を開始した。幼児連れ親子から高齢者まで、幅広い年齢の参加者の居場所となっている。</p>
松沢	<p>地区内のカフェを会場として開催する「おしゃべり★カフェ」について、コロナ禍においても続けていた赤堤1丁目の「カフェ・アンキミカ」での活動が毎月第1火曜日で定着できた。また、コロナ禍で活動休止となっていた赤堤5丁目の「喫茶YOU・遊」での活動は11月から毎月第2水曜日で再開し、どちらも相談機能が高い居場所として期待が寄せられている。</p>

	<p>地区社協事業として「生活応援広場」を継続し、コロナ禍以降も続く生活困窮の課題解決に向けて取り組んだ。利用者が学生や子育て世帯等の若年層から高齢者に移行している状況から、より適切に運営できるよう配布内容・実施規模を検討した。対象者からの相談については、必要に応じて各専門機関へつなげるとともに、地区社協運営委員でもある「障害者支援センター／ぽーときたざわ」からの参加を求め連携を強化した。</p>
奥 沢	<p>地域住民・三者をはじめとする関係機関と連携を図り、食で応援プロジェクトを実施し、地区内の食を必要とする方へ食品配付を行なった。生活課題や困りごとを把握し、地域住民・地区内の団体と連携して必要な支援へ繋げている。また SDGs の観点も踏まえて賞味期限が近い食品等をお渡しする「ご自由にどうぞ」を行い、食で応援プロジェクトの周知と共に、食品を受け取ることのハードルを下げる等、支援を必要とする方が受け取りの申し込みがしやすくなるような取り組みを行った。</p> <p>子どもの居場所づくり: 地域福祉推進員・地区サポーター等のボランティアや児童館と共に、子どもの居場所「なかよし子どもスペース」を昨年度より継続して開催している。毎月定期開催し、児童が気軽に来て遊ぶことのできる居場所作りを行っている。</p>
九品仏	<p>子どもが安心して過ごせる場所が少ないという地区課題の解決に向けて、子育て関係団体との連携強化に努めた。前年度に引き続き、奥沢子育て児童ひろばと連携して、「デリバリーひろば@九品仏」の開催及び支援を継続することで、子どもの居場所提供の取り組みを行った。</p> <p>男性が気軽に参加できる集いの場所が少ないという地区課題の解決に向けて、男性に特化した居場所提供の取り組みとして「九品仏男 day 塾」を地区サポーターや関係団体と連携して実施した。</p>
等々力	<p>高齢者の居場所づくりの取り組みとして「高齢者お楽しみ交流会」の開催場所を変更し、3回開催した。</p> <p>認知症の方の受け入れ態勢づくりを目的に、地域福祉推進員やボランティアを対象にアクション講座を行い、認知症の方も参加できる居場所について検討を行った。また近隣の方同士の見守りにつながることを目的とした「見守りパンフレット」を発行し、住民や関係団体に配付し、見守り体制の強化を図った。</p> <p>等々力地区子育て関係団体ネットワーク会議を開催し、地区内の子育て世代の状況や困りごとの情報交換、課題解決を行っている。団体、地域住民と連携を図り、おでかけ情報の作成・配付、親子の孤立予防・地域とのつながりづくりを目的に子育てファミリーのリフレッシュ Day を開催した。</p>
上野毛	<p>生きづらさを抱えた方への居場所支援として、地区内の農園を活用した「さわやか農園」プロジェクトを継続して開催している。地域住民と協働で季節の農作物の栽培や収穫を通して土に触れることにより継続的な参加者もいる等居場所としての機能を果たしている。またぷらっとホーム世田谷と連携して中町天祖神社を活用した就労準備支援プログラムを実施している。参加者が地区内のサロンのスタッフとして活躍する等発展している。</p> <p>上野毛地区子育てネットワーク会議を開催し、団体や住民同士意見交換の場を開催し、地区版のおでかけマップを発行した。また「がんばらない」をテーマとした離乳食講座をネットワーク団体、健康づくり課やまちづくりセンター等と連携して開催した。</p>
用 賀	<p>引きこもりがちな方のように心に悩みを抱えた方の生活支援としての居場所「スペース 2020」を月に1回開催している。どなたでも気軽に参加できる居場所として参加者同士の交流の機会となっている。専門職も関わり、多職種で連携を図りながら、相談できる場としての機能も果たしている。</p>

	<p>用賀地区子ども子育てネットワーク検討会では、子育て支援団体と地区内の子育て世代の状況や困りごとの共有を行い、親子の孤立予防等の地区内の課題の共有と解決に向け、検討の場を設けている。また、各団体、地域住民と連携を図り、おでかけマップの作成・配布、親子の孤立予防・地域とのつながりづくりを目的に子育てファミリーのリフレッシュ Day を開催した。</p>
二子玉川	<p>地区社協と協力し、地域の課題解決に向けて、地域生活課題の共有と解決に向けて取り組んだ。子育て関係団体ネットワークでは、こども・子育てに関する地域課題の共有と解決に向けた検討の場を設け、地域の子育て支援団体や近隣の児童館・小児科医等と連携し、おでかけマップの作成・配布、子育てファミリーのリフレッシュ Day ・子育て応援講座・こどもちよこっと料理塾等の事業を展開した。</p> <p>公営住宅（区営玉川3丁目アパート）のコミュニティ再生を目的とした「スマイルひろば検討会」では、自治会や関係機関と協議を行い、課題解決に向けて様々な地域交流事業として、花壇の寄せ植え、多世代対象の栄養講座、七夕飾り、サロン・ミニデイ発表会、クリスマス交流会を開催した。</p>
深 沢	<p>子育ての孤立解消や地区内の子育て情報共有のため、子育て支援活動団体が集まり課題を解決する子育てネットワーク会議を開催した。子育てサロンや子ども食堂、児童館、地区内子育て支援活動団体、地域住民が参加協力し、子育てファミリーのリフレッシュ DAY を開催した。また児童館で実施する中高生対象のフードパントリーに、食の応援としてフードドライブで集まった食材を渡して協力する「フードパントリーby フードドライブ」の取り組みを開始した。リニューアルオープンした銭湯「栗の湯」を活用し、子育てサロンを実施する等、居場所づくりに取り組んでいる。</p>
祖師谷	<p>「公社けやきの会」において、運動・交流機会、買い物支援等について協議した。</p> <p>その中で「運動サロン」を立ち上げ、毎月運動後にお茶会を実施した。また、近隣住民の集い・交流の場として「おしゃべりけやき」を毎月実施した。</p> <p>上記の参加者拡大に向けて広報の強化とともに、買い物ツアー等についても検討した。また、「男性の居場所づくり」と「よろず相談会」を兼ねた「コーヒーの淹れ方講座」の検討を行い開催した。</p> <p>商店街との協働により作成した「高齢者買い物支援マップ」の更新を行った。</p> <p>公社住宅における高齢者のごみ出し課題や建て替えに伴う引っ越しのための片付けの課題を受け止め、春と秋にある世田谷区の古着・古布回収時に地区サポーターの協力を得ながら古着を集積所まで運ぶ支援を実施した。</p> <p>「祖師谷北部ふくし検討会」においては、主に祖師谷5・6丁目の祖師谷北部エリアの高齢者の生活課題である「買い物支援」や「集いの場づくり」等を協議し、古着古布回収支援や民生委員の協力により実施した「高齢者の生活課題把握調査」の内容についての共有と検討を進めた。また、買い物ツアーや移動販売誘致の検討を行った。とりわけ、集いの場づくりに関しては、場所候補の下見や内容の検討を継続して行い、次年度のお試し実施に向けて関係機関と連絡調整した。</p>
成 城	<ul style="list-style-type: none"> ・都立松沢病院の看護師による個別相談「ふらりと相談会」を開催した。あんしんすこやかセンターとあんしん事業の相談ブースも併設し、介護保険や金銭管理、書類整理の相談に対応。気軽に参加しやすいよう新たにミニ講演会も同時開催した。 ・成城8、9丁目の住民を対象とした、電球交換等ちょっとした困りごとに対応するプチサポを実施。担い手である特別養護老人ホームの職員が対応した。 ・地域との関わりが少ない高齢者へのアプローチとして「ほっこりカード」を団地自治会の敬老事業と連携し、配布。ゆるやかな見守りを促した。
船 橋	<p>「高齢者を支えあう会」は、孤立防止と福祉的人材の開拓のために、分科会を通じた居</p>

	<p>場所作りを実施した。コーヒーや歌謡曲を楽しみながらの茶話会「E ラウンジでひまつぶし」を立ち上げ、多くの参加があった。</p> <p>また、全体会にて「E ラウンジでひまつぶし」の実施報告と、ちょっとした困りごとへの対応等の生活課題に対して更なる展開を次年度より目指していくことを決めた。</p> <p>「4丁目住宅自治会協議体」は、活動機会の不足や他者との交流機会がない等の生活課題について、ラジオ体操やウォーキング、休憩をしながらの茶話会を目的とした「午後のラジオ体操」を開催した。少しずつ参加者も増加し、引きこもりケースや居場所を求めているケースの参加もあることから、今後も活動を継続する。</p>
喜多見	<p>買い物不便・交通不便エリアに対する支援策として「お買い物ツアー」と「移動販売会」を継続実施した。好評であった「お買い物ツアー」は今年度2回の実施となった。今後の支援の在り方を考えるため、高齢化が進んでいる喜多見2丁目団地自治会、「お買い物ツアー」や「移動販売会」を利用している宇奈根エリアのミニデスタッフ、地区サポーターとして「お買い物ツアー」を支援していた鎌田の民生委員、子育てサロンの参加者、主任ケアマネジャーと意見交換を行った。世代を問わず買い物に不便を感じていること、野菜の移動販売の希望等を確認したことから、今後、周辺農家に協力が得られるか調整を進めていく。</p> <p>喜多見2丁目団地で誰もが参加できる居場所と気軽に相談ができる出張型相談窓口を四者連携により実施している（だんだんの会、月1回）。</p>
砧	<p>「きぬた★手をつなごう会」では、「みんなの子育て広場」を開催し、子育てに関する情報の提供、おしゃべりや情報交換を通じた孤立防止の場を提供した。</p> <p>大蔵住宅建て替え後のカーメスト大蔵の杜コミュニティーサロン和みにおいてお茶会を開催し、高齢者の悩みや困りごとを聞き取った。サロンに登録し活動を継続している。お茶会参加者から移動販売誘致の希望があり、話し合いの結果、買い物支援事業者が販売会を開始した。</p> <p>砧スマホの日を月1回開催し、主に高齢者を対象にスマホや生活の困りごとの支援・情報提供、不安解消、孤立防止を行った。</p>
上北沢	<p>上北沢縁側プロジェクトとして、年2回、誰でも参加できる「上北沢えんがわカフェ」を開催し、赤ちゃんから高齢者まで幅広い年代層による交流の機会となった。また「えんがわ通信」を発行し、これまでの「上北沢えんがわカフェ」の参加者へお渡しするとともに、町会回覧や広報板、SNS等を活用して周知した。</p> <p>「社会的養護児童を支えるネットワーク」の名称を「子どもと地域のつながりをつくるネットワーク会議（上北沢モデル）」に変更、内容について各種団体に参画を得ながら次年度からの支援拡大ができるよう検討した。</p>
上祖師谷	<p>「粕谷2丁目アパート団地での居場所づくり」において、「ゲームの会」の後方支援を行うとともに、団地の抱える課題を共有した。また次年度より移動販売が開催できるよう支援した。</p> <p>認知力低下している住民が多いとの相談を受け、団地住民やその家族を対象に福祉の出張勉強会・相談会を開催した。</p> <p>あんすこと立ち上げた「祖師谷公園ラジオ体操会」がアクションチームとなれるよう、講座を実施。参加者有志による「にれの会」が発足し、定期的地域課題や今後の取り組みについて検討を継続している。</p>
烏山	<p>買物困難者に対し、宅配店舗や公衆電話の位置等を紹介した『買物支援マップ』の改訂版の発行に向けて調査を実施した。民生委員のふれあい訪問時に、住民の宅配利用や利用する店舗の調査を行ったほか、商店街の各店舗を訪問し、買物支援マップへの掲載に向けて聞き取りを行った。</p> <p>地区内で活動するデジタルサポーターや町会・自治会、地域活動団体を中心に意見交換会を実施した。「デジタルなんでも相談会」として、日常生活におけるデジタルの課題解決と、多世代交流の場を目指し開催した。</p>

(5) 地域福祉コーディネート推進事業のスキルアップ

コミュニティソーシャルワークの専門性を高めるための専門研修を実施するとともに、都・区等が開講する研修に積極的に参加した。また、本部職員が地域事務所を訪問し、個別支援や地域づくりの取り組み、協議体の運営に関する進捗確認や助言指導等を適宜実施した。

研修	開催日等	人数	主な内容と講師
コミュニティソーシャルワーク研修 【全課常勤職員対象】	第1回 10月27日 第2回 1月26日	50名 53名	内容:コミュニティソーシャルワークの視点と方法 内容:地域生活支援における多機関多職種連携 講師:菱沼 幹男氏(日本社会事業大学社会福祉学部教授)
コミュニティソーシャルワーク研修 【地域社協課常勤職員対象】	第1回 8月31日 第2回 1月22日	35名 27名	内容:個別支援と地域支援との関係を含んだ事例を題材に支援をめぐる課題を整理する 講師:地域社協事務所長
地区担当新任職員研修	5月23日	10名	内容:地域資源開発事業概要・関連業務について
地域福祉支援員研修	9月29日 10月4日	18名 23名	内容:地域福祉支援員の業務に必要な地域福祉関連事項等 ○ワークショップ 「地域社協事務所に来所したAさんへの対応(ロールプレイ)の考察」、「社協内連携・協働」
実務研修	第1回 7月3日 第2回 11月9日、 12月7・19日、 1月19日	27名 10名 8名 8名 12名	内容:地域資源開発事業概要・関連業務について 内容:「資料作成のコツとプレゼンテーション」(資料作成の考え方・見せ方) 講師:五條 眞樹氏(ソフトバンク株) 演習・情報交換
各地区個別研修 (本部職員による訪問指導)	56回	計116名	内容:各地区における課題解決に向けた第2層協議体の運営に関する助言 ○指導や他地区の取り組み情報の共有
生活支援コーディネーター初任者研修 (実施主体:東京都福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課)	A 6月16、30日 B 7月14、21日 【オンライン】	4名	内容:住民主体の地域づくりの意義と考え方、理念と実践 ○地域づくりの全体像を理解する。
生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ (全6回) (実施主体:同上)	8月25日、9月12日、 10月16日、12月4日、 1月26日、2月13日	3名	内容:地域づくりの基本理念と全体像 ○協議の場づくりとネットワークング ○協議の場の運営とファシリテーション ○地域アセスメントと行動計画の作成支援 ○資源開発とソーシャルサポートネット
生活支援コーディネーター現任者研修Ⅱ (実施主体:同上)	11月7、10、16、25日 12月7、8日	6名	内容:視察研修 ○文京区「かよいへの連絡会」 ○杉並区「なんでも相談会、東原ぶどうの集い」 ○豊島区「ラルゴでごはん、スマホ相談会」 ○町田市「買い物・外出支援『くらちゃん号』」

区市町村社協「地域福祉コーディネーター等養成研修」＜基礎編＞ (実施主体：東京都社会福祉協議会)	6月5～23日 【動画視聴】	4名	内容：地域福祉の動向と社協における地域福祉コーディネーターの意義と役割 ○地域福祉コーディネーターとしての実践
地域包括ケアの地区展開研修（基礎編） (実施主体：世田谷区)	4月11日～5月31日 【動画視聴】	11名	内容：地域包括ケアシステム 地域包括ケアの地区展開 ○あんしんすこやかセンターについて ○社会福祉協議会について ○児童館について ○認知症とともに生きる希望条例
地域包括ケアの地区展開研修（実務編） (実施主体：世田谷区)	9月27日	9名	内容：地域に入るためのコミュニティデザイン手法 ○簡単なファシリテーション手法 ○窓口対応力を高めるための横断的視点を育てよう ○グループワーク～組織を超えた地域の対応力の課題と対応方針を考えよう

別表 5 「I - 2 - (1)-⑤ 高齢者の新たな居場所づくり事業（「なごみの広場ちとふな）」
【区受託】関係

令和5年度 なごみの広場ちとふな 実績報告

No	日付	内容	参加者
1	4月18日	裂き布ぞうり作り講座 講師:NPO 法人えこひろば	6名
2	4月21日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	13名
3	4月21日	スマホ講座 基礎講座① 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他4名 地区サポーター:2名	16名
4	5月16日	囲碁講座 講師:株式会社方円企画 白江 治彦氏	9名
5	5月19日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	15名
6	5月19日	スマホ講座 基礎講座② 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他4名 地区サポーター:2名	14名
7	5月30日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	14名
8	6月2日	スマホ講座 基礎講座③ 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他4名 地区サポーター:2名	12名
9	6月6日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	12名
10	6月6日	将棋講座 講師:日本将棋連盟 普及指導員六段 神谷 崇氏	4名
11	6月16日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	14名
12	6月16日	スマホ講座 動画・ラジオ 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他4名 地区サポーター:2名	13名
13	6月20日	ヴァイオリン演奏 講師:特技ボランティア 横手 とよ子氏	21名
14	6月27日	かんたん栄養講座 講師:学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校 大垣 光希氏	11名
15	7月4日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者2名	16名
16	7月4日	お薬と栄養の講座 講師:高須賀 洋徳氏、小松 千紗世氏	7名
17	7月7日	スマホ講座 地図・乗換検索講座 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他4名 地区サポーター:1名	17名
18	7月18日	囲碁講座	16名

		講師:株式会社方円企画 矢野 瑞季氏	
19	7月21日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2名	14名
20	7月21日	スマホ講座 地図・乗換検索講座 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4名 地区サポーター:2名	17名
21	8月1日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2名	13名
22	8月1日	将棋講座 講師:日本将棋連盟 普及指導員六段 神谷 崇氏	9名
23	8月18日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2名	15名
24	8月18日	スマホ講座 防災アプリ 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4名 地区サポーター:3名	15名
25	8月29日	裂き布ぞうり作り講座 講師:NPO 法人えこひろば	4名
26	9月5日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2名	15名
27	9月5日	アロマ de リラックス講座 講師:子育てサロン alulu 代表 福田 宏実氏	8名
28	9月15日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2名	14名
29	9月15日	スマホ講座 カメラの上手な使い方 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4名 地区サポーター:1名	15名
30	9月18日	やわらぎマッサージ ※敬老の日特別企画 NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 8名 ※こどもおとなゴスペルサロンによるフラダンスと手作りプレゼント配布	59名
31	9月19日	囲碁講座 講師:株式会社方円企画 矢野 瑞希氏	10名
32	10月3日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2名	14名
33	10月3日	将棋講座 講師:日本将棋連盟 普及指導員六段 神谷 崇氏	6名
34	10月6日	スマホ講座Ⅱ 基礎編 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4名	12名
35	10月20日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2名	16名
36	10月20日	スマホ講座Ⅱ LINE の使い方 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4名 地区サポーター:3名	16名
37	10月31日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2名	16名

38	11月7日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2 名	15 名
39	11月7日	脳トレ&体操 講師:フレアス在宅マッサージ 横塚 雅仁氏	15 名
40	11月17日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2 名	13 名
41	11月17日	スマホ講座Ⅱ 基礎編 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4 名 地区サポーター:2 名	14 名
42	11月21日	囲碁講座 講師:株式会社方円企画 矢野 瑞季氏	11 名
43	12月5日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2 名	11 名
44	12月5日	地域の絆からはじめる防犯対策講座 講師:成城警察署 生活安全課	8 名
45	12月15日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2 名	10 名
46	12月15日	スマホ講座 年賀状・カレンダー 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4 名 地区サポーター:2 名	15 名
47	12月20日	足づくり講座 100歳まで歩ける足を目指して 講師:特技ボランティア看護師 波田野 淑恵氏	7 名
48	1月16日	囲碁講座 講師:株式会社方円企画 矢野 瑞季氏	9 名
49	1月19日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2 名	11 名
50	1月19日	スマホ講座 地図・乗換検索 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4 名 地区サポーター:2 名	14 名
51	1月30日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2 名	12 名
52	2月16日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2 名	13 名
53	2月16日	スマホ講座 地図・乗換検索 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4 名 地区サポーター:3 名	14 名
54	2月29日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2 名	16 名
55	3月1日	スマホ講座 動画・ラジオ 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4 名 地区サポーター:3 名	11 名
56	3月5日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2 名	15 名
57	3月5日	健康栄養講座	10 名

		講師:世田谷保健所 健康推進課 ころと体の健康係長 栢山 幸子氏	
58	3月13日	体力測定と健康相談 ※千歳温水プールとのコラボ企画 講師:特技ボランティア看護師 波田野 淑恵氏、 日本水泳振興会 伴藤 正道氏	9名
59	3月15日	やわらぎマッサージ NPO 法人世田谷区視力障害者福祉協会 施術者 2名	11名
60	3月15日	スマホ講座 防災/身を守る情報 講師:NPO 法人シニア SOHO 世田谷 生田 美子氏他 4名 地区サポーター:3名	14名

【福祉コンシェルジュ Day】

1	6月27日	「かんたん栄養講座」を聴講後、個別相談を実施 講師:学校法人食糧学院東京栄養食糧専門学校 金澤 敏文氏、 大垣 光希氏	3名
2	7月4日	「お薬と栄養の講座」を聴講後、個別相談を実施 講師:高須賀 洋徳氏、小松 千紗世氏	2名
3	10月31日	毎日の生活の中での困りごと 船橋地区担当 櫻井 宗一郎氏	3名

その他個別相談 (延件数)

10月:8件	11月:10件	12月:7件	1月:8件	2月:9件	3月:6件
--------	---------	--------	-------	-------	-------

活動報告・作品展の実施:7月24日~9月29日 作品展観覧者数:延 624名

**別表6 「I-2-(2)-② 地域・地区における交流・啓発
ア サロンリーダー交流会等の開催」関係**

(1) 世田谷地域

①池尻地区

○三宿・池尻まちなか作品展

日程:2月6～11日(6日間) 参加者:延297名

会場:池尻まちづくりセンター3階 第2会議室

共催:四者連携

内容:作品展示、ワークショップ

出品状況:計120点

②上町地区

○上町地区ふれあいカフェ

日程:9月9日 参加者:44名

会場:デイホーム世田谷

共催:サロン悠遊会

内容:マジックとハーモニカ鑑賞、フラダンスとハワイアン鑑賞、箸置き作り

○上町ふれあい作品展

日程:11月29日～12月1日(3日間) 参加団体:22団体 参加者:延170名

会場:上町まちづくりセンター3階活動フロア

内容:作品展示、講習会

③経堂地区

○見守りネットワーク推進会議

日程:2月29日 参加者:57名

会場:桜丘区民センター 別館桜丘ホール

内容:各地域活動団体の抱える課題や強みの共有、協力関係の構築

④下馬・野沢地区

○サロン・ミニデイ交流会

日程:12月19日 各団体の活動状況、困りごとについて

参加者:13団体(サロン・ミニデイ・自主グループ代表)

⑤上馬地区

○サロン・ミニデイ等意見交換会[上馬地区]

日程:8月30、31日 参加者:12団体(サロン・ミニデイ、子ども食堂)

内容:活動の情報共有等

(2) 北沢地域

①地域全体開催

○一日だけの子育てサロン With TOY 工房どんぐり

日程:5月12日 参加者:15名(予約なし 親子4組 一般7名)

会場:世田谷代田 仁慈保幼稚園

※地域の活動団体と共催して開催

○みんなのうたごえサロン2023

日程:7月6日 参加者:111名

会場:北沢タウンホール

※北沢地域内のサロンリーダーが中心となって実行委員会形式で開催。

②新代田地区

○サロン・ミニデイ連絡会

日程:7月24日 参加者:10名(サロン・ミニデイ代表者等)

会場:新代田まちづくりセンター活動フロア

日程:12月18日 参加者:10名(サロン・ミニデイ代表者等)

会場:新代田まちづくりセンター

○サロン・ミニデイ文化祭

日程:2月26日 参加者:63名

会場:新代田地区会館

③松原地区

○松原ふれあいルーム拠点連絡会

日程:11月20日、2月21日 参加団体:15団体

内容:各団体の活動状況、困りごと、拠点利用について

④松沢地区

・小エリア交流会5エリア実施

○ふれあいいいききサロンまつざわ

日程:10月26日 参加者:10名

○松沢さくら会

日程:1月9日 参加者:23名

○まつざわ半纏木

日程:2月21日 参加者:15名

○桜上水5丁目さくら

日程:3月7日 参加者:95名

○桜上水四丁目町会さくらんぼサロン

日程:3月21日 参加者:21名

(3) 玉川地域

①奥沢地区

○東玉川ふれあいルーム運営委員会

日程:毎月第3金曜日(計12回) 参加者:サロン代表者

会場:東玉川ふれあいルーム

内容:サロンの様子・気になる方の情報共有等

②深沢地区

○サロン・ミニデイ等地域活動グループ交流会

日程:12月7日 参加者:21名

内容:サロン運営時の課題、情報共有等

(4) 砧地域

①地域全体開催

○砧地域支えあいフェスタ 2023 ※6月開催予定が荒天の為、10月開催。

日程:10月21日 参加団体:15団体

会場:祖師谷支えあいルーム

②祖師谷地区

○祖師谷支えあいルーム拠点運営会議

日程:①7月31日、②1月29日 参加者:①19名、②18名

③成城地区

○社協事業参加者交流会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。

④船橋地区

○千歳ふれあいルーム拠点運営会議

日程:1月29日 参加者:8名

⑤喜多見地区

○サロン・ミニデイ・高齢者クラブ交流会

日程:2月29日 参加者:12団体18名

会場:喜多見東地区会館

⑥砧地区

○砧くちなしふれあいの家拠点会議

日程:5月1日、6月5日、9月4日、10月2日、2月5日 参加団体:19団体

○砧くちなしふれあいの家公開月間

日程:11月1~30日 新規参加者:4名

(5) 烏山地域

①烏山地区

○南烏山ふれあいの家 拠点運営会議

日程:3月5日 参加者:15団体20名

内容:拠点利用について 清掃

別表7 「I - 2-(5)-① 地区サポーター」関係

(1) 世田谷地域

①上町地区

○スマホ体験会

日程:2月24日 参加者:17名

会場:上町まちづくりセンター活動フロア

内容:シニアのためのスマホで調べもの体験会

成果:デジボラによる参加者サポートを行いながら、講座の講師役の機会につなげた。

○デジボラ親睦会回数 全2回

・日程:11月21日 参加者:デジボラ6名

・日程:1月31日 参加者:デジボラ7名

会場:両日ともに上町まちづくりセンター活動フロア

内容:スマホ等を活用した交流

成果:開催を通してデジボラ同士の横のつながりを構築し、活動機会の提供を図った。

②経堂地区

○地区サポーター懇談会(あんすこ見守りボランティア交流会と共催)

日程:1月30日 参加者:9名

会場:宮坂区民センター 大会議室

③上馬地区

○地区サポーター定例会「なんじゃもんじゃの会」

日程:毎月第3火曜日 参加者:延96名

会場:ホスピア上馬

○「車椅子・白杖体験会」～ボランティア体験ツアー～

日程:5月7日 参加者:7名

会場:上馬地区会館

(2) 北沢地域

○地区サポーター講座&ミーティング(地区ごとに展開)

○講座&交流会:地区サポーターになることのきっかけづくりとして

○ミーティング:居住地区ごとに開催し、エリア内でどんな活動ができるか、新たな取り組みについて話し合った。

①梅丘地区(講座&ミーティング同時開催)【全5回】

日程:7月25日、10月28日、11月29日、1月31日、2月20日 参加者:延70名

会場:梅丘まちづくりセンター活動フロア、花見堂複合施設

内容:NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会の協力による疑似体験及び講話

世田谷区手をつなぐ親の会/セータとガーヤ気持ち伝え隊による講座

地域内福祉施設の協力による講話他

②代沢地区

○講座 全3回

日程:7月25日、3月15日、3月24日 参加者:延29名

会場:代沢まちづくりセンター活動フロア

内容:障害者理解(NPO法人世田谷区視力障害者福祉協会の協力による疑似体験及び講話)

協力会員登録説明会他

○ミーティング 全8回

日程:6月27日、7月4日、8月8日、8月24日、11月30日、1月18日、2月15日、3月13日

参加者:延31名

③新代田地区

○美まもりやまカフェ開催前後、必要に応じて連絡会開催

④北沢地区

○ミーティング 全3回

日程:7月29日、12月13日、2月1日

会場:北沢まちづくりセンター活動フロア

内容:スマホ練習会、スマホを通しての居場所づくりの検討 (R5年度からサロン化)

⑤松原地区

○ミーティング 全11回

日程:毎月1回、第4木曜 参加者:延120名 ※ちょこっとサービス派遣実績 延16件

会場:ギャラリーオーク

○講座

・日程:9月14日 参加者:5名

会場:松原まちづくりセンター活動フロア

内容:ミニ講座 点字体験

・日程:11月17日 参加者:10名

会場:松原まちづくりセンター活動フロア

内容:地区サポ交流会 点字講習、車いす講習他

⑥松沢地区

○地区サポミニ講座「災害について考えよう！」～在宅避難ってなァーに？

日程:5月24日 参加者:11名

会場:松沢まちづくりセンター活動フロア

講師:世田谷ボランティア協会

内容:地区サポーターをはじめとする社協関係者が、災害について在宅避難をテーマに理解を深め、今後の活動のきっかけとする。

○地区サポーター交流会「自分たちのまちを知ろう！ポールウォーキングでまち探検」全2回

日程:7月28日、9月27日 参加者:延12名

会場:SAKURAJYOUSUI キッチンパン屋さん2階

内容:ポールウォーキングをしながら地域内を散策し、自分たちの生活する地域の良いところや、あったらいいものなどを話し合う。

○ミーティング 3エリアで実施

★赤堤1・2丁目エリア 回数:6回

参加者:延30名

会場:世田谷エクステリアルーム (新規協力事業所)

内容:多世代交流の居場所づくりについて

★桜上水1・2丁目エリア 回数:5回

参加者:延25名

会場:土と農の交流園 (区施設)

内容:周辺住民や活動機関と連携した防災の取り組みについて

★桜上水4・5丁目エリア 回数:5回

参加者:30名

会場:むつみ会館 (町会会館)

内容:都営住宅の高齢者の外出機会の創出、孤立防止について

○地区サポによるイベント開催

日時:3月16日 参加者:44名

会場:むつみ会館

内容:「YOROZU サポート CAFÉ」を開催

(3) 玉川地域

○玉川シニアスマホクラブ(スマートフォン勉強会兼意見交換会)

内容:毎月、地区サポーターと自主勉強会を開催。サロンを対象に地区サポーターが出張してスマホ相談を実施した。

○地区サポーター交流会、「ほめ方講座」の開催(等々力地区)

(地区サポーター交流会)

日程:6月26日 参加者:13名

(ほめ方講座)

日程:2月21日 参加者:13名

○地区サポーター懇談会「ミニ講座・活動団体の紹介」の開催(用賀地区)

日程:8月21日 参加者:10名

(4) 烏山地域

○災害福祉サポーター安否確認訓練 全2回

・日程:7月5日 参加者:15名

・日程:2月22日 参加者:16名

○災害福祉サポーター研修・ミーティング

日程:3月2日 参加者:6名

※砧地域は開催なし。

資料

1 役員名簿

任期：令和5年定時評議員会終結時から令和7年定時評議員会の終結時まで

(定数：理事23～25名、監事3名)

※令和6年3月31日現在

(順不同)

役 職	氏 名	選 任 区 分
会 長	吉 村 俊 雄	玉川地域社協福祉推進協議会 会長
副 会 長	鈴 木 賢 治	世田谷地域社協福祉推進協議会 会長
副 会 長	岡 崎 克 美	北沢地域社協福祉推進協議会 会長
副 会 長	西 崎 守	砧地域社協福祉推進協議会 会長
副 会 長	高 橋 和 夫	烏山地域社協福祉推進協議会 会長
副 会 長	三 羽 和 彦	世田谷区町会総連合会 会長
副 会 長	坂 本 雅 則	世田谷区民生委員・児童委員協議会 会長
常務理事	長 岡 光 春	世田谷区社会福祉協議会事務局長
理 事	川 崎 恵美子	世田谷地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	松 岡 宏 武	世田谷地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	田 嶋 宏	世田谷地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	湯 澤 武 史	世田谷地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	田 中 京 子	北沢地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	須 藤 啓 子	北沢地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	川 上 アサ子	北沢地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	小 林 喜美江	玉川地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	江 藤 眞理子	玉川地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	玉 川 稔	玉川地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	本 田 隆 志	玉川地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	綱 木 雅 敏	砧地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	石 井 敏 活	砧地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	水 野 貞	烏山地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	下 山 鐵 夫	烏山地域社協福祉推進協議会 委員
理 事	横 山 康 博	ボランティア団体代表者
理 事	酒 井 健 治	社会福祉事業を経営する団体の役職員
監 事	近 造 迪 夫	地域の福祉関係者
監 事	板 谷 雅 光	社会福祉事業の知識経験等を有する者
監 事	丹 羽 克 裕	財務及び会計、経理の経験を有する者

2 評議員名簿

任期：令和3年定時評議員会終結時から令和7年定時評議員会の終結時まで

(定数60～65名)

※令和6年3月31日現在 (順不同)

(世田谷地域)

地区	氏名
池尻	富澤 美智代
	北野 康子
太子堂	大久保 梢
	山崎 和則
若林	安土 美智子
	芳澤 容子
上町	村上 知恵子
	西垣 禮子
経堂	岡庭 茂行
	香西 裕子
野沢	山口 美恵子
	滝嶋 秀夫
下馬	須藤 和代
	高木 照子
上馬	吉岡 榮子
	谷崎 茂保
福祉施設活動団体	高橋 直之

(北沢地域)

地区	氏名
梅丘	重田 朗子
	滝澤 葉子
代沢	都崎 裕子
	松尾 照子
新代田	河野 清
	狩野 千賀子
北沢	藤原 成義
	増山 晶一
松原	大塚 紀子
	池田 紀明
松沢	上田 啓子
	中村 佳壽子
福祉施設活動団体	杉山 真生子

(玉川地域)

地区	氏名
奥沢	増田 キヨ子
	染野 和夫
九品仏	清水 益子
	矢嶋 禮子
等々力	前田 美智子
	野村 君子
上野毛	粕谷 孝一
	豊田 和江
用賀	小島 和子
	鎌田 嘉次
二子玉川	高橋 聰子
	高橋 節子
深沢	黒木 勉
	榎本 善子
福祉施設活動団体	杉田 春義

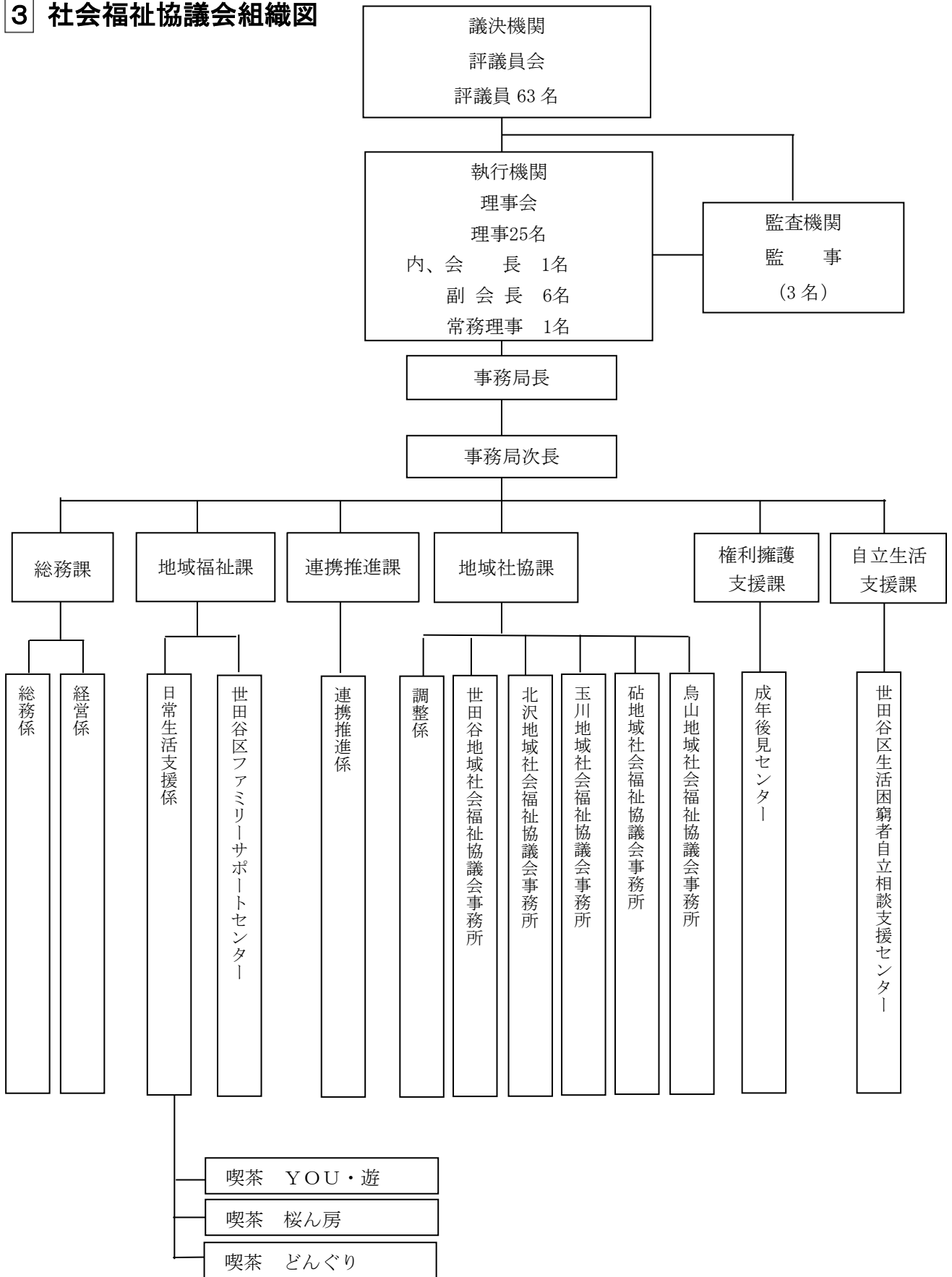
(砧地域)

地区	氏名
祖師谷	吉岡 靖之
	丸山 晴男
成城	吉川 百合子
	石井 優子
船橋	妹尾 廣子
	原島 二三代
喜多見	荒川 和茂
	岡 幸子
砧	安藤 久信
	石井 敏春
福祉施設活動団体	福田 公英

(烏山地域)

地区	氏名
上北沢	島田 益吉
	宮坂 公子
上祖師谷	原島 十一
	安藤 正一
烏山	山本 伸子
	欠 員
福祉施設活動団体	杉田 紀子
	飯田 政人

3 社会福祉協議会組織図



(令和6年3月31日現在)

4 職員配置図

部署		事務局長	事務局次長 課長 副参事	センター長	所長 係長	事務職	計
事務局	常勤	1	2				3
	非常勤						
総務課	常勤		1		2	7	10
	非常勤					3	3
総務係	常勤		1		1	3	5
	非常勤					1	1
経営係	常勤				1	4	5
	非常勤					2	2
地域福祉課	常勤		1	課長が兼務	2	4	7
	非常勤					9	9
日常生活支援係	常勤		1		1	2	4
	非常勤					5	5
世田谷区ファミリーサポートセンター	常勤			課長が兼務	1	2	3
	非常勤					4	4
連携推進課 連携推進係	常勤		1		2 (1)	4	7(1)
	非常勤				※事務局副参事事務取扱	3	3
地域社協課	常勤		1		7	33	41
	非常勤					49	49
調整係	常勤		1		2	4	7
	非常勤					7	7
世田谷地域社協事務所	常勤				1	7	8
	非常勤					11	11
北沢地域社協事務所	常勤				1	6	7
	非常勤					7	7
玉川地域社協事務所	常勤				1	8	9
	非常勤					10	10
砧地域社協事務所	常勤				1	5	6
	非常勤					8	8
烏山地域社協事務所	常勤				1	3	4
	非常勤					6	6
権利擁護支援課 成年後見センター	常勤		1(1) ※事務局次長事務取扱		2	5	8(1)
	非常勤			1		14	15
自立生活支援課 世田谷区生活困窮者自立相談支援センター	常勤		1		2	11	14
	非常勤					16	16
合計（内数は除く）	常勤	1	7		16	64	88
	非常勤			1		94	95

() は事務取扱または兼務者の内数

職層	職員数
事務局長(常勤)	1
事務局次長・課長・副参事	7
ファミリーサポートセンター長(常勤)	(兼務)
成年後見センター長(非常勤)	1
所長・係長	16
主任(常勤)	18
主事(常勤)	43
高齢者雇用(常勤)	1
再雇用	2
専門員(非常勤)	27
地域福祉支援員(非常勤)	57
特別専門職高齢者(非常勤)	10
合計	183

(令和6年3月31日現在)

